

取扱説明書

詳細編

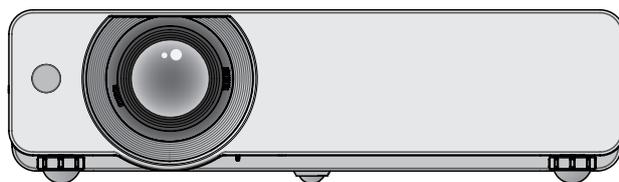
液晶プロジェクター

業務用

品番

PT-VW440

PT-VX510



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に“安全上のご注意”（ 6～9 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商標について

- Windows®、Windows Vista®、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、Safari は、米国およびほかの国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- RoomView、Crestron RoomView は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。Crestron Connected、Fusion RV は Crestron Electronics, Inc. の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では®や TM マークは明記していません。

本書内のイラストについて

- プロジェクター本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを (00 ページ) のように示しています。

用語について

- 本書では付属品の「ワイヤレスリモコン」を「リモコン」と記載しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本機の特長

オートセットアップ機能

- ▶ 〈AUTO SETUP〉 ボタンを押すと、自動入力切替、自動 PC 調整、自動台形補正を一度に実行することができます。

ダイレクトパワーオフ機能

- ▶ ダイレクトパワーオフ機能により、投写中でもコンセントから電源プラグを抜いたり、電源ブレーカーを落としたりすることができます。

接続性の向上

- ▶ HDMI IN 端子を搭載し、高品質の映像や HDMI の音声に対応しました。

プレゼンテーションに便利な機能

- ▶ デジタルズーム機能により、プレゼンテーション中に重要な部分を拡大表示できます。
- ▶ マイク機能と 10 W 音声出力により、外部音響機器がなくても、プレゼンテーションを行うことができます。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(☞ 19 ページ)



2. 本機と外部機器を接続する
(☞ 23 ページ)



3. 電源コードを接続する
(☞ 24 ページ)



4. 電源を入れる
(☞ 26 ページ)



5. 投写する映像を選択する
(☞ 29 ページ)



6. 映像の映り具合を調整する
(☞ 29 ページ)

安全上のご注意

安全上のご注意6

はじめに

ご使用になる前に 10

本機の運搬について 10
 本機の設置について 10
 セキュリティに関するお願い 11
 廃棄について 11
 本機の取り扱いについて 12
 付属品の確認 13
 別売品 14

各部の名称とはたらき 15

リモコン 15
 本体 16
 本体操作部とインジケータ 17
 接続端子部 17

リモコンの使い方 18

電池を入れる、取り出す 18
 リモコンコードを指定する 18

準備

設置する 19

投写方式 19
 設置オプションについて (別売品) 19
 投写関係 20
 アジャスター脚の調整 22
 レンズシフト機能によるレンズ位置調整 22

接続する 23

接続の前に 23
 接続例 23

基本的な使い方

電源を入れる / 切る 24

電源コードの接続 24
 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータについて 25
 電源を入れる 26
 暗証番号を入力する 27
 電源を切る 28

投写する 29

投写する映像を選択する 29
 映像の映り具合を調整する 29

リモコンで操作する 30

オートセットアップ機能を使う 30
 入力信号を切り換える 30
 〈SCREEN〉ボタン 30
 〈KEYSTONE〉ボタン 31
 〈INFO.〉ボタン 31
 静止機能を使う 31
 AV ミュート機能を使う 32

〈P-TIMER〉ボタン 32
 〈LAMP〉ボタン 32
 〈D.ZOOM〉ボタン 32
 〈VOLUME〉ボタン 32
 〈IMAGE〉ボタン 33
 〈MUTE〉ボタン 33

調整と設定

オンスクリーンメニューについて 34

メニュー画面の操作方法 34
 メインメニュー 35
 サブメニュー 35

「入力」について 37

コンピューター 1 : RGB / Component / RGB(Scart) .. 37
 コンピューター 2 : RGB 37
 HDMI 37
 ビデオ 37
 S-video 37
 システム 37

「自動 PC 調整」について 39

自動 PC 調整 39

「手動 PC 調整」について 40

トラッキング 40
 総ドット数 40
 水平位置 40
 垂直位置 40
 コンピューター情報 41
 クランプ 41
 画面領域 H 41
 画面領域 V 41
 リセット 41
 データ消去 41
 メモリー 41

「画質モード」について 42

ダイナミック 42
 標準 42
 リアル 42
 シネマ 42
 黒 (緑) 板 42
 カラーボード 42
 イメージ 1 ~ 4 42

「画質調整」について 43

コントラスト 43
 明るさ 43
 色の濃さ 43
 色合い 43
 アイリス 43
 色温度 44
 赤 44
 緑 44
 青 44
 デイライトビュー 44
 画質 45
 ガンマ補正 45
 ノイズリダクション 45

プログレッシブ.....	45
リセット.....	45
メモリー.....	45
「スクリーン」について.....	46
ノーマル.....	46
フル.....	46
ワイド (16:9).....	46
ズーム.....	46
リアル.....	46
ピットリワイド [PT-VW440 のみ].....	46
カスタム.....	46
カスタム調整.....	47
デジタルズーム +.....	47
デジタルズーム -.....	47
台形補正.....	47
天つり.....	48
リア投映.....	48
スクリーンアスペクト [PT-VW440 のみ].....	48
リセット.....	48
「サウンド」について.....	49
音量.....	49
消音.....	49
マイク.....	49
マイクゲイン.....	49
スタンバイマイク.....	49
「設定」について.....	50
言語.....	50
メニュー位置.....	50
オートセットアップ.....	50
バックグラウンド.....	51
オンスクリーン表示.....	51
ロゴ.....	51
HDMI 設定.....	52
端子.....	52
パワーマネージメント.....	52
ダイレクトオン.....	53
スタンバイモード.....	53
プレゼンテーションタイマー.....	53
クローズドキャプション.....	54
ランプパワー.....	54
リモコンコード.....	54
セキュリティ.....	54
ファン.....	55
ファン制御.....	55
映像遅延制御.....	55
フィルターカウンター.....	56
エミュレート.....	56
警告履歴.....	57
初期設定.....	57
「インフォメーション」について.....	58
インフォメーション表示.....	58
「ネットワーク」について.....	59
プロジェクター名.....	59
ネットワーク設定.....	59
ネットワークコントロール.....	60
ネットワークステータス.....	60
AMX D.D.....	60

RoomView.....	60
ネットワーク初期設定.....	60
ネットワーク接続.....	61
コンピューターの操作.....	62
WEB ブラウザで操作する.....	62

点検と部品交換

インジケータの表示について.....	75
インジケータが点灯したら.....	75
お手入れ / 部品交換.....	76
お手入れ / 部品交換の前に.....	76
お手入れ.....	76
部品交換.....	76
レンズキャップの取り付け.....	80
故障かな !?.....	81

その他

付録.....	83
PJLink プロトコルを使用する.....	83
LAN 経由の制御コマンドについて.....	84
シリアル端子について.....	86
その他の端子について.....	89
対応信号リスト.....	90
仕様.....	94
外形寸法図.....	96
天つり金具取り付け時の注意事項.....	96
保証とアフターサービス.....	97
保証書 (別添付).....	97
補修用性能部品の保有期間.....	97
修理を依頼される時.....	97
さくいん.....	98

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

   	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

警告

電源について	
異常・故障時には直ちに使用を中止する	
 電源プラグ を抜く	<p>■ 異常があったときは、電源プラグを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、 煙や異臭、異音が発生したとき] (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、 配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p> <p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) ⇒ 半年に一度は電源プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。 ⇒ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。) ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</p> <p>■ 付属の電源コード以外は使用しない (付属の電源コードを使わないと感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない (感電の原因になります。)</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>



警告 (つづき)

ご使用・設置について



- 放熱を妨げない
 [布や紙などの上に置かない (吸気口に吸着する場合があります)、風通しが悪く狭い所に押し]
 [込まない
 (内部が高温になり、火災の原因になることがあります。)
 ⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから排気口までは 1 m 以上、吸気口までは 50 cm 以上離して設置してください。
- 排気口には手やものを近づけない
 [手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない]
 (排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。)
- カーペット・スポンジマット・毛布などのやわらかい面の上で本機を使用しない
 (内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。)
- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない
 (火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。)
- 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない
 (落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。)
- 使用中は投写レンズをのぞかない
 (投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。)
 ⇒ 使用中に本機から離れる場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。
- 内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
 (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
 ⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
 ⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
 ⇒ 特にお子様にはご注意ください。
- レンズキャップを取り付けたまま投写しない
 (火災の原因になることがあります。)



分解禁止

- 分解や改造をしない
 (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。)
 ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告



高圧注意

サービスマン以外の方は
 ケースをあけないで
 ください。内部には高電圧
 部分が多くあり、万一
 さわると危険です。

「本体に表示した事項」



- 天井取り付け (天つり) などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼する
 (工事の不備により、落下事故の原因となります。)
- 当社で指定した天つり金具を使用する
 (当社指定以外の天つり金具の不備により、落下事故の原因となることがあります。)
 ⇒ 当社指定の天つり金具をご利用の際は、天つり金具 (取付けベース金具) に付属のワイヤーで、落下防止の処置を行ってください。



警告 (つづき)

付属品・消耗品について



■ ランプユニットなどの部品交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く
(電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電や破裂の原因になります。)



■ ランプユニットを分解しない
(ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。)

■ 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない
【液が目に入ったら目をこすらない】
(失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。)
⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■ 電池は誤った使い方をしない

- 指定された電池以外は使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない
- +と-を針金などで接続しない
- +と-を逆に入れない
- ネックレスやヘアピンなど金属が使用されているものと一緒に持ち運んだり保管したりしない
- 新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない
- アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しない
- 被覆のはがれた電池は使わない (電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください)
(液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。)

■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない
(付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)

■ 付属の電池は乳幼児の手の届く所に置かない
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



■ ランプユニットの交換は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行う
(ランプの点灯中は紫外線を発生しています。)
⇒ 正しい手順で交換を行ってください。



■ ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから (1 時間以上待ってから) 行う
(カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。)

■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す
(そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。)



注意

電源について

 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。)
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ■ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ、電源コネクターを持って抜く (コードを引っ張るとコードが破損し、感電、ショートによる火災の原因になることがあります。)

ご使用・設置について

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない (バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 異常に温度が高くなる所に置かない (外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す (コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。) ■ 天つりする場合は、取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する (天井内部の金属部と接触して、感電の原因になることがあります。)

付属品・消耗品について

	<ul style="list-style-type: none"> ■ ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない (散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。) ⇒ 直ちに換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。 ⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。 ⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 古いランプユニットは使用しない 【使用時間を越えたランプユニットは使用しない】 (そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。) ⇒ ランプユニットは消耗部品です。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す (電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。)

お手入れについて

	<ul style="list-style-type: none"> ■ エアフィルターユニットは、水洗いしない (故障の原因になります。) ⇒ 水などでぬれないようにご注意ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1年に1度は、内部の清掃を販売店に依頼する (本機の内部にほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になることがあります。) ⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行くと効果的です。 ⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

本機の運搬について

- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

本機の設置について

■ 屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶・航空機など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（『使用環境条件』 95 ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者、または販売店にご依頼ください

別売品の天つり金具が必要です。

品番：ET-PKV100H（高天井用）、ET-PKV100S（低天井用）、
ET-PKV200B（取付け用ベース金具）

■ 海拔 1 200 m 未満でご使用の際は、[ファン制御] を必ず [オフ] に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 1 200 m 以上 2 000 m 未満でご使用の際は、[ファン制御] を必ず [オン 1] に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 2 000 m 以上 2 700 m 未満でご使用の際は、[ファン制御] を必ず [オン 2] に設定してください

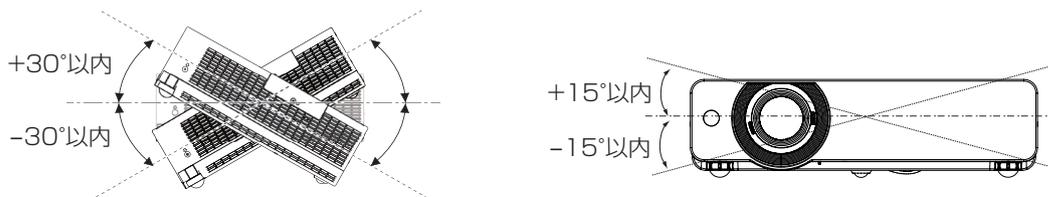
部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

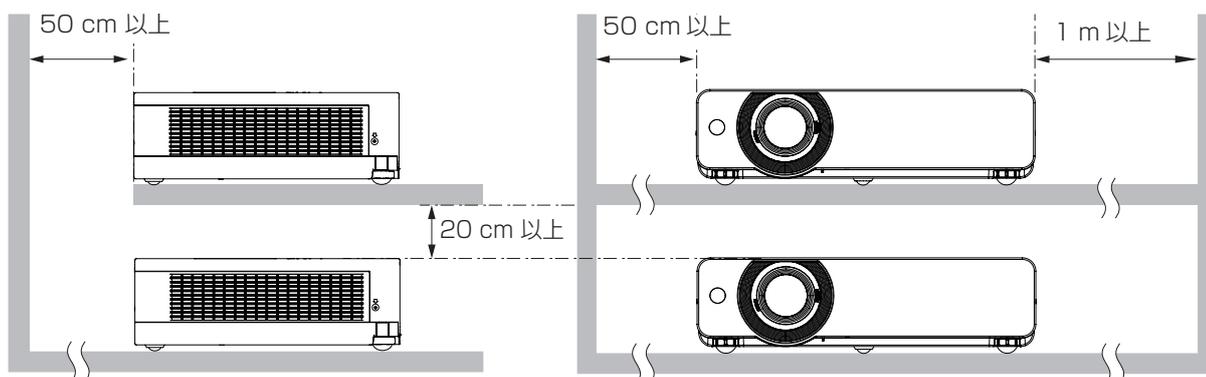
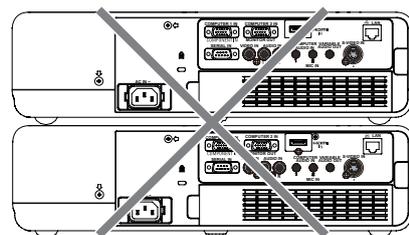
■ 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください

本機を上下方向に $\pm 30^\circ$ 以上立てたり、左右方向に $\pm 15^\circ$ 以上傾けたりして使用しないでください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。



■ 設置上のご注意

- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置をしてください。



- 本機を囲われた空間に設置しないでください。
 囲われた空間に設置が必要な場合は、別途空調設備、換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい。
- 悪意の第三者による本製品の不正操作。
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止。

セキュリティ対策を十分に行ってください。(☞ 54、72 ページ)

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- WEB 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

■美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入らないよう、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの環境を整えていただくと、より高いコントラストで美しい映像をご覧いただけます。
- 使用環境によっては排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。
本体の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しない場合があります。映像を映した状態で 30 分以上経過すると、フォーカスが安定します。

■投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。

■液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますので、その場合は全白画面を 1 時間以上投写してください。なお、残像が完全に消えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■光学部品について

ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、タバコなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

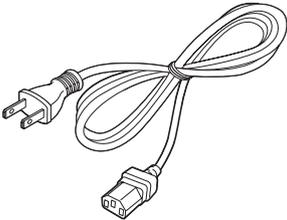
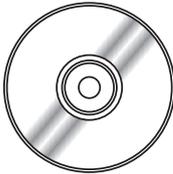
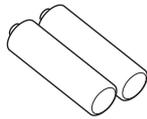
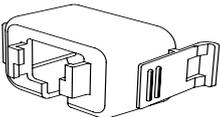
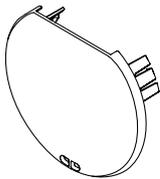
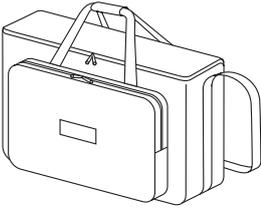
■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記の特性があります。

- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃や傷、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなばらつきがあります。特に 12 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「切」/「入」の繰り返しは、ランプの劣化を早め、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期がきたらランプユニットを交換してください。
([ランプユニットの交換時期] 78 ページ)
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万が一に備え、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。〈 〉 は個数です。

<p>ワイヤレスリモコン 〈1〉 (6451053893)</p>	<p>電源コード 〈1〉 (6103581224)</p>	<p>CD-ROM 〈1〉 (TQBH9049)</p>	<p>単 4 形乾電池 〈2〉</p>
			 (リモコン用)
<p>コンピューターケーブル 〈1〉 (6103580425)</p>	<p>電源コードホルダー 〈1〉 (6451052124)</p>	<p>レンズキャップ 〈1〉 (6103594279)</p>	<p>ストラップ 〈1〉 (6103504711)</p>
		 (お買い上げ時は、製品本体に装着されています。)	
<p>ソフトキャリングケース 〈1〉 (6103601861)</p>			
			

お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

ご使用になる前に (つづき)

■ CD-ROM の内容について

付属品の CD-ROM には、以下の内容が収録されています。

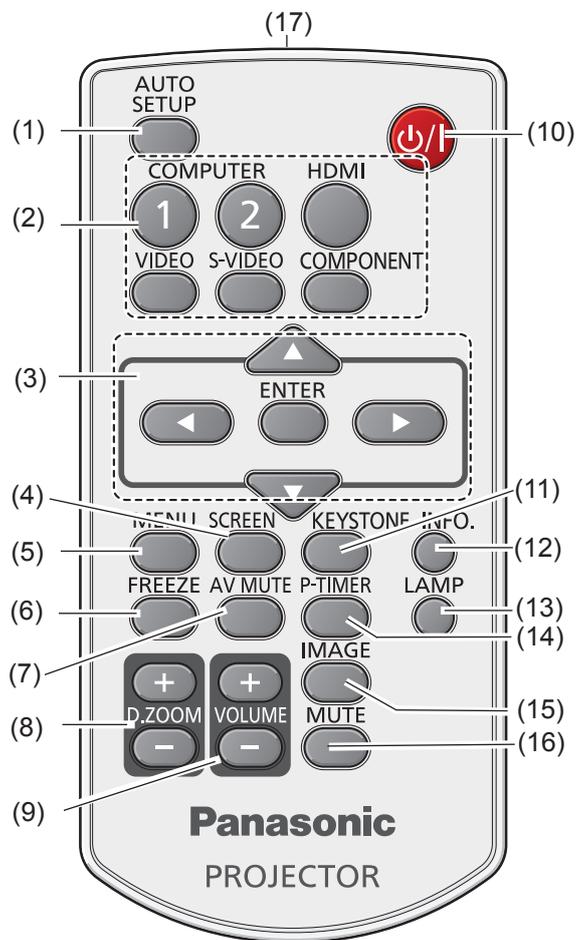
説明書 / 一覧表 (PDF)	ソフトウェア
<ul style="list-style-type: none">● 取扱説明書 - 詳細編● 取扱説明書 - 複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア● 取扱説明書 - ログ転送ソフトウェア● 対応プロジェクター機種一覧表<ul style="list-style-type: none">・各ソフトウェアに対応するプロジェクターの機種、および制約事項の一覧です。	<ul style="list-style-type: none">● 複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア (Windows)<ul style="list-style-type: none">・LAN 接続された複数台のプロジェクターを監視・制御するソフトウェアです。● ログ転送ソフトウェア (Windows)<ul style="list-style-type: none">・スタート時に投写する会社ロゴマークなどユーザー独自の映像をプロジェクターに転送するソフトウェアです。

別売品

別売品 (品名)	品番
天つり金具	ET-PKV100H (高天井用)、ET-PKV100S (低天井用)
天つり金具 (取付け用ベース金具)	ET-PKV200B
交換用ランプユニット	ET-LAV200
交換用フィルターユニット	ET-RFV200

各部の名称とはたらき

リモコン



- (1) **〈AUTO SETUP〉ボタン**
設定メニューのオートセットアップを実行します。(👉 50 ページ)
- (2) **入力切換ボタン**：〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈COMPONENT〉
投写する入力信号を切り換えます。(👉 30 ページ)
- (3) **▲▼◀▶ ボタン、〈ENTER〉ボタン**
メニュー画面の操作に使用します。(👉 34 ページ)
- (4) **〈SCREEN〉ボタン**
スクリーンモードを選択します。(👉 30 ページ)
- (5) **〈MENU〉ボタン**
メニュー画面の表示 / 非表示を切り換えます。(👉 34 ページ)
- (6) **〈FREEZE〉ボタン**
映像を一時的に静止させ、音声を消します。(👉 31 ページ)

- (7) **〈AV MUTE〉ボタン**
映像と音声を一時的に消したい場合に使用します。(👉 32 ページ)
- (8) **〈D.ZOOM +/-〉ボタン**
映像を拡大または縮小します。(👉 32 ページ)
- (9) **〈VOLUME +/-〉ボタン**
スピーカーの音量を調整します。(👉 32 ページ)
- (10) **〈⏻/⏿〉ボタン**
プロジェクターの電源の「切」/「入」を切り換えます。(👉 26 ページ)
- (11) **〈KEYSTONE〉ボタン**
台形ひずみを補正します。(👉 31 ページ)
- (12) **〈INFO.〉ボタン**
インフォメーション機能进行操作します。(👉 31 ページ)
- (13) **〈LAMP〉ボタン**
ランプモードを選択します。(👉 32 ページ)
- (14) **〈P-TIMER〉ボタン**
プレゼンテーションタイマー機能进行操作します。(👉 32 ページ)
- (15) **〈IMAGE〉ボタン**
画質モードを選択します。(👉 33 ページ)
- (16) **〈MUTE〉ボタン**
音声を一時的に消すことができます。(👉 33 ページ)
- (17) **リモコン発信部**

お願い

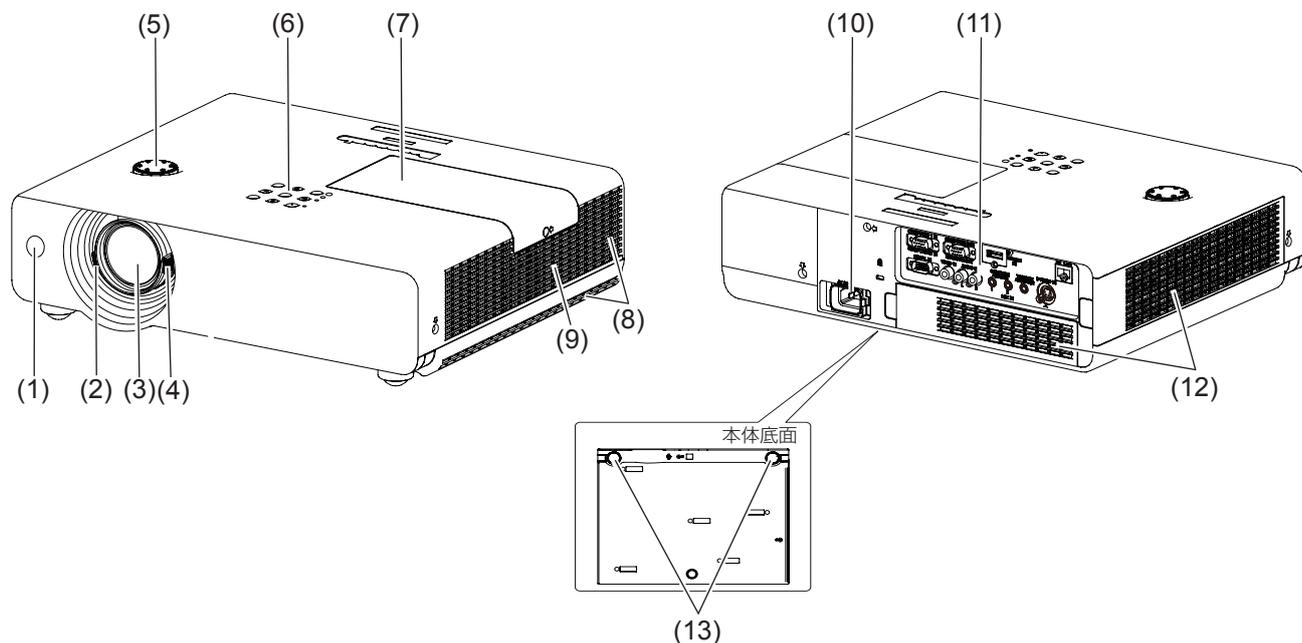
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。

お知らせ

- リモコンを直接本機のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 7 m 以内で操作してください。また、上下左右に± 30 度まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

各部の名称とはたらき (つづき)

本体



- (1) リモコン受信部
- (2) フォーカスレバー
フォーカスを調整します
- (3) 投写レンズ
- (4) ズームレバー
ズームを調整します
- (5) 垂直レンズ シフト リング
投写位置を調整します
- (6) 本体操作部 / インジケータ (☞ 17 ページ)
- (7) ランプカバー (☞ 79 ページ)
ランプユニットは本体内部にあります
- (8) 排気口
 - この排気口からは熱風がでています。排気口付近には熱に弱いものなどを置かないください。
- (9) スピーカー
- (10) AC 入力端子
- (11) 接続端子部 (☞ 17 ページ)
- (12) 吸気口 / エアフィルターカバー (☞ 76 ページ)
- (13) アジャスター脚
投写角度を調整します

警告

■ 排気口には手やものを近づけない



- 手や顔を近づけない。
- 指を入れない。
- 熱に弱いものを近くに置かない。

排気口からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

*1 : Kensington 社製セキュリティーケーブルについてのお問い合わせ先は、下記の通りです。

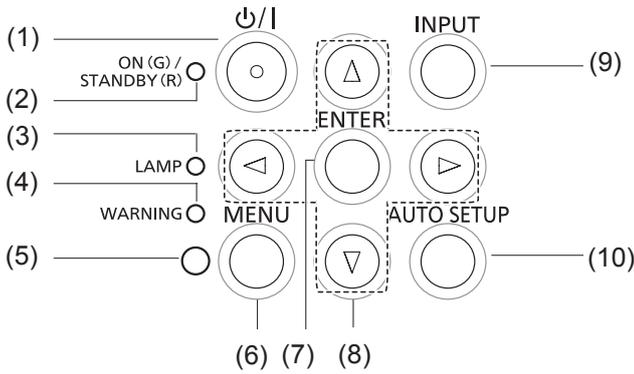
七陽商事株式会社 情報機器事業部

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル Tel:03-3663-7740 Fax:03-3669-2367

<http://www.nanayojapan.co.jp/>

*: 連絡先は変更になる場合があります。ご了承ください。

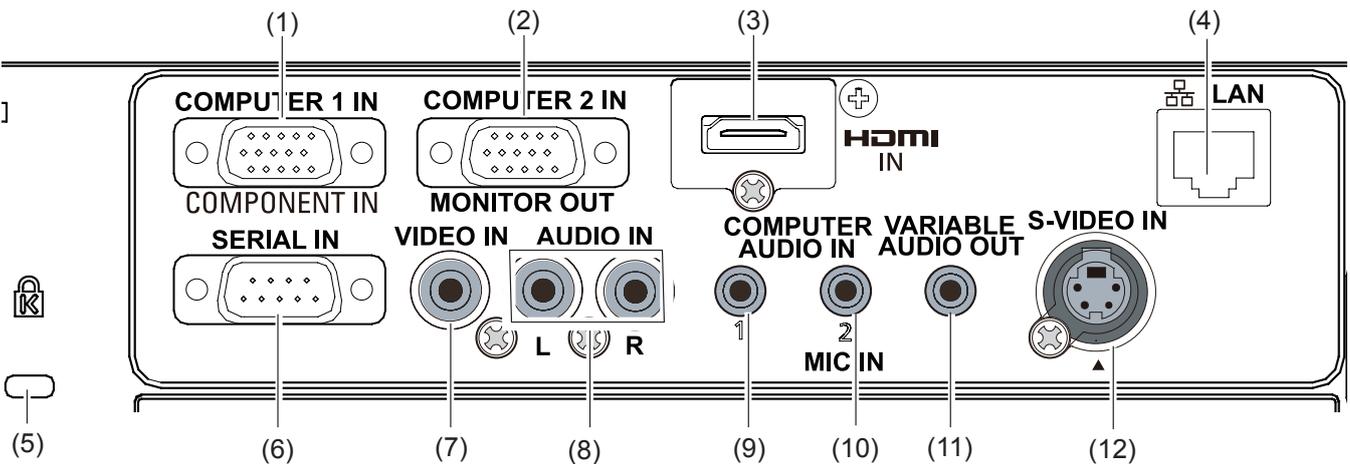
本体操作部とインジケータ



- (1) <ON/I> ボタン
電源の [切]/[入] を切り換えます。
- (2) <ON(G)/STANDBY(R)> インジケータ
電源の状態を表示します。
- (3) <LAMP>インジケータ
ランプユニットの交換時期をお知らせします。

- (4) <WARNING> インジケータ
プロジェクターの異常をお知らせします。
- (5) 照度センサー
部屋の照度を測定し、適切な画質補正を行います。
- (6) <MENU> ボタン
メニュー画面を表示します。(16 34 ページ)
- (7) <ENTER> ボタン
選択した項目を実行します。
- (8) ▲▼◀▶ ボタン
 - メニュー画面の操作に使用します。
 - 音量レベル (◀▶ ボタン) を調整します。
- (9) <INPUT> ボタン
入力信号を切り換えます。(16 30 ページ)
- (10) <AUTO SETUP> ボタン
設定メニューのオートセットアップを実行します。

接続端子部



- (1) <COMPUTER 1 IN/ COMPONENT IN> 端子
コンピューターからの RGB 信号または YCbCr/YPbPr 信号を入力する端子です。
- (2) <COMPUTER 2 IN/MONITOR OUT> 端子
コンピューターからの RGB 信号を入力する端子です。または外部モニターへの RGB 出力端子です。
- (3) <HDMI IN> 端子
HDMI 信号を入力する端子です。
- (4) <LAN> 端子
ネットワーク接続する LAN 端子です。
- (5) セキュリティー slots
このセキュリティー slots は、Kensington 社製セキュリティーケーブル*1 に対応しています。(16 ページ)
- (6) <SERIAL IN> 端子
コンピューターを接続して本機を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です。
- (7) <VIDEO IN> 端子
ビデオ信号を入力する端子です。
- (8) <AUDIO IN> 端子
音声信号を入力する端子です。AUDIO IN には、右端子 (R) と左端子 (L) があります。
- (9) <COMPUTER AUDIO IN 1> 端子
音声信号を入力する端子です。
- (10) <COMPUTER AUDIO IN 2 (MIC IN)> 端子
音声信号を入力する端子です。またはマイクを接続するときの差込み口です。
- (11) <VARIABLE AUDIO OUT> 端子
本機に入力された音声信号を出力します。
- (12) <S-VIDEO IN> 端子
S ビデオ信号を入力する端子です。

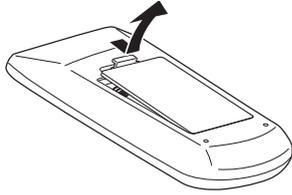
お願い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線を行ってください。

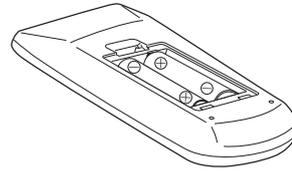
リモコンの使い方

電池を入れる、取り出す

1) ふたを開ける



2) 電池を入れ、ふたを閉じる (マイナス「-」側から先に入れます。)



- 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

リモコンコードを指定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々のリモコンコードを設定することにより、1つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

本体のリモコンコードを設定したあと、同じリモコンコードをリモコンに指定してください。

リモコンコードは7種類(すべて、コード1～6)あります。工場出荷時のリモコンコードは「すべて」です。

■ 設定方法

- 1) 〈MENU〉ボタンを押しながら、〈IMAGE〉ボタンを押します。〈IMAGE〉ボタンを押した数が、リモコンコードの数字になります。
つまり、〈IMAGE〉ボタンを押す回数は、次の通りです。
コード1 = 1回、コード2 = 2回、コード3 = 3回、コード4 = 4回、
コード5 = 5回、コード6 = 6回
- 2) 〈MENU〉ボタンを放すと、リモコンコードが変わります。

■ リセットの方法

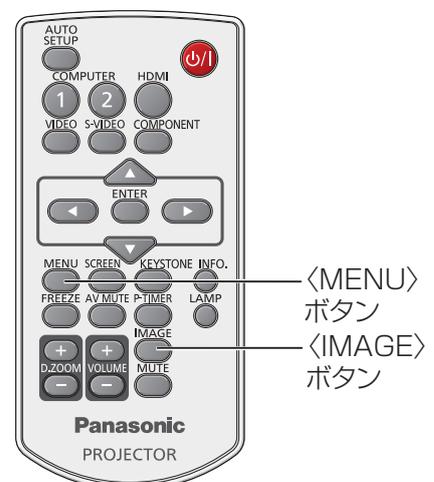
〈MENU〉ボタンと〈IMAGE〉ボタンを同時に押して、5秒以上押し続けると、リモコンコードは[すべて](デフォルト)にリセットされます。

お願い

- 〈IMAGE〉ボタンを7回以上押すと、その操作は無効とみなされるため、リモコンコードを変更することはできません。

お知らせ

- 本体のリモコンコード設定は、『「設定」について』の『リモコンコード』(54ページ)をご覧ください。



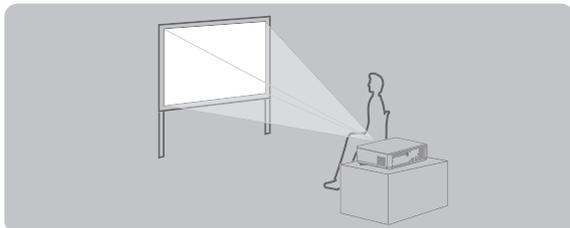
〈MENU〉
ボタン
〈IMAGE〉
ボタン

設置する

投写方式

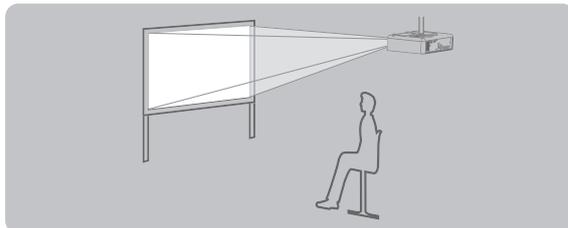
本機は、4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。

■ 床置き設置で前方に投写する場合



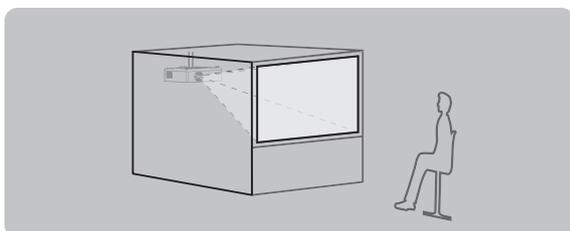
[天つり/リア投映]を[オフ/オフ]に設定します。

■ 天つり設置で前方に投写する場合



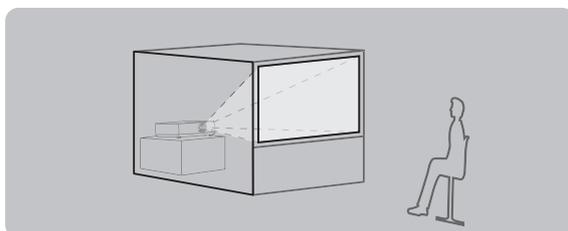
[天つり/リア投映]を[オン/オフ]に設定します。

■ 天つり設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



[天つり/リア投映]を[オン/オン]に設定します。

■ 床置き設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



[天つり/リア投映]を[オフ/オン]に設定します。

[天つり/リア投映]の設定は、『「スクリーン」について』(👉 48 ページ)をご覧ください。

設置オプションについて (別売品)

別売品のプロジェクター取付け用ベース金具 (品番:ET-PKV200B) に、天つり金具 {品番:ET-PKV100H (高天井用) または、ET-PKV100S 低天井用} を組み合わせて設置することができます。

- 必ず、本機専用の天つり金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、天つり金具の施工説明書をご覧ください。

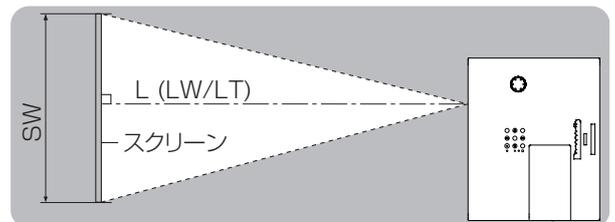
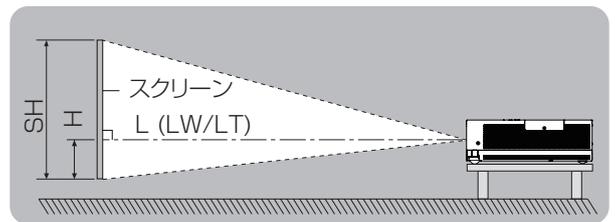
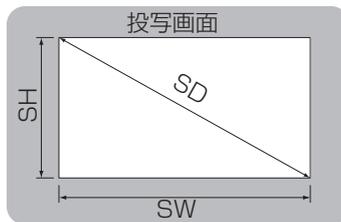
お願い

- 天つり金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門の技術者に施工を依頼してください。

設置する (つづき)

投写関係

本機の設置は、右図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて画面サイズ、画面位置を調整することができます。



L (LW ~ LT) *1	投写距離 (m)
SH	画面の高さ (m)
SW	画面の幅 (m)
H	レンズセンターから画像下端までの距離 (m)
SD	画面对角サイズ (型)

*1 : LW : 最短投写距離
LT : 最長投写距離

お願い

- 設置をする前に、「ご使用になる前に」(👁️ 10 ~ 14 ページ) をお読みください。

■ 投写距離 (PT-VW440 の場合)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

(単位 : m)

画面对角サイズ (SD)	アスペクト 4:3 の場合			アスペクト 16:9 の場合			アスペクト 16:10 の場合		
	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)
30 型 (0.76)	0.8	1.4	0.009 ~ 0.229	0.8	1.2	0.007 ~ 0.187	0.7	1.2	0.008 ~ 0.202
40 型 (1.02)	1.1	1.8	0.012 ~ 0.305	1.0	1.7	0.010 ~ 0.249	1.0	1.6	0.011 ~ 0.269
50 型 (1.27)	1.4	2.3	0.015 ~ 0.381	1.3	2.1	0.012 ~ 0.311	1.3	2.0	0.013 ~ 0.337
60 型 (1.52)	1.7	2.8	0.018 ~ 0.457	1.6	2.5	0.015 ~ 0.374	1.5	2.5	0.016 ~ 0.404
70 型 (1.78)	2.0	3.3	0.021 ~ 0.533	1.8	3.0	0.017 ~ 0.436	1.8	2.9	0.019 ~ 0.471
80 型 (2.03)	2.3	3.7	0.024 ~ 0.610	2.1	3.4	0.020 ~ 0.498	2.0	3.3	0.022 ~ 0.538
90 型 (2.29)	2.6	4.2	0.027 ~ 0.686	2.3	3.8	0.022 ~ 0.560	2.3	3.7	0.024 ~ 0.606
100 型 (2.54)	2.9	4.7	0.030 ~ 0.762	2.6	4.2	0.025 ~ 0.623	2.5	4.1	0.027 ~ 0.673
120 型 (3.05)	3.5	5.6	0.037 ~ 0.914	3.1	5.1	0.030 ~ 0.747	3.1	4.9	0.032 ~ 0.808
150 型 (3.81)	4.3	7.0	0.046 ~ 1.143	3.9	6.4	0.037 ~ 0.934	3.8	6.2	0.040 ~ 1.010
200 型 (5.08)	5.8	9.4	0.061 ~ 1.524	5.3	8.5	0.050 ~ 1.245	5.1	8.3	0.054 ~ 1.346
250 型 (6.35)	7.3	11.7	0.076 ~ 1.905	6.6	10.6	0.062 ~ 1.557	6.4	10.3	0.067 ~ 1.683
300 型 (7.62)	8.7	14.0	0.091 ~ 2.286	7.9	12.7	0.075 ~ 1.868	7.7	12.4	0.081 ~ 2.019

上記の表以外の投写寸法は、投写画面サイズ SD (型) から下記の計算式で求めることができます。計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値には若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD (型) とした場合、

	アスペクト 4:3 の場合	アスペクト 16:9 の場合	アスペクト 16:10 の場合
投写画面サイズ 高さ (SH)	= SD × 0.0152	= SD × 0.0125	= SD × 0.0135
投写画面サイズ 幅 (SW)	= SD × 0.0203	= SD × 0.0221	= SD × 0.0215
最短投写距離 (LW)	= 0.02911 × SD - 0.02936	= 0.02642 × SD - 0.02936	= 0.02571 × SD - 0.02936
最長投写距離 (LT)	= 0.04690 × SD - 0.03190	= 0.04258 × SD - 0.03190	= 0.04143 × SD - 0.03190

■ 投写距離 (PT-VX510 の場合)

(下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。)

(単位 : m)

画面对角サイズ (SD)	アスペクト比が 4:3 の場合			アスペクト比が 16:9 の場合		
	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)
30 型 (0.76)	0.7	1.1	0.046 ~ 0.229	0.8	1.2	0.037 ~ 0.187
40 型 (1.02)	0.9	1.5	0.061 ~ 0.305	1.0	1.7	0.050 ~ 0.249
50 型 (1.27)	1.2	1.9	0.076 ~ 0.381	1.3	2.1	0.062 ~ 0.311
60 型 (1.52)	1.4	2.3	0.091 ~ 0.457	1.6	2.5	0.075 ~ 0.374
70 型 (1.78)	1.7	2.7	0.107 ~ 0.533	1.8	3.0	0.087 ~ 0.436
80 型 (2.03)	1.9	3.1	0.122 ~ 0.610	2.1	3.4	0.100 ~ 0.498
90 型 (2.29)	2.2	3.5	0.137 ~ 0.686	2.4	3.8	0.112 ~ 0.560
100 型 (2.54)	2.4	3.9	0.152 ~ 0.762	2.6	4.2	0.125 ~ 0.623
120 型 (3.05)	2.9	4.7	0.183 ~ 0.914	3.1	5.1	0.149 ~ 0.747
150 型 (3.81)	3.6	5.8	0.229 ~ 1.143	3.9	6.4	0.187 ~ 0.934
200 型 (5.08)	4.8	7.8	0.305 ~ 1.524	5.3	8.5	0.249 ~ 1.245
250 型 (6.35)	6.0	9.7	0.381 ~ 1.905	6.6	10.6	0.311 ~ 1.557
300 型 (7.62)	7.3	11.7	0.457 ~ 2.286	7.9	12.7	0.374 ~ 1.868

上記の表以外の投写寸法は、投写画面サイズ SD (型) から下記の計算式で求めることができます。計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値には若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD (型) とした場合、

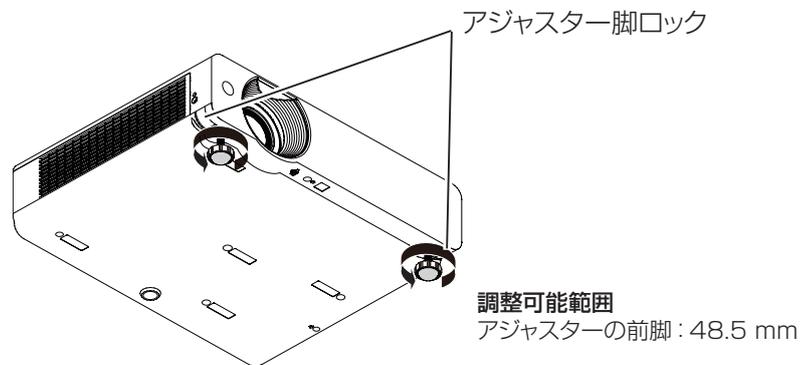
	アスペクト 4:3 の場合	アスペクト 16:9 の場合
投写画面サイズ 高さ (SH)	$= SD \times 0.0152$	$= SD \times 0.0125$
投写画面サイズ 幅 (SW)	$= SD \times 0.0203$	$= SD \times 0.0221$
最短投写距離 (LW)	$= 0.02425 \times SD - 0.02937$	$= 0.02642 \times SD - 0.02937$
最長投写距離 (LT)	$= 0.03909 \times SD - 0.03189$	$= 0.04259 \times SD - 0.03189$

設置する (つづき)

アジャスター脚の調整

本体前方を持ち上げてから、アジャスター脚ロックを指で押し、アジャスター脚を伸ばし、指を離してアジャスター脚をロックします。

また、図のようにアジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。(上下に投写角度を調整することができます。)



お願い

- ランプが点灯中は排気口から熱風が出ています。アジャスター脚を調整する際は、排気口に直接触れないでください。
- 投写画面に台形ひずみが発生している場合は、「スクリーン」メニューの「台形補正」で補正してください。(👁️ 47 ページ)

お知らせ

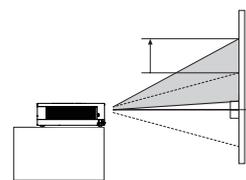
- アジャスター脚は締めつけ方向にカチッという音がするまで締めつけると、締めつけが完了します。

レンズシフト機能によるレンズ位置調整

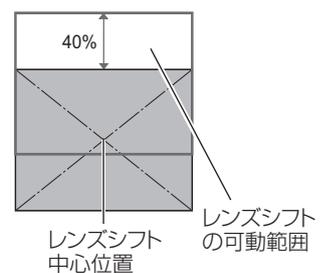
本機をスクリーン正面に設置できない場合は、レンズシフト機能を使い、投写画面がスクリーン位置に合うように調整してください。

■ レンズシフトの調整 (PT-VX510 の場合)

画面の高さの約 40%まで上へ移動します。(垂直レンズシフトリングを右(左)に回すと、投写画面が上方(下方)に動きます)

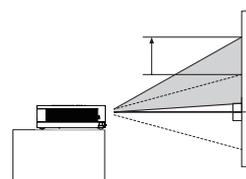


レンズシフト調整の最大範囲

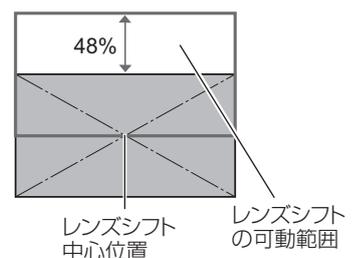


■ レンズシフトの調整 (PT-VW440 の場合)

画面の高さの約 48%まで上へ移動します。(垂直レンズシフトリングを右(左)に回すと、投写画面が上方(下方)に動きます)



レンズシフト調整の最大範囲



お願い

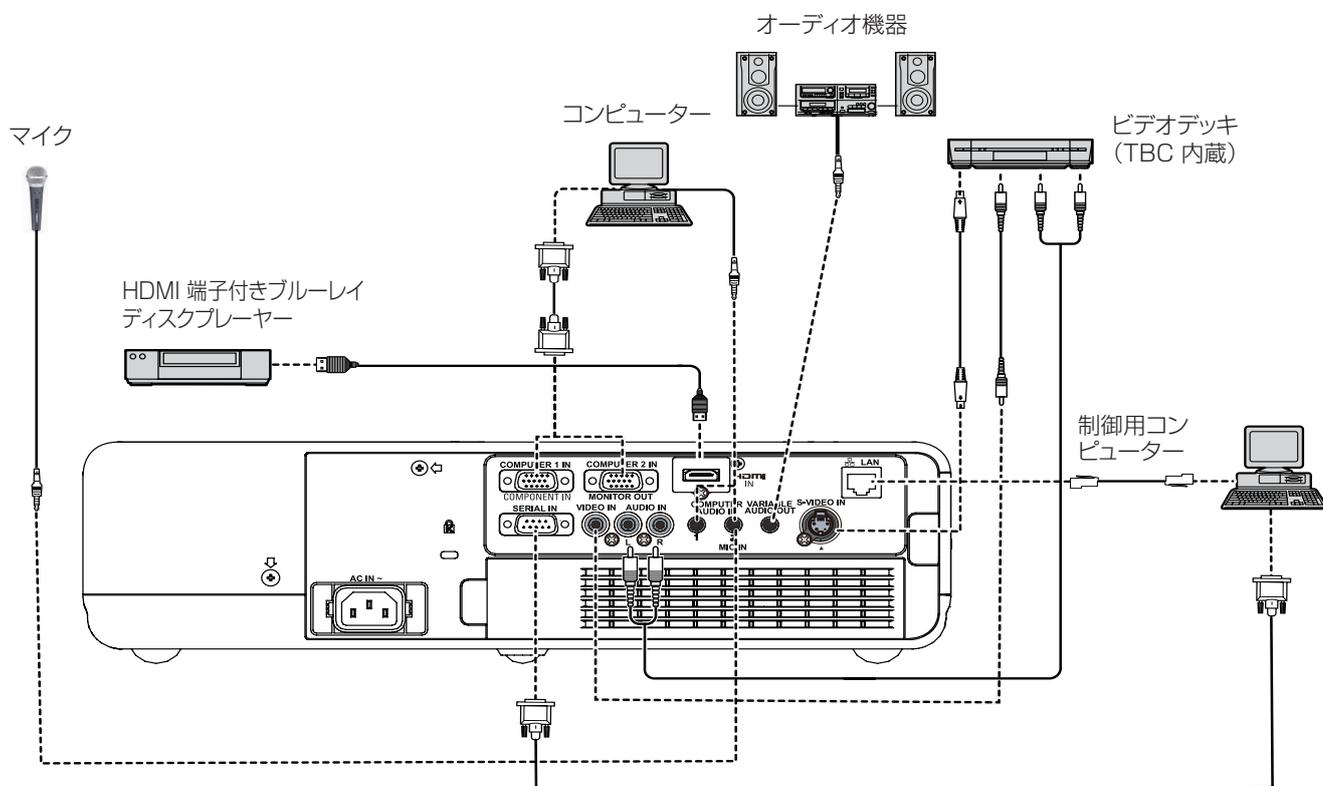
- プロジェクターを使用する場合は、以下の点に注意してください。
 - レンズシフト調整中は、指を挟まないようレンズ部分には触れないでください。
 - お子様がレンズに触れないように注意してください。

接続する

接続の前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、映像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号は、ビデオ信号、Sビデオ信号、アナログ RGB 信号 (同期信号は TTL レベル)、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないことがあります。
- 各機器と本機を長いケーブルを使用する場合、ケーブル補償器などを使用しないと正常に出画できないことがあります。
- 本機が対応する映像信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。(👉 90 ~ 93 ページ)

接続例



お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ずタイムベースコレクター (TBC) 内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター (TBC) を使用してください。
- パースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れることがあります。その場合は、本機との間にタイムベースコレクター (TBC) を接続してください。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。
- 本機は、ピエラリンク (HDMI) には対応していません。
- 本機が投写できるコンピューターからの RGB 信号は、「対応信号リスト」をご覧ください。(👉 90 ~ 93 ページ)

電源を入れる / 切る

電源コードの接続

電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コードホルダーを使用して、本体に根元まで確実に差し込んで固定してください。

■ 電源コードホルダー

電源コードホルダーは、電源コードが本体から不用意に抜けないようにするためのものです。図 (1) のように、電源コードホルダーを電源コードのコネクター部分に取り付けてください。

電源コードホルダー

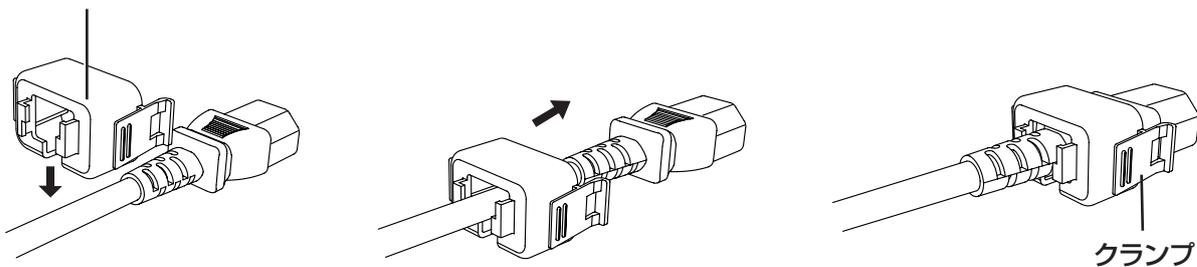


図 (1)

■ 取り付け方

図 (2) のように、電源コードホルダーの左右のつまみを押しながら、本体に差し込みます。しっかりと差し込むと、左右のつまみが引っ掛かり「カチッ」という音がして、図 (3) のようになります。

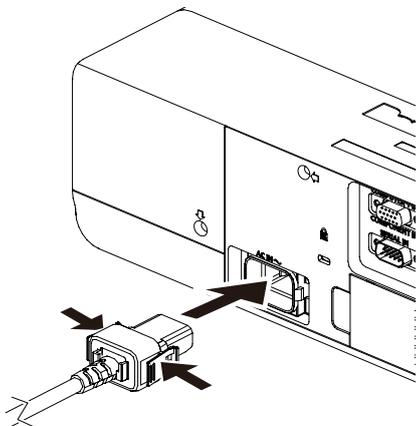


図 (2)

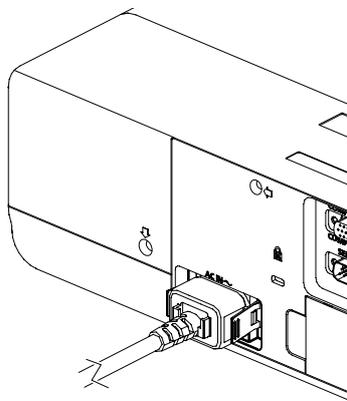
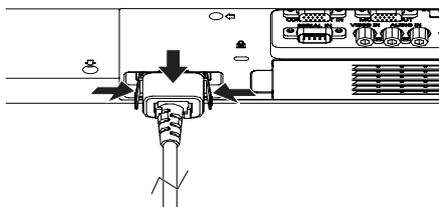


図 (3)

■ 取り外し方

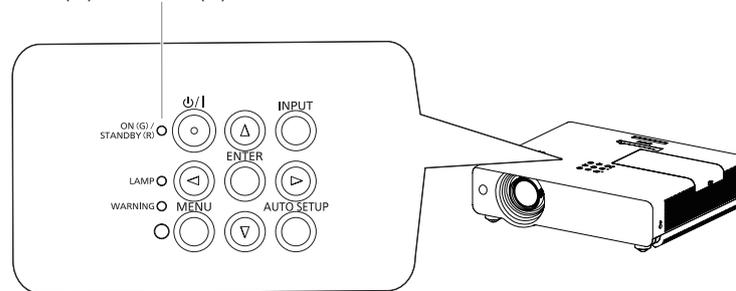
電源コードホルダーの左右のつまみを押しながら、本体から引き抜きます。



〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータについて

〈ON(G)/STANDBY(R)〉の状態を表示します。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの状態をよく確認し、操作してください。

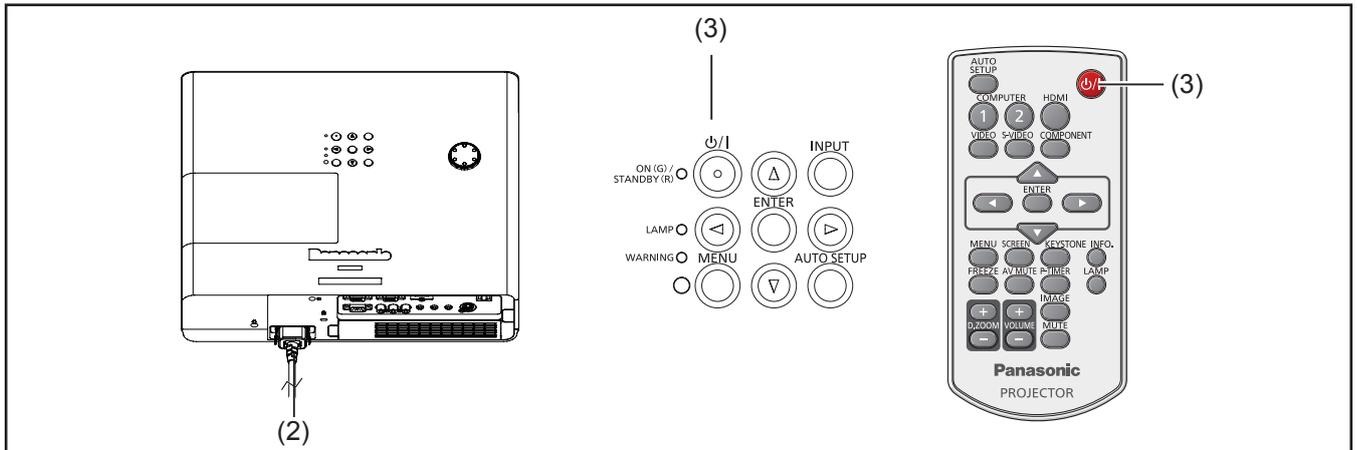
〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータ



点灯状況		本機の状態
	消灯	電源コードが差し込まれていません。
赤色	点灯	電源コードが差し込まれています。
		本機は冷却が完了した後にスタンバイ状態になっています。
橙色	点滅	本機は内部を冷却中です。温度が下がり、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの点滅が止まるまで、本機を操作することはできません。
		本体内部の温度が異常に高くなり、内部を冷却中です。このとき、〈WARNING〉インジケータも赤色点滅します。(☞ 75 ページ) 温度が下がり、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの点滅が止まるまで、本機を操作することはできません。
緑色	点灯	投写状態です。
	点滅	パワーマネージメント機能が作動したのちの待機状態です。再び信号を入力するか、リモコンまたは本体操作部の任意のボタンを押すと、ランプが点灯し映像が投写されます。(☞ 52 ページ)

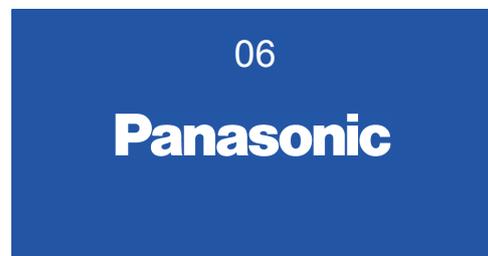
電源を入れる / 切る (つづき)

電源を入れる



- 1) 本体の電源を入れる前に、コンピューターやビデオなどの外部機器の接続を完了させます。
- 2) 本体の電源コードをコンセントに接続します。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが赤色に点灯します。レンズキャップをはずします。
- 3) 本体操作部またはリモコンの〈**⏻/⏪**〉ボタンを押します。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが緑色に点灯して、冷却ファンの回転が始まります。スクリーンに準備画面が表示され、カウントダウンが始まります。
- 4) カウントダウン後、前回使用時に選択した入力ソースとランプパワーの状態がスクリーンに表示されます。
- 5) 電源を入れたときに入力信号がない場合や本体を操作中に信号が途絶えた場合には、ビデオ / コンピューター選択画面がスクリーンに表示されます。そのような場合には、**▲▼** を押して適切な入力モードにポインターを移動し、〈ENTER〉ボタンを押します。続いて、入力信号の確認画面に従い、入力信号と接続状態を確認します。

暗証番号でロックされている場合には、暗証番号の入力画面が表示されます。次のページに示された手順に従い、暗証番号を入力します。

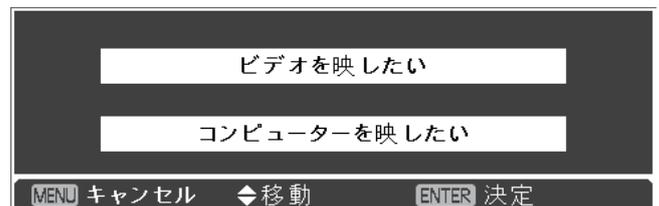


電源を入れてから 30 秒間準備画面が表示されます。

選択中の入力ソースおよびランプ制御



ビデオ/コンピューター選択画面



お知らせ

- [ダイレクトオン] 機能が オン に設定されている場合、電源コードを接続すると同時に自動的に電源が入ります。
- [ロゴ選択] 機能がオフになっていると、準備画面のカウントダウンは表示されますがロゴは表示されません。(👉51 ページ)
- [オンスクリーン表示] 機能の [カウントダウン オフ] または [オフ] を選択している場合は、準備画面は表示されません。(👉51 ページ)
- [自動入力切換] 機能が [オン 2] になっていると、入力信号の自動検出が行われます。(👉50 ページ)

暗証番号を入力する

▲▼ ボタンを使用して、数字を選択します。▶ ボタンを押して、数字を確定し、次のボックスに赤枠ポインターを移動します。確定した数字は「*」という表示になります。数字を間違えた場合は、◀ ボタンを使用して、修正したいところに赤枠ポインターを戻し、正確な数字を入力します。

このステップを繰り返して、4桁すべてを入力します。

4桁の入力が完了したら、ポインターを [セット] に移動します。〈ENTER〉ボタンを押すと暗証番号の入力が完了し、本機の操作を開始できます。

誤った暗証番号を入力すると、番号が(****)赤色になります。その場合には、暗証番号を最初から入力し直してください。

お知らせ

- 暗証番号入力画面が表示されてから3分以内に暗証番号の入力がない場合や、正しい番号を入力し直さなければ、自動的に本機の電源がオフになります。
- 初期設定の暗証番号は、「1234」です。

暗証番号入力画面



↓ [OK] アイコンが表示されたら、本機の操作を開始できます。



電源を入れる / 切る (つづき)

電源を切る

- 1) 本体操作部またはリモコンの〈/I〉ボタンを押すと、「もう1度押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。
- 2) もう1度、〈/I〉ボタンを押すと、電源が切れます。〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが橙色で点滅し始めます。冷却ファンはそのまま回転し続けます。この状態で、冷却ファンは回転した状態ですが、電源プラグをコンセントから抜くことができます。
- 3) 本体の温度が十分に下がり、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの点滅が止まると、スタンバイ状態となり、本体の電源を入れることができます。

お知らせ

- 本体の温度が十分に下がるまで、本機を箱などに入れないでください。
- 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが点滅している間は、ランプの冷却が行われているため、本機の電源を入れることはできません。再び本機の電源を入れる場合は、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
- 〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータが赤色点灯になったら、本機の電源を入れることができます。電源を切ってから直ぐに電源コードを抜いた場合に比べると、正規の手順で電源を切ってファン冷却を行った場合の方が、再び電源を入れたときの待機時間が短くなります。

もう1度押すと電源が切れます

4秒間「もう1度押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。

■ダイレクトパワーオフ機能

投写中であっても、電源プラグをコンセントから抜いたり、電源ブレーカーを落としたりすることができます。

お知らせ

- 電源ブレーカーまたは電源プラグをコンセントから抜いて電源を落とした場合、すぐに本機の電源を入れ直すことはできません。高温になっているランプを冷ます必要があり、再び電源を入れたときに、ランプが点灯するまでに多少の時間がかかります。

投写する

外部機器の接続および電源コードの接続（☞ 24～25 ページ）を確認し、電源を入れる（☞ 26 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。

本体操作部の〈INPUT〉ボタンまたは、リモコンの〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、〈COMPONENT〉ボタンで選択した映像が投写されます。（☞ 30 ページ）

お願い

- 接続機器や再生する DVD やビデオテープによっては、正常に映像が映らないことがあります。[入力]メニューの「Component」、「S-video」、「ビデオ」（☞ 37 ページ）で入力信号に合ったシステム方式に設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、「スクリーン」メニュー（☞ 46 ページ）から最適な縦横比に切り換えてください。

映像の映り具合を調整する

1) 投写角度を調整する

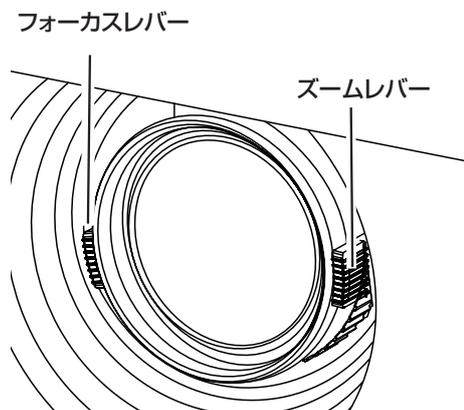
- プロジェクターをスクリーン面と平行に置き、投写画面が長方形になるように水平な場所に設置します。
- プロジェクターがスクリーンより下向きになっている場合は、アジャスター脚を伸ばして投写画面が長方形になるように調整します。
- 詳しくは「アジャスター脚の調整」をご覧ください。（☞ 22 ページ）

2) レンズシフトを調整する

- 垂直レンズシフトリングで投写位置を調整します。
- 詳しくは「レンズシフト機能によるレンズ位置調整」をご覧ください。（☞ 22 ページ）

3) ズームとフォーカスを調整する

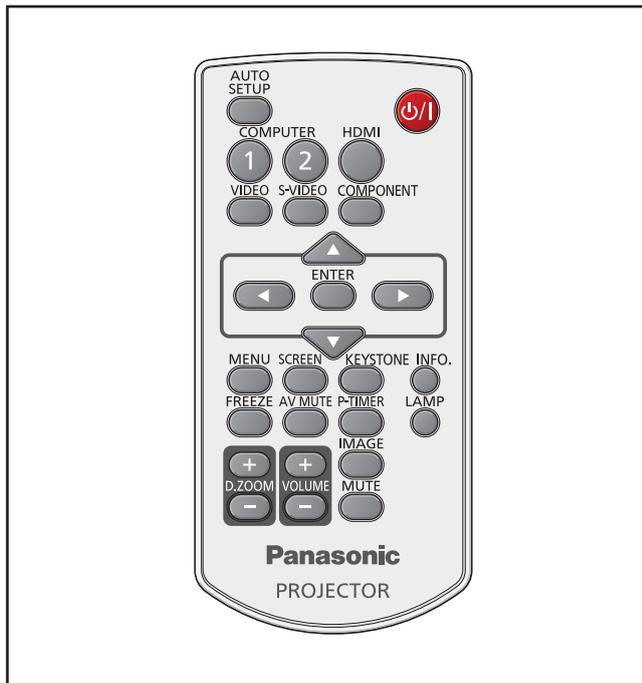
[ズームレバー]と[フォーカスレバー]を回して映像を調整します。



お知らせ

- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- 「フォーカスレバー」を回すと投写サイズが変わるため「ズームレバー」を回して、再度投写サイズを微調整してください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「スクリーン」メニューの「台形補正」（☞ 47 ページ）を行ってください。

リモコンで操作する



オートセットアップ機能を使う

このボタンを押すと、[自動入力切換]、[自動 PC 調整] (コンピューターからのアナログRGB信号入力時)、[自動台形補正] を自動調整することができます。



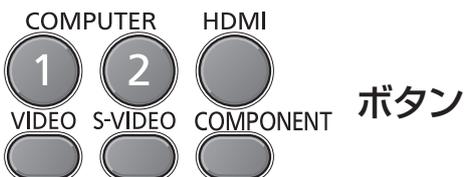
リモコンの〈AUTO SETUP〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「メインメニューについて」の「オートセットアップ」をご覧ください。(P.50 ページ)

入力信号を切り換える

このボタンを押すと、入力信号を切り換えることができます。

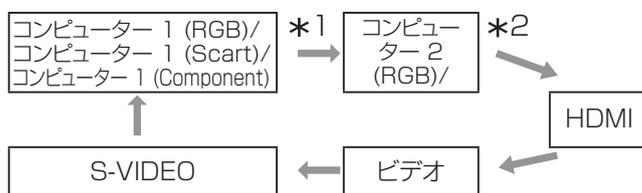


リモコンの〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈HDMI〉、〈VIDEO〉、〈S-VIDEO〉、または〈COMPONENT〉ボタンを選択する

COMPUTER 1	コンピューター 1 (RGB)/ コンピューター 1 (Scart) に切り換えます。
COMPUTER 2	コンピューター 2 (RGB) に切り換えます。
HDMI	HDMI 入力に切り換えます。
VIDEO	ビデオ入力に切り換えます。
S-VIDEO	S ビデオ 入力に切り換えます。
COMPONENT	コンピューター 1 (Component) に切り換えます。

お知らせ

- 本体操作部の〈INPUT〉ボタンを押すと、以下の順で切り換わります。(P.17 ページ)



- *1 [コンピューター 1] は [入力] メニューのサブメニューで選択した項目に応じた入力信号になります。
- *2 設定メニューの [端子] を [モニター出力] に設定している場合は、[コンピューター 2 (RGB)] はスキップして選択できません。
このとき、リモコンの〈COMPUTER 2〉ボタンを押した場合は「モニター出力」と表示されます。

〈SCREEN〉ボタン

このボタンを押すと、スクリーンモードを選択したり、スクリーンサイズを変更することができます。



リモコンの〈SCREEN〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「スクリーンについて」をご覧ください。(P.46 ページ)

〈KEYSTONE〉 ボタン

このボタンを押すと、台形ひずみを補正することができます。



リモコンの〈KEYSTONE〉 ボタンを押す

〈AUTO SETUP〉 ボタンを押しても投写映像に台形ひずみがある場合は、以下の手順に従い手動で補正します。

リモコンの〈KEYSTONE〉 ボタンを押します。台形補正画面が表示されます。▲▼ を押して台形ひずみを補正します。台形補正の情報は保存できます。(👁️ 47 ページ)

操作	画面の状態
▲ を押すと、台形の上部を補正できます。	
▼ を押すと、台形の底部を補正できます。	

お知らせ

- 白の矢印は、補正されていないことを示します。
- 赤の矢印は、その方向に補正されていることを示します。
- 台形補正の限界までくるとその方向の矢印が消えます。
- 台形補正画面が表示されているときに、リモコンの〈KEYSTONE〉 ボタンをもう 1 度押すと、台形補正前の状態に戻ります。(👁️ 47 ページ)
- 入力信号により補正可能な範囲が変わることがあります。

〈INFO.〉 ボタン

このボタンを押すと、インフォメーションメニューを表示することができます。



リモコンの〈INFO.〉 ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「インフォメーションについて」をご覧ください。(👁️ 58 ページ)

静止機能を使う

このボタンを押すと、外部機器の再生中であっても、一時的に映像を静止させ、消音することができます。



リモコンの〈FREEZE〉 ボタンを押す

このボタンを押すと、一時的に投写映像が静止し、音声も消えます。静止機能を中止するには、〈FREEZE〉 ボタンをもう一度押すか、またはリモコン内の任意のボタンを押します。

静止中は、図 1 のアイコンが表示されます。

図 1



お知らせ

- 無信号のときは、 マークが表示されます。
- 静止中に〈MUTE〉 ボタンを押すと、静止が解除されるとともに、音声ミュートが解除され音声が出ます。

リモコンで操作する (つづき)

AV ミュート機能を使う



リモコンの〈AV MUTE〉ボタンを押す

このボタンを押すと、映像と音声を一時的に消すことができます。元に戻すには、〈AV MUTE〉ボタンをもう一度押すか、または、リモコン内の任意のボタンを押します。

- ロゴが設定されていない場合は、〈AV MUTE〉ボタンを押す度に、次の順番で切り換わります。



- 付属の CD-ROM に収録されている「ロゴ転送ソフトウェア」を使用すると、コンピューターからプロジェクターにロゴを送ることができます。ロゴ選択 (👁 51 ページ) で [ユーザー] として設定すると、〈AV MUTE〉ボタンを押す度に、次の順番でロゴがスクリーンに投写されます (ロゴはユーザー定義可能)。



お知らせ

- 〈MUTE〉ボタンを使用して AV ミュート機能を解除すると、音声ミュートは働かず音声が出てきます。

〈P-TIMER〉ボタン

このボタンを押すと、プレゼンテーションタイマーのカウントアップ / カウントダウン機能を使用できます。



リモコンの〈P-TIMER〉ボタンを押す

お知らせ

- 〈P-TIMER〉ボタンを押すと、カウントを開始し、再度〈P-TIMER〉ボタンを押すと、カウントを停止します。カウント停止状態で〈P-TIMER〉ボタンを押すと、カウントが再開します。プレゼンテーションタイマー機能を中止するには、〈P-TIMER〉ボタンを長押しします。(👁 53 ページ)

〈LAMP〉ボタン

このボタンを押すと、ランプパワーモードを選択して、スクリーンの明るさを変えることができます。



リモコンの〈LAMP〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは [設定] メニューの [ランプパワー] をご覧ください。(👁 54 ページ)

〈D.ZOOM〉ボタン

デジタルズームの +/- モードを切り換えることができます。



リモコンの〈D.ZOOM +/-〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは「スクリーンについて」の「デジタルズーム +/-」をご覧ください。(👁 47 ページ)

〈VOLUME〉ボタン

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整できます。



リモコンの〈VOLUME +/-〉ボタンを押す

本体操作部またはリモコンの〈VOLUME +/-〉ボタンを押して、音量を調整します。しばらくの間、スクリーンに音量画面が表示されます。

お知らせ

- 詳しくは「サウンドについて」の「音量」をご覧ください。(👁 49 ページ)

〈IMAGE〉 ボタン

このボタンを押すと、画質モードを選択できます。



リモコンの〈IMAGE〉ボタンを押す

〈IMAGE〉ボタンを押して、[ダイナミック]、[標準]、[リアル]、[シネマ]、[黒(緑)板]、[カラーボード]、[イメージ 1]、[イメージ 2]、[イメージ 3]、[イメージ 4]のいずれかのモードを選択します。

お知らせ

- 詳しくは「画質モードについて」をご覧ください。
(👁️ 42 ページ)

〈MUTE〉 ボタン

このボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。



リモコンの〈MUTE〉ボタンを押す

お知らせ

- 音声ミュートを解除するには、もう一度このボタンを押して、[オフ]を選択するか、または〈VOLUME +/-〉ボタンを押します。(👁️ 49 ページ)

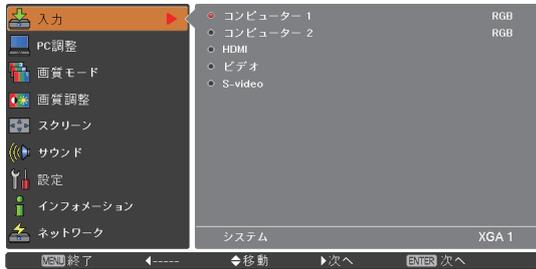
オンスクリーンメニューについて

メニュー画面の操作方法

■ 操作の手順

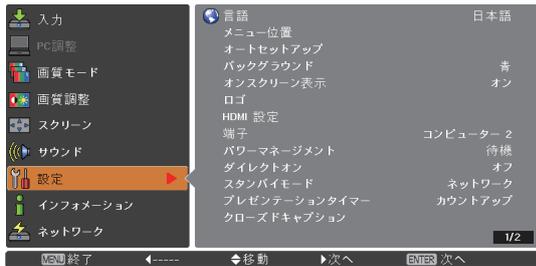
1) 〈MENU〉 ボタンを押す

メインメニュー画面が表示されます。



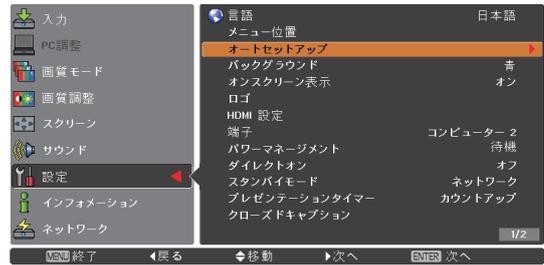
2) ▲▼ ボタンで、変更したい項目を選択する

[入力]、[PC 調整]、[画質モード]、[画質調整]、[スクリーン]、[サウンド]、[設定]、[インフォメーション]、および [ネットワーク] の 9 項目から、調整したい項目を選択します。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで表示され、その項目のサブメニューが右側に表示されます。



3) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押す

サブメニューの項目が選択できるようになります。



4) ▲▼ ボタンで、変更したいサブメニューの項目を選択する

5) 〈ENTER〉 ボタンまたは ▶ を押して、変更したい項目を表示する

6) ▲▼ ◀▶ ボタンで、設定の切り換えや調整を行う

7) ◀ ボタンで一つ前のメニューに戻り、〈MENU〉 ボタンを押して、メインメニューを閉じる

お知らせ

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色で表示され、その項目は選択できません。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できる項目があります。
- サブメニューの詳細は、35 ~ 36 ページをご覧ください。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

メインメニュー

メインメニューには以下の 9 項目があります。メインメニューの項目を選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

	入力
	PC 調整
	画質モード
	画質調整
	スクリーン
	サウンド
	設定
	インフォメーション
	ネットワーク

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニュー項目が表示され、各項目の設定または調整ができます。

■ 入力 []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
コンピューター 1	RGB	37
コンピューター 2	RGB	37
HDMI	-	37
ビデオ	-	37
S-video	-	37

■ PC 調整 []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
自動 PC 調整	-	39
トラッキング	-	40
総ドット数	-	40
水平位置	-	40
垂直位置	-	40
コンピューター情報	-	41

サブメニュー項目	初期設定	ページ
クランプ	-	41
画面領域 H	-	41
画面領域 V	-	41
リセット	-	41
データ消去	-	41
メモリー	-	41

お知らせ

- これらの機能は、入力モードがコンピューターの場合に利用できます。

■ 画質モード []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
ダイナミック	-	42
標準	-	42
リアル	-	42
シネマ	-	42
黒 (緑) 板	-	42
カラーボード	赤	42
イメージ 1-4	-	42

■ 画質調整 []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
コントラスト	32	43
明るさ	32	43
色の濃さ *1	32	43
色合い *1	32	43
アイリス	-	43
色温度	-	43
赤	32	44
緑	32	44
青	32	44
デイトビュー	-	44
画質	8	45
ガンマ補正	8	45
ノイズリダクション *1	L1	45
プログレッシブ *1	L1	45
リセット	-	45
メモリー	-	45

*1：ビデオ系信号をプロジェクターに入力する際に利用できる機能です。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

■ スクリーン []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
ノーマル	-	46
フル *1	-	46
ワイド (16:9)*1	-	46
ズーム *1	-	46
リアル *1	-	46
ピットリワイド *2	-	46
カスタム	-	46
カスタム調整 *1	-	47
デジタル ズーム + *1	-	47
デジタル ズーム - *1	-	47
台形補正	メモリー	47
天つり	オフ	48
リア投映	オフ	48
スクリーンアスペクト *2	初期設定 (16:10)	48
リセット	-	48

*1 : コンピューター信号をプロジェクターに入力する際に利用できる機能です。

*2 : PT-VW440 のみ。

■ サウンド []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
音量	32	49
消音	オフ	49
マイク	オフ	49
マイクゲイン	32	49
スタンバイマイク	オフ	49

■ 設定 []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
言語	日本語	50
メニュー位置	中央	50
オートセットアップ	-	50
バックグラウンド	青	51
オンスクリーン表示	オン	51
ロゴ	-	51
HDMI 設定	-	52
端子	コンピューター 2	52
パワーマネージメント	シャットダウン	52
ダイレクトオン	オフ	53
スタンバイモード	エコ	53
プレゼンテーションタイマー	カウントアップ	53
クローズドキャプション	オフ	54
ランプパワー	ノーマル	54
リモコンコード	すべて	54
セキュリティ	-	54

サブメニュー項目	初期設定	ページ
ファン	L2	55
ファン制御	オフ	55
映像遅延制御	オフ	55
フィルターカウンター	-	56
エミュレート	デフォルト	56
警告履歴	-	57
初期設定	-	57

■ インフォメーション []

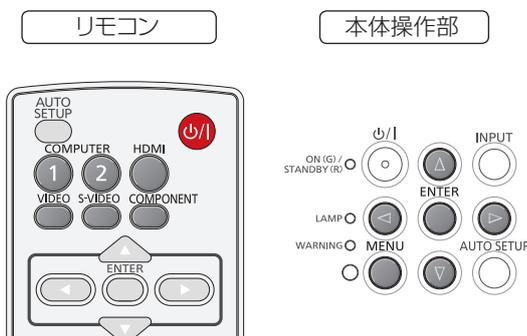
サブメニュー項目	初期設定	ページ
入力	-	58
システム	-	58
水平周波数	-	58
垂直周波数	-	58
スクリーン	-	58
言語	-	58
ランプパワー	-	58
ランプ使用時間	-	58
パワーマネージメント	-	58
キーロック	-	58
暗証番号ロック	-	58
リモコンコード	-	58
シリアル番号	-	58

■ ネットワーク []

サブメニュー項目	初期設定	ページ
プロジェクター名	-	59
ネットワーク設定	-	59
ネットワークコントロール	オン	60
ネットワークステータス	-	60
AMX D. D.	オフ	60
RoomView	オフ	60
ネットワーク初期設定	-	60

「入力」について

メインメニューの [入力] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」34 ページ参照）。



コンピューター 1 : RGB / Component / RGB(Scart)

[コンピューター 1] 入力の映像を投写します。

- 1) ▲▼ を押して、[コンピューター 1] を選択する
- 2) ▶ を押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、[RGB]、[Component] または [RGB(Scart)] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

お知らせ

- オートセットアップ機能の「自動入力切換」機能を [オン 1] または [オン 2] に設定している場合は、入力信号の自動サーチが実行されます。
- RGB(Scart) を選択している場合は、[システム] を選択することはできません。

コンピューター 2 : RGB

[コンピューター 2] 入力の映像を投写します。

▲▼ を押して、[コンピューター 2 (RGB)] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

お知らせ

- 設定メニューの [端子] を [モニター出力] に設定している場合は、[コンピューター 2(RGB)] はスキップして選択できません。

HDMI

[HDMI] 入力の映像を投写します。

▲▼ を押して、[HDMI] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

ビデオ

[ビデオ] 入力の映像を投写します。

▲▼ を押して、[ビデオ] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

S-video

[S-video] 入力の映像を投写します。

▲▼ を押して、[S-video] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

システム

サブメニューの下方に [システム] が表示されています。

- 1) ▲▼ を押して、[システム] を選択し、▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る
- 2) ▲▼ を押して、適切なシステムを選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

「入力」について (つづき)

■ コンピューター入力時

Auto	接続されたコンピューターからの信号を本機が認識できない場合は、自動PC調整機能がはたらき適切な映像が投写され、[システム]に[Auto]と表示されます。 映像が適切な投写されない場合は、手動でPC調整を行い、[メモリー]に登録してください。
----	コンピューター入力信号がありません。コンピューターと本機との接続を確認してください。
モード1 ～ モード10	PC調整の[メモリー]で登録したモードが表示されます。

お知らせ

- 本機の対応信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。(📖 90～93ページ)

■ ビデオ・S-video 入力時

Auto	入力信号のカラーシステムに本機が自動で対応します。
PAL / SECAM / NTSC / NTSC4.43 / PAL-M / PAL-N	適切なビデオ映像が投写されない場合は、メニューの中から適切なカラー方式を選択してください。

■ コンポーネント入力時

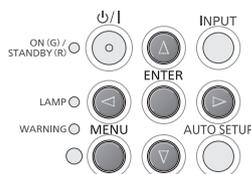
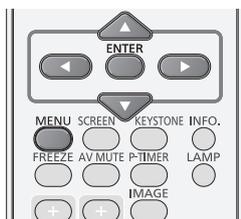
Auto	入力信号の走査方式に本機が自動で対応します。
1080i / 1035i / 720p / 576p / 480p / 576i / 480i	正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでください。

「自動 PC 調整」について

メインメニューの [PC 調整] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」34 ページ参照）。

リモコン

本体操作部



自動 PC 調整

自動 PC 調整機能は、お使いのコンピューターに合わせて、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置を自動調整する機能です。

▲▼ を押して、[自動 PC 調整] を選択してから、〈ENTER〉ボタンを押す

- 自動 PC 調整中は、「しばらくお待ち下さい」というメッセージが表示されます。

調整値を保存する方法

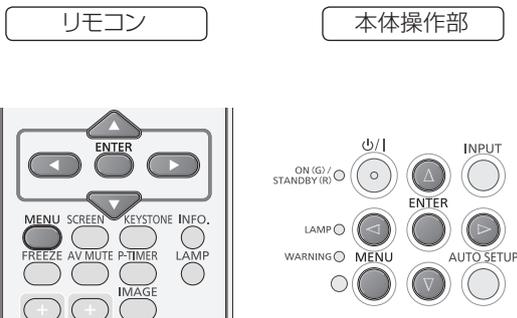
自動 PC 調整により調整された値を本機に保存することができます。調整値を本機に保存しておくと、次回からは [システム] (👉 37 ページ) でモード (1 ~ 10) を選択するだけで設定が完了します。「メモリー」 (👉 41 ページ) もご覧ください。

お願い

- コンピューターによっては、この自動 PC 調整でトラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置を調整できないことがあります。この機能で適切な映像が得られない場合は、手動で調整する必要があります (👉 40 ~ 41 ページ)。
- コンピューター信号入力時に [システム] (👉 37 ページ) で [480i]、[576i]、[480p]、[576p]、[720p]、[1035i]、[1080i] のいずれかが選択されている場合、または HDMI IN 入力端子からの信号が選択されている場合は、自動 PC 調整機能は働きません。

「手動 PC 調整」について

メインメニューの [PC 調整] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」34 ページ参照）。



お使いのコンピューターが特殊な信号方式を採用している場合、本機のマルチスキャンシステムで調整することができないことがあります。その場合は、その信号方式に合わせて PC 調整項目を手動で調整します。本機には、手動で調整した値を保存できる専用のメモリー領域があり、10 パターンまで保存できます。これにより、特定のコンピューター専用の設定をいつでも呼び出すことができます。

トラッキング

- 1) ▲▼ を押して、[トラッキング] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、値を調整する
 - 値は 0 ~ 31 の範囲で調整できます。

総ドット数

- 1) ▲▼ を押して、[総ドット数] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、値を調整する

水平位置

- 1) ▲▼ を押して、[水平位置] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、水平位置を調整する

■ 水平位置（左右）の調整

操作	調整
◀ を押す	映像位置が右へ移動します
▶ を押す	映像位置が左へ移動します

垂直位置

- 1) ▲▼ を押して、[垂直位置] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、映像の垂直位置を調整する

■ 垂直位置（上下）の調整

操作	調整
▶ を押す	映像位置が上へ移動します
◀ を押す	映像位置が下へ移動します

コンピューター情報

- 1) ▲▼ を押して、[コンピューター情報] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移ると、接続されているコンピューターの水平周波数および垂直周波数が表示される

クランプ

- 1) ▲▼ を押して、[クランプ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する
 - 映像に暗色の線が出る場合に、この調整を行います。

画面領域 H

- 1) ▲▼ を押して、[画面領域 H] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、水平方向の画面領域を調整する

画面領域 V

- 1) ▲▼ を押して、[画面領域 V] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、垂直方向の画面領域を調整する

リセット

このリセット機能を実行すると、すべての調整が解除され、最初の状態に戻ります。

- 1) ▲▼ を押して、[リセット] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

データ消去

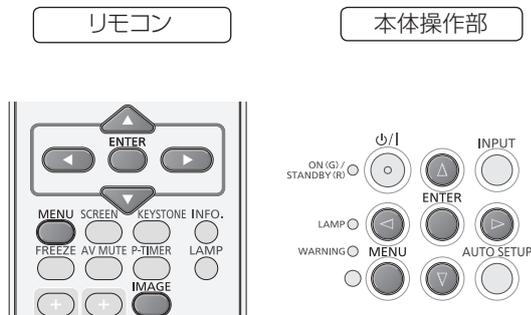
- 1) ▲▼ を押して、[データ消去] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る
 - 消去したいモードを選択して、〈ENTER〉 ボタンを押します。確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

メモリー

- 1) ▲▼ を押して、[メモリー] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る
 - 保存先として、モード 1 ~ 10 のいずれかを選択して、〈ENTER〉 ボタンを押します。確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

「画質モード」について

メインメニューの [画質モード] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」34 ページ参照）。



ダイナミック

明るい部屋向けの画質モード。

▲▼ を押して、[ダイナミック] を選択し、**<ENTER>** ボタンを押す

標準

あらかじめ設定されている標準的な画質モード。

▲▼ を押して、[標準] を選択し、**<ENTER>** ボタンを押す

リアル

中間階調を明るく見せる画質モード。

▲▼ を押して、[リアル] を選択し、**<ENTER>** ボタンを押す

シネマ

階調表現を重視した画質モード。

▲▼ を押して、[シネマ] を選択し、**<ENTER>** ボタンを押す

黒（緑）板

黒板に投写する場合のモード。

▲▼ を押して、[黒（緑）板] を選択し、**<ENTER>** ボタンを押す

- このモードは、黒板に投写した映像を最適化します。黒色の黒板ではなく、緑色の黒板で効果があります。

カラーボード

壁面などのカラーボードに投写する場合のモード。

- 1) ▲▼ を押して、[カラーボード] を選択する
- 2) ▶ または **<ENTER>** ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押してカラーを選択し、**<ENTER>** ボタンを押す
 - 赤、青、黄、緑のいずれかを選択できます。

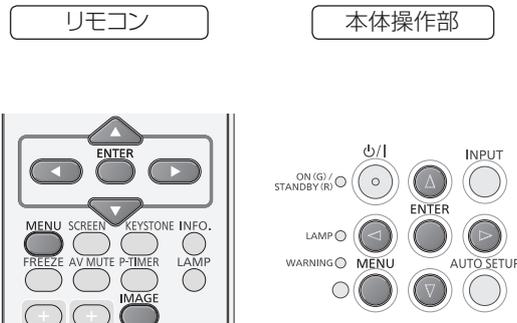
イメージ 1 ~ 4

「画質調整」メニューの「メモリー」で設定したユーザー定義の画質モード。

▲▼ を押して、[イメージ 1 ~ 4] を選択してから、**<ENTER>** ボタンを押す

「画質調整」について

メインメニューの「画質調整」を選択して、サブメニューの項目を選択してください。（「メニュー画面の操作方法」34 ページ参照）



お知らせ

- 「画質調整」の内容は、メモリーに保存することができます。「画質調整」の内容を、メモリーに保存しないと「画質モード」切替時に調整された値が工場出荷状態に戻ります。

コントラスト

- ▲▼ を押して、「コントラスト」を選択する
- 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面が明るくなり、映像が濃くなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	画面が暗くなり、映像が薄くなります	最小値 0

明るさ

- ▲▼ を押して、「明るさ」を選択する
- 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が明るくなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が暗くなります	最小値 0

色の濃さ

- ▲▼ を押して、「色の濃さ」を選択する
- 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	色を濃くなります	最大値+ 63
◀ ボタンを押す	色を薄くなります	最小値 0

お知らせ

- ビデオ系信号入力時に、「色の濃さ」を調整できます。

色合い

- ▲▼ を押して、「色合い」を選択する
- 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- ◀▶ を押して、レベルを調整して適切な色合いにする
 - 値は 0 ~ 63 の範囲で調整できます。

お知らせ

- ビデオ系信号入力時で、カラー方式が NTSC または NTSC4.43 のとき、「色合い」を調整できます。

アイリス

このアイリス機能は、コントラストのレベルを上げます。

- ▲▼ を押して、「アイリス」を選択する
- 〈ENTER〉 ボタンを押して、調整画面を表示する
- ◀▶ を押して切り換える

オフ	無効になります
オン	明るさよりもコントラストが優先されます。

「画質調整」について (つづき)

色温度

- 1) ▲▼ を押して、[色温度] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、適切な色温度レベルを選択する
 - [超低]、[低]、[中]、[高] のいずれかの色温度レベルを選択できます。

お知らせ

- [[画質モード] メニューで [黒(緑)板] または [カラーボード] を選択すると、[色温度] レベルに [黒板] または [カラーボード] が表示されます。

赤

- 1) ▲▼ を押して、[赤] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	映像の白色部分の赤みが強くなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	映像の白色部分の赤みが弱くなります	最小値 0

緑

- 1) ▲▼ を押して、[緑] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	映像の白色部分の緑が強くなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	映像の白色部分の緑が弱くなります	最小値 0

青

- 1) ▲▼ を押して、[青] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	映像の白色部分の青みが強くなります	最大値 + 63
◀ ボタンを押す	映像の白色部分の青みが弱くなります	最小値 0

デイトビュー

この機能は環境照度センサーを使用して室内の明るさを検出し、本機の出力を自動的に調節して、プレゼンテーションが見やすくなるようにします。

- 1) ▲▼ を押して、[デイトビュー] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して切り換える

自動	周囲の明るさにより自動的に調整します
オン	デイトビューを有効にします
オフ	デイトビューを無効にします

お知らせ

- [リア投映] を [オン] にすると、[自動] は無効になります。
- この機能を [オン] または [自動] にすると、[画質] は無効になります。

画質

- 1) ▲▼ を押して、[画質] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、レベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	輪郭がシャープになります	最大値 + 15
◀ ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります	最小値 0

お知らせ

- [デイルイトビュー] を [オン] または [自動] にすると、[画質] は無効になります。

ガンマ補正

- 1) ▲▼ を押して、[ガンマ補正] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、ガンマ値を調整して、コントラストのバランスをよくする
 - 値は 0 ~ 15 の範囲で調整できます。

ノイズリダクション

映像信号ノイズを減らすことができます。

- 1) ▲▼ を押して、[ノイズリダクション] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、適切な項目を選択する

オフ	ノイズリダクションを無効にします
L1	低感度のノイズリダクション
L2	高感度のノイズリダクション

お知らせ

- ノイズリダクション機能はビデオ系信号を入力する際に利用できます。
- コンポーネント信号入力時に [システム] (👁️ 37 ページ) で、[480p]、[576p]、[720p]、[1035i]、[1080i]、[D-480p]、[D-576p]、[D-720p]、[D-1035i]、[D-1080i]、[D-1080p] のいずれかが選択されている場合は、[ノイズリダクション] は選択できません。

プログレッシブ

インターレース信号をプログレッシブモードに変換して表示することができます。

- 1) ▲▼ を押して、[プログレッシブ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、調整画面を表示する
- 3) ◀▶ を押して、適切な項目を選択する

オフ	プログレッシブを無効にします
L1	動画に適したレベル設定です
L2	静止画に適したレベル設定です
フィルム	フィルム映画から方式変換された映像の再生に適したレベル設定です

お知らせ

- プログレッシブ機能は、ビデオ系信号を入力する際に利用できます。
- コンポーネント信号入力時に [システム] (👁️ 37 ページ) で、[480p]、[576p]、[720p]、[1035i]、[1080i]、[D-480p]、[D-576p]、[D-720p]、[D-1035i]、[D-1080i]、[D-1080p] のいずれかが選択されている場合は、[プログレッシブ] は選択できません。

リセット

このリセット機能を実行すると、すべての調整が解除され、最初の状態に戻ります。

- 1) ▲▼ を押して、[リセット] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

お知らせ

- [デイルイトビュー] 以外の調整されたデータをリセットします。

メモリー

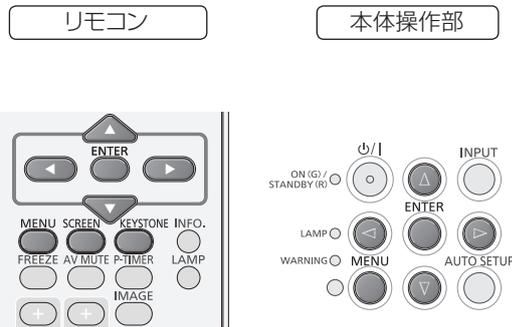
- 1) ▲▼ を押して、[メモリー] を選択する
- 2) ▶ または <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して、イメージ 1 ~ 4 のいずれかを選択して、<ENTER> ボタンを押す
 - 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

お知らせ

- [デイルイトビュー] 以外の調整されたデータを保存します。
- 「画質調整」の内容を、メモリーに保存しないと「画質モード」切替時に調整された値が工場出荷状態に戻ります。

「スクリーン」について

メインメニューの [スクリーン] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」34 ページ参照）。



ノーマル

入力信号のアスペクト比を変えずに、スクリーンサイズに合わせて投写します。

▲▼ を押して、[ノーマル] を選択し、**〈ENTER〉** ボタンを押す

フル

フルスクリーンの映像を投写します。

▲▼ を押して、[フル] を選択し、**〈ENTER〉** ボタンを押す

ワイド (16:9)

アスペクト比 16:9 で投写します。

▲▼ を押して、[ワイド (16:9)] を選択し、**〈ENTER〉** ボタンを押す

ズーム

映像のサイズを相対的に調整して、スクリーン全体に収めます。映像の上下または左右のいずれかがスクリーンサイズを超えることがあります。

▲▼ を押して、[ズーム] を選択し、**〈ENTER〉** ボタンを押す

リアル

入力信号の解像度で投写します。入力信号の解像度がパネル解像度 * よりも大きい場合は、自動的にパン機能の調整モードになります。

- 1) ▲▼ を押して、[リアル] を選択し、**〈ENTER〉** ボタンを押す
- 2) ▲▼◀▶ ボタンで映像位置を調整する
 - 映像位置を調整すると、移動した方向の矢印が赤く表示されます。調整限界位置で、矢印の表示が消えます。

* PT-VW440 のパネル解像度 : 1 280 × 800
PT-VX510 のパネル解像度 : 1 024 × 768

お知らせ

- リアル機能は、コンピューター信号を入力する際に利用できません。
- コンピューター信号入力時に [システム] (▶ 37 ページ) で、[480i]、[576i]、[480p]、[576p]、[720p]、[1035i]、[1080i] のいずれかが選択されている場合は、リアル機能は無効になり選択できません。
- スクリーンメニューで [リアル] を選択している場合は、[デジタルズーム +/-] は選択できません。

ピットリワイド [PT-VW440 のみ]

アスペクト比 4:3 の映像を、中央はあまり補正せず自然な映像になるように徐々に広げて投写します。

▲▼ を押して、[ピットリワイド] を選択し、**〈ENTER〉** ボタンを押す

お知らせ

- ピットリワイド機能は、ビデオ系信号を入力する際に利用できません。
- コンピューター信号入力時に [システム] (▶ 37 ページ) で、[720p]、[1035i]、[1080i] のいずれかが選択されている場合は、[ピットリワイド] 機能は選択できません。

カスタム

「カスタム調整」でメモリーしたアスペクト比で映像を投写します。

▲▼ を押して、[カスタム] を選択し、**〈ENTER〉** ボタンを押す

カスタム調整

スクリーンのスケールと位置を手動で調節します。

- 1) ▲▼ を押して、[カスタム調整] を選択する
- 2) ► または〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、調整したい項目を選択する
 - 以下に示す項目のいずれかを選択できます。

水平 / 垂直 スケール	映像のスケールを水平 / 垂直方向に調整します
H&V	[オン] にすると、アスペクト比を固定できます
水平 / 垂直 位置	映像の水平 / 垂直位置を調整します
共通	調整したスケールまたは位置がすべての入力に対して適用されます
リセット	調整した値すべてをリセットします

デジタルズーム +

映像をズームインします。

- 1) ▲▼ を押して、[デジタルズーム +] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 画面上のメニューが非表示になり、[D. zoom +] が表示されます。
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、映像を拡大する。▲▼ ◀▶ を押して、映像の位置を調整する
 - この映像位置調整機能は、映像信号がパネル解像度よりも大きい場合に使用できます。映像は、〈D.ZOOM +〉 または 〈ENTER〉 ボタンでも拡大できます。

デジタルズーム -

映像をズームアウトします。

- 1) ▲▼ を押して、[デジタルズーム -] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 画面上のメニューが非表示になり、[D. zoom -] が表示されます。
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押して、映像を縮小する
 - 映像は、〈D.ZOOM -〉 または 〈ENTER〉 ボタンでも縮小できます。

デジタルズーム +/- モードを終了するには、〈D.ZOOM +/-〉、〈ENTER〉、または ▲▼◀▶ 以外の任意のボタンを押します。

前のスクリーンサイズに戻すには、スクリーンサイズ調整メニューでスクリーンサイズを選択するか、または入力メニュー (☞ 37 ページ) で入力信号を選択します。あるいは、〈D.ZOOM +/-〉 ボタンでスクリーンサイズを調整します。

お知らせ

- この [デジタルズーム +/-] 機能は、コンピューター信号を入力する際に利用できます。
- スクリーンメニューで [リアル] を選択している場合は、[デジタルズーム +/-] を選択することはできません。
- スクリーンメニューで [カスタム] を選択している場合は、[デジタルズーム -] を選択することはできません。
- コンピューター信号入力時に [システム] (☞ 37 ページ) で、[480i]、[576i]、[480p]、[576p]、[720p]、[1035i]、[1080i] のいずれかが選択されている場合は、デジタルズーム +/- 機能は無効になるため、表示されません。
- デジタルズーム機能が無効のときは、! マークが表示されます。

台形補正

映像の台形ひずみを補正する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[台形補正] を選択する
- 2) ► または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、調整したい項目を選択する

台形補正	台形ひずみを補正します
メモリー	台形補正の情報を保存またはリセットします



上記 [メモリー] の選択肢

メモリー	電源を切ったり電源コードを抜いたりしても、台形補正した状態を保持します
リセット	電源コードを抜くと、台形補正した状態を解除します

お知らせ

- 詳細は、「リモコンで操作する」の「〈KEYSTONE〉 ボタン」 (☞ 31 ページ) をご覧ください。

「スクリーン」について

天つり

天つりした本体から映像を投写する際に使用する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[天つり] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで映像を調整する
 - この機能をオンにすると、映像が上下および左右に反転します。

リア投映

スクリーンの背後から投写する際に使用する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[リア投映] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで映像を調整する
 - この機能をオンにすると、映像が左右に反転します。

スクリーンアスペクト [PT-VW440 のみ]

アスペクト比が 4:3 または 16:9 のスクリーンに投写する際に使用する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[スクリーンアスペクト] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、以下に示す項目のいずれかを選択する

初期設定 (16:10)	16:10 は LCD パネルのアスペクト比です。
16:9	アスペクト比 16:9 のスクリーンに投写する。
4:3	アスペクト比 4:3 のスクリーンに投写する。

お知らせ

- [4:3] が選択されている場合、ビデオ系信号入力時のスクリーンメニューの [ピットリワイド] は選択できません。
- [16:9] が選択されている場合、スクリーンメニューの [ワイド (16:9)] は選択できません。

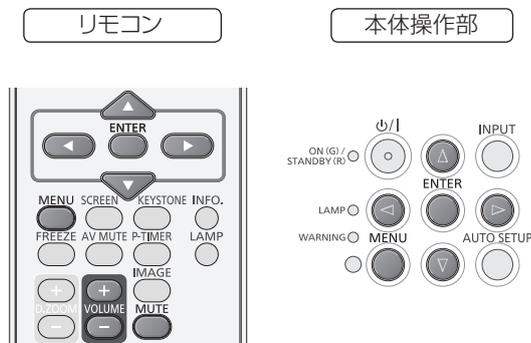
リセット

調整データをリセットすると、すべての調整が解除され、最初の状態に戻ります。

- ▲▼ を押して、[リセット] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。

「サウンド」について

メインメニューの [サウンド] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」34 ページ参照）。



音量

- 1) ▲▼ を押して、[音量] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ◀▶ を押して、音量を調整する
 - 〈ENTER〉ボタンを押して、調整モードを終了します。

操作	調整	調整範囲
▶ を押す	ボリュームを上げる	最大値 + 63
◀ を押す	ボリュームを下げる	最小値 0

- リモコンまたは本体操作部の 〈VOLUME +/-〉 ボタンを押して、音量を調整することもできます。

消音

- 1) ▲▼ を押して、[消音] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押して、消音機能のオンとオフを切り換える
 - リモコンの 〈MUTE〉 ボタンを押すことで消音機能のオン / オフを切り換えることもできます。（ 33 ページ）

マイク

- 1) ▲▼ を押して、[マイク] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンを押して、マイク機能のオンとオフを切り換える

お知らせ

- マイク機能をオフにした場合、マイクゲインおよびスタンバイマイク機能は選択できません。
- マイク機能がオンの場合、コンピューター 2 の音声は、〈COMPUTER AUDIO IN 1〉端子に接続してください。
- オーディオ信号を AUDIO IN（マイクジャック）に接続する際に、マイク機能をオンに設定していると、マイクゲインの設定値によっては、突然大きな音が出ることがあります。

マイクゲイン

- 1) ▲▼ を押して、[マイクゲイン] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ◀▶ を押して、マイクゲインを調整する
 - 〈ENTER〉ボタンを押して、調整モードを終了します。

操作	調整	調整範囲
▶ を押す	マイクゲインを上げる	最大値 + 63
◀ を押す	マイクゲインを下げる	最小値 0

スタンバイマイク

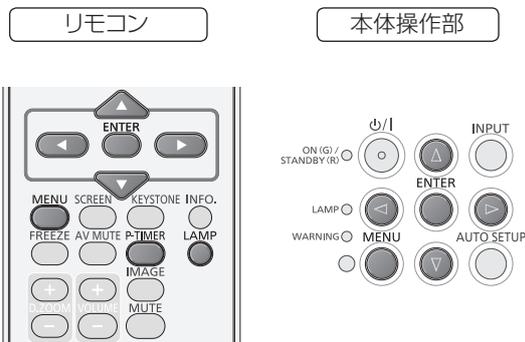
- 1) ▲▼ を押して、[スタンバイマイク] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンを押して、[スタンバイマイク] 機能の [オン] と [オフ] を切り換える

お知らせ

- スタンバイマイク機能をオンにしてスタンバイ状態にすると、マイク入力のみ出力されます。このとき、リモコンまたは本体操作部の 〈VOLUME +/-〉 ボタンを押して、マイク音量を調整することもできます。
- スタンバイモード（ 53 ページ）を [ネットワーク] に設定した場合にのみ、スタンバイマイクを選択できます。

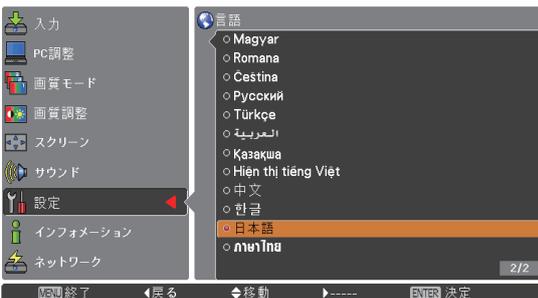
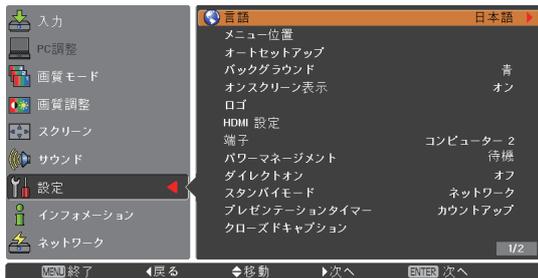
「設定」について

メインメニューの [設定] を選択して、サブメニューの項目を選択してください（「メニュー画面の操作方法」34 ページ参照）。



言語

- 1) ▲▼ を押して、[言語] を選択する
- 2) ▶ または <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して、適切な言語を選択する



- オンスクリーンメニューで使用できる言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ノルウェー語、デンマーク語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、チェコ語、ロシア語、トルコ語、アラビア語、カザフ語、ベトナム語、中国語、韓国語、日本語、タイ語です。

メニュー位置

オンスクリーンメニューの位置を変更する際に使用する機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[メニュー位置] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押して、位置を変更する
 - <ENTER> ボタンを押す度に、メニュー位置が以下の順番で表示されます。

中央 → 左下 → 右下 → 左上 → 右上 → 中央 ……

オートセットアップ

- 1) ▲▼ を押して、[オートセットアップ] を選択する
- 2) ▶ または <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して、以下の機能を選択する

■ 自動入力切換

入力信号を自動的に検出します。信号を検出すると、検索は停止します。

オフ	自動入力切換なし
オン 1	自動入力切換が作動する *1
オン 2	自動入力切換が作動する *2

*1 : ● リモコンまたは本体操作部の <AUTO SETUP> ボタンを押した場合。

*2 : ● リモコンまたは本体操作部の <ON/OFF> ボタンを押して本機の電源を入れた場合。
● リモコンまたは本体操作部の <AUTO SETUP> ボタンを押した場合。
● 現在の入力信号が途絶えた場合。*

* [AV ミュート] または [静止] 機能が働いているときに無信号になった場合、その機能を解除すると、自動入力切換が実行されます。オンスクリーンメニューが表示されているときに無信号になった場合、自動入力切換は実行されません。

■ 自動 PC 調整

オン	自動 PC 調整を有効にします *1
オフ	自動 PC 調整を無効にします

*1 : リモコンまたは本体操作部の <AUTO SETUP> ボタンを押した場合。

■ 自動台形補正

自動	本体の傾き加減に応じて、自動的に台形ひずみを補正します
手動	リモコンまたは本体操作部の <AUTO SETUP> ボタンを押した場合にのみ動作します
オフ	自動台形補正なし

お知らせ

- 自動入力切換、自動 PC 調整、および自動台形補正を同時にオフにすることはできません。
- [スクリーン] メニューの [天つり] が [オン] になっていると、自動台形補正は動作しません。

バックグラウンド

入力信号を検出できないときに表示するバックグラウンドスクリーンを選択します。

- 1) ▲▼ を押して、[バックグラウンド] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して切り換える

青	青色のバックグラウンド
黒	黒色のバックグラウンド
ユーザー	『ロゴ転送ソフトウェア』*1 で転送されたロゴを表示します

*1: 『ロゴ転送ソフトウェア』は付属の CD-ROM に収録されています。[ユーザー] はロゴが転送されているときのみ選択可能です。

オンスクリーン表示

オンスクリーン表示を表示するかどうかを選択します。

- 1) ▲▼ を押して、[オンスクリーン表示] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して、以下のオプションを選択する

オン	オンスクリーン表示すべてを表示します*1
カウントダウン オフ	電源を入れると、カウントダウンをせずに、入力映像が表示されます。*2
オフ	オンスクリーン表示を非表示にします*3

*1: ランプの明るさが十分になってから、映像の投写を開始する場合に選択します。初期設定では、このオプションが選択されています。

*2: ランプの明るさが不十分でも、可能な限り早く映像の投写を開始する場合に選択します。

*3: 「オフ」に設定した場合は、以下を除いて、オンスクリーン表示を非表示にします。

- オンスクリーンメニュー
- [もう1度押すと電源が切れます]
- プレゼンテーションタイマー表示
- パワーマネージメントの [入力信号なし]
- [しばらくお待ち下さい]
- [スクリーン] メニューの [リアル] 機能および [D.ZOOM+/-] 機能で表示する矢印
- [ サービス]

ロゴ

ロゴ選択、ロゴ暗証番号ロック、ロゴ暗証番号変更などの機能でロゴをカスタマイズします。

- 1) ▲▼ を押して、[ロゴ] を選択する
- 2) ▶ または <ENTER> ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して切り換える

■ ロゴ選択

スタートアップ表示のオプションを選択します。

オフ	カウントダウン画面のみ表示します
初期設定	初期設定のロゴを表示します
ユーザー	『ロゴ転送ソフトウェア』*1 で転送されたロゴを表示します

*1: 『ロゴ転送ソフトウェア』は付属の CD-ROM に収録されています。[ユーザー] はロゴが転送されているときのみ選択可能です。

■ ロゴ暗証番号ロック

管理者権限のない者がロゴを変更できないようにロックします。

オフ	ロゴ暗証番号無しでロゴを自由に変更できます
オン	ロゴ暗証番号がなければ、ロゴを変更することはできません

お知らせ

- ロゴ暗証番号ロックの設定を変更する場合は、<ENTER> ボタンを押すと、ロゴ暗証番号ロックの変更画面が表示されます。以下に示す手順に従い、ロゴ暗証番号を入力します。初期設定のロゴ暗証番号は「4321」です。

ロゴ暗証番号の入力方法

▲▼ ボタンで 0 ~ 9 の数字を選択し、▶ ボタンで 2 桁目に移動します。確定した数字は「*」と表示されます。この操作を繰り返して 4 桁すべてを入力したら、▶ ボタンで [セット] に移動します。<ENTER> ボタンを押すと、[OK?] の確認画面が表示されますので、[はい] を選択し <ENTER> ボタンを押します。

- 数字の入力をやり直す場合は、◀ ボタンで修正したい桁に戻り、▲▼ ボタンで数字を入力し直してください。
- 誤ったロゴ暗証番号を入力すると、番号(****)が赤色になりますので、ロゴ暗証番号を最初から入力し直してください。

「設定」について (つづき)

■ ログ暗証番号の変更

ログ暗証番号は、4桁の任意の数字に変更できます。

- 1) ▲▼ を押して、[ログ暗証番号変更] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 現在のログ暗証番号画面が表示されます。
- 2) ▲▼ を押して、現在の暗証番号を入力し、▶ ボタンを押して数字を確定し、次のボックスに赤枠ポインターを移動する
 - 新ログ暗証番号画面が表示されます。
- 3) この手順を繰り返して、新しいログ暗証番号を設定する

お願い

- 新しいログ暗証番号をメモして、手元に保管してください。この番号を無くすと、ログ暗証番号設定を変更できませんので、ご注意ください。

HDMI 設定

HDMI 入力のあるときのみ使用できる機能です。

- 1) ▲▼ を押して、[HDMI 設定] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る
- 3) ▲▼ を押して、以下の機能を選択する

■ イメージ

標準	接続する外部機器の出力が [標準] の場合
拡張	接続する外部機器の出力が [拡張] の場合

■ サウンド

HDMI	HDMI ケーブルで接続してデジタル音声入力がある場合、サウンドを [HDMI] に設定します
コンピューター 2	DVI -HDMI 変換ケーブルで接続する場合、サウンドを [コンピューター 2] に設定します

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書をご覧ください。
- 「サウンド」が [コンピューター 2] に設定されていて、マイク機能がオンのとき、コンピューター 2 の音声は、〈COMPUTER AUDIO IN 1〉端子に接続してください。

端子

本体の背面にある 〈COMPUTER 2 IN/MONITOR OUT〉端子は、コンピューター 2 の入力またはモニターへの出力に切り換えることができます。

- 1) ▲▼ を押して、[端子] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、項目を切り換える

コンピューター 2	コンピューターからの入力
モニター出力	モニターへの出力

お知らせ

- コンピューター 2 が選択されているときは、この [端子] 機能は選択できません。入力をコンピューター 1、HDMI、ビデオ、S-video のいずれかに変更すると、[端子] 機能を使用することができるようになります。

パワーマネージメント

本機を投写中しばらくの間何も操作しないでいると、パワーマネージメント機能により、ランプが消灯します。これにより、電力消費量を減らし、ランプを長持ちさせることができます。

- 1) ▲▼ を押して、[パワーマネージメント] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る

■ モード

- 1) ▲▼ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、適切な項目を選択する

待機	ランプが完全に冷めると、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが緑色点滅します。この状態のときに、再び信号を入力するか、またはリモコンまたは本体操作部の任意のボタンを押すと、ランプが点灯し映像が投写されます
シャットダウン	ランプの冷却が完了すると、電源がオフになります
オフ	パワーマネージメント機能が無効になります

■ タイマー

- 1) ▲▼ を押して、[タイマー] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、タイマー (1 ~ 30 分) をセットする

ダイレクトオン

- 1) ▲▼ を押して、[ダイレクトオン] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、オンまたはオフにする
 - オンにすると、電源コードをコンセントとつなぐだけで、本体の電源が自動的にオンになります。
 - 本体の電源を切る際は、適切な手順に従ってください。手順に誤りがあると、ダイレクトオン機能は正確に動作しません。

スタンバイモード

スタンバイ状態での電力を設定します。

- 1) ▲▼ を押して、[スタンバイモード] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、以下の中から、適切な項目を選択する

エコ	スタンバイ状態時に一部の機能を制限し、電力を下げます。
ネットワーク	スタンバイ状態時の機能を制限しません。

お知らせ

- 「エコ」に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能の使用はできません。また、RS-232C コマンドの一部が使用できません。
- 「ネットワーク」に設定した場合、スタンバイ状態でネットワーク機能が使用できます。また、本体の電源が入っていても、本体内部の温度が高ければ、ファンによる冷却が行われることがあります。
- 「エコ」に設定した場合、スタンバイ状態時にモニター出力と音声出力は出力されません。

プレゼンテーションタイマー

この機能は、プレゼンテーションタイマーの設定を変更したり、実際にタイマーでカウントするときに使用します。

- 1) ▲▼ を押して、[プレゼンテーションタイマー] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る

■ モード

- 1) ▲▼ を押して、以下の中から、適切なモードを選択する

カウントアップ	「000:00」をスクリーンに表示して、0 秒から経過時間をカウントアップ (000:00 ~ 180:00) します
カウントダウン	タイマー設定でセットした時間をスクリーンに表示して、経過時間をカウントダウンします。

■ タイマー

- 1) ▲▼ を押して、[タイマー] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、[タイマー] (1 ~ 180 分) をセットする
 - この [タイマー] はカウントダウンのみに使用できます。初期設定値は 10 分です。

■ 実行する

- 1) ▲▼ を押して、適切な項目を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

スタート	カウントアップまたはカウントダウンを開始します *1
リセット	プレゼンテーションタイマーの値をリセットします *2
終了	プレゼンテーションタイマーの操作を終了します

*1 : [スタート] で 〈ENTER〉 ボタンを押すと、表示が [ストップ] に変わります。カウントダウンまたはカウントアップを (一時) 停止するには、スクリーンメニューの [ストップ] で 〈ENTER〉 ボタンを押します。そうすると、表示が [再スタート] に変わります。[再スタート] で 〈ENTER〉 ボタンを押して、カウントダウンまたはカウントアップを再開します。

*2 : [リセット] で 〈ENTER〉 ボタンを押すと、以下の値に戻ります。

カウントアップ	"000:00"
カウントダウン	セットしたタイマー時間

お知らせ

- プレゼンテーションタイマーのカウントを停止するには、〈P-TIMER〉 ボタンを押します。
- プレゼンテーションタイマーを中止するには、〈P-TIMER〉 ボタンを数秒間、長押しします。

「設定」について (つづき)

クローズドキャプション

[NTSC, 480i 入力のみ]

- 1) ▲▼ を押して、[クローズドキャプション] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る

■ クローズドキャプション

- 1) ▲▼ を押して、[クローズドキャプション] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンを押して、[オフ]、[CC1]、[CC2]、[CC3]、[CC4] のいずれかを選択する

■ カラー

- 1) ▲▼ を押して、[カラー] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、[カラー] または [ホワイト] を選択する

お知らせ

- クローズドキャプションは映像信号に含まれたテキスト情報を表示する機能として、主に北米地域で使用されています。お使いの機器やソフトウェアによっては、キャプション (テキスト情報) が表示されないことがあります。
- クローズドキャプションに対応した信号が入力されている場合にのみ、[クローズドキャプション] を選択できます。
- [台形補正] で大幅に補正している場合は、文字が欠けることがあります。
- メニュー画面表示中は、クローズドキャプションは表示されません。

ランプパワー

スクリーンの明るさを変更することができます。

- 1) ▲▼ を押して、[ランプパワー] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して切り換える
 - リモコンの〈LAMP〉 ボタンを押して [ランプパワー] を切り換えることもできます。

 ノーマル	標準的な明るさ
 エコ	低輝度となり、ランプの消費電力を低減し、ランプの寿命を延ばします

お知らせ

- [ランプパワー] が [ノーマル] のとき、使用環境温度が 35 °C を超えると、内部保護のため、[エコ] に切り換わることがあります。

リモコンコード

この切り換え機能により、複数のプロジェクターまたはビデオ機器を同時に操作する際に、リモコンの干渉を防止します。

- 1) ▲▼ を押して、[リモコンコード] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ を押して、7 通りのリモコンコードから選択する
 - 本機には、7 通りのリモコンコードがあります。[すべて]、[コード 1] ~ [コード 6]

お願い

- [すべて] を選択すると、複数のプロジェクターを同時に操作できます。プロジェクターを個別に操作する場合は、別のコードに切り換える必要があります。
- 本機とリモコンのコードが異なると、どのような操作でもできません。コードが異なる場合は、リモコンコードを本機に合わせて変更してください。
- リモコンから電池を取り出して、しばらくの間使用していなかった場合は、リモコンコードはリセットされます。

セキュリティ

キーロックと 暗証番号ロックを使用して、本機の操作にセキュリティ保護を設定することができます。

- 1) ▲▼ を押して、[セキュリティ] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移る

■ キーロック

リモコンや本体操作部のボタンをロックして、管理者権限のない者による操作を防止します。

- 1) ▲▼ を押して、適切な項目を選択する

	ロックを解除します
	本体操作部の操作をロックします。リモコンを使用してロックを解除します。
	リモコンの操作をロックします。本体操作部を使用してロックを解除します。

■ 暗証番号ロック

管理者権限のない者による本機の操作を防止します。これには、以下のオプションがあります。

1) ▲▼ を押して、適切な項目を選択する

オフ	ロックを解除します
オン 1	本機の電源を入れる度に、暗証番号の入力を要求されます。
オン 2	電源コードを抜いた場合に、暗証番号の入力を要求されます。電源コードを抜かなければ、暗証番号はそのまま有効で、暗証番号を入力せずに本機を操作できます。

お知らせ

- 暗証番号ロックの設定や暗証番号（4桁数字）を変更する際には、暗証番号を入力する必要があります。初期設定の暗証番号は、「1234」です。

暗証番号の入力方法

▲▼ ボタンで 0～9 の数字を選択し、▶ ボタンで 2桁目に移動します。確定した数字は「*」と表示されます。この操作を繰り返して 4桁すべてを入力したら、▶ ボタンで [セット] に移動します。〈ENTER〉ボタンを押すと、[OK?] の確認画面が表示されますので、[はい] を選択し〈ENTER〉ボタンを押します。

- 数字の入力をやり直す場合は、◀ ボタンで修正したい桁に戻り、▲▼ ボタンで数字を入力し直してください。
- 誤った暗証番号を入力すると、番号（****）が赤色になりますので、暗証番号を最初から入力し直してください。

■ 暗証番号変更

暗証番号は、4桁の任意の数字に変更できます。

- 1) ▲▼ を押して、[暗証番号変更] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - 現在の暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 2) ▲▼ を押して、現在の暗証番号を入力する。▶ ボタンを押して、数字を確定し、次のボックスに赤枠ポインターを移動する
 - 新しい暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 3) この手順を繰り返して、新しい暗証番号を設定する

お願い

- 新しい暗証番号をメモして、手元に保管してください。この番号を無くすと、暗証番号設定を変更できませんので、ご注意ください。

ファン

- 1) ▲▼ を押して、[ファン] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、オプションを選択する

- 本機の電源オフ後の冷却ファンの動作について設定します。

L1	[L2] よりも冷却ファンの動作音が大きくなりますが、本機の冷却に要する時間が短くなります。
L2	[L1] よりも冷却ファンの動作音が小さくなりますが、本機の冷却に要する時間が長くなります。

ファン制御

- 1) ▲▼ を押して、[ファン制御] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

2) ▲▼ を押して、オプションを選択する

- 本機を使用する場所の標高に基づいて、冷却ファンの運転速度を選択します。

オフ	標準速度 *1
オン 1	オフモードより速くなります *2
オン 2	オン1モードより速くなります *3

*1： 海拔が低い環境で本機を使用する場合は、[オフ] を選択します。

*2： 海拔 1 200 m 以上 2 000m 未満の環境で本機を使用する場合は、ファンによる冷却効果が低いため、[オン 1] を選択します。

*3： 海拔 2 000 m 以上 2 700m 未満の環境で本機を使用する場合は、ファンによる冷却効果がさらに低いため、[オン 2] を選択します。

お知らせ

- 冷却ファンの回転速度の設定が適切でないと、本機の寿命が短くなります。
- [オン 1] および [オン 2] に設定すると、ファンの動作音が大きくなります。

映像遅延制御

この機能をオンに設定すると、投写映像のデジタル処理を速くすることができます。

- 1) ▲▼ を押して、[映像遅延制御] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、オンまたはオフにする

お知らせ

- 映像遅延制御機能をオンにすると、ノイズリダクション機能やプログレッシブ機能を選択することはできません。

「設定」について (つづき)

フィルターカウンター

フィルター交換の頻度を設定することができます。

- 1) ▲▼ を押して、[フィルターカウンター] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉ボタンを押して、サブメニューに移る

■ フィルターカウンター

フィルターを使用した時間の累計を表示します。

■ タイマー

フィルターの交換時間を知らせるフィルター警告アイコン [] をスクリーンに表示させるまでの時間を設定します。

- 1) ▲▼ を押して、[タイマー] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 2) ▲▼ を押して、タイマーをセットする
 - 使用環境に応じて、[オフ / 1 000 時間 / 2 000 時間 / 3 000 時間 / 4 000 時間 / 5 000 時間 / 6 000 時間] の中からタイマーを選択します。

■ フィルターカウンターリセット

フィルターを交換した後は、タイマーをリセットする必要があります。

- 1) ▲▼ を押して、[フィルターカウンターリセット] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - 「フィルターカウンターリセット？」という確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。後続の確認画面で、もう一度 [はい] を選択すると、フィルターカウンターがリセットされます。

エミュレート

本機の〈SERIAL IN〉端子を使用してコンピューターで制御する際に、以前に購入した弊社プロジェクターの制御コマンドを使用する場合に設定します。既存の弊社プロジェクター用制御ソフトウェア等を引き続き使用することができます。

- 1) ▲▼ を押して、[エミュレート] を選択する
- 2) ▶ または〈ENTER〉ボタンを押して、サブメニューに移る
 - 「エミュレート」画面が表示されます。
- 3) ▲▼ を押して、設定を切り換える
- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 『シリアル端子について』( 86 ページ) をご覧ください。

デフォルト	VW440 系、VX510 系 VW430 系、VX500 系 VW435N 系、VX505N 系
D3500	D3500 系
D4000	D4000 系
D/W5k シリーズ	D5500 系、 DW5000 系、D5600 系、 DW5000 系、D5700 系
D/W/Z6k シリーズ	D5000 系、D6000 系、 DW6300 系、 DZ6700 系、 DZ6710 系、 DZ570 系、 DW530 系、 DX500 系
L730	L520 系、 L720 系、L730 系
L780	L750 系、L780 系
L735	L735 系
L785	L785 系
LB/W シリーズ	LB2 系、LB1 系、 LB75 系、LB80 系、 LB90 系、ST10 系
F/W シリーズ	FX400 系、FW430 系、 F100 系、FW100 系、 F200 系、F300 系、 FW300 系
LZ370	LZ370 系

警告履歴

本機を操作中に生じた異常を記録し、その履歴を見て不具合を確認することができます。

- 1) ▲▼ を押して、[警告履歴] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、履歴を表示する
 - 新しい日付の警告メッセージから順に、最大 10 件までの警告履歴が表示されます。

お知らせ

- [初期設定] を実行すると、警告履歴の情報はすべて削除されます。

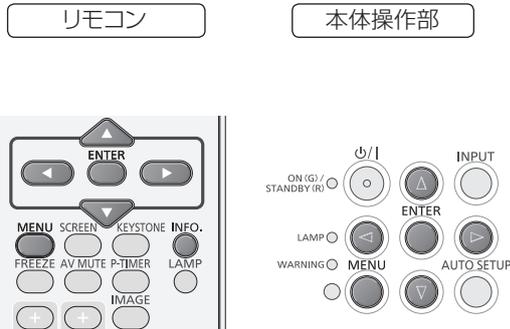
初期設定

ユーザーロゴ (ロゴ転送ソフトウェアで転送されたロゴ)、[暗証番号ロック]、[ログ暗証番号ロック]、[ランプ使用時間]、[フィルターカウンター]、およびネットワークに関する設定を除く、すべての設定値を初期値に戻すことができます。

- 1) ▲▼ を押して、[初期設定] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 「初期設定へ戻しますか？」という確認画面が表示されたら、[はい] を選択します。後続の確認画面で、もう一度 [はい] を選択すると、工場出荷時の初期設定の状態に戻ります。

「インフォメーション」について

メインメニューの [インフォメーション] を選択してください
〔「メニュー画面の操作方法」 34 ページ参照〕。



インフォメーション表示

インフォメーションメニューで、投写している映像の信号と本機の動作の状態を確認します。
また、リモコンの〈INFO.〉ボタンを押して、インフォメーションメニューを表示することもできます。

◀▶ を押して、1 ページ目と 2 ページ目を切り換える

■ 入力

選択している入力ソースを表示します。

■ システム

選択しているシステムを表示します。
無信号の場合は、「----」と表示されます。

■ 水平周波数

選択している水平同期周波数を KHz 単位で表示します。
入力がない場合、水平周波数の入力信号は ---- KHz という表示になります。

■ 垂直周波数

選択している垂直同期周波数を Hz 単位で表示します。
入力がない場合、垂直周波数の入力信号は ---- Hz という表示になります。

■ スクリーン

選択しているスクリーンモードを表示します。

■ 言語

選択している言語を表示します。

■ ランプパワー

選択している [ランプパワー] のモードを表示します。

■ ランプ使用時間

ランプの累計動作時間を表示します。

■ パワーマネージメント

[オフ]、[待機]、[シャットダウン]、および [タイマー] を表示します。

■ キーロック

選択しているキーロックのアイコンを表示します。

■ 暗証番号ロック

[オフ]、[オン 1]、または [オン 2] を表示します。

■ リモコンコード

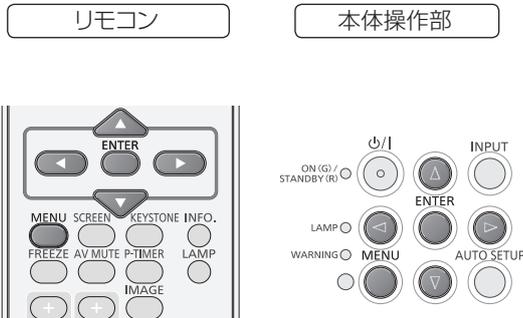
選択しているリモコンコードを表示します。

■ シリアル番号

本機のシリアル番号を表示します。
シリアル番号は、本機の保守を行うときに必要になります。

「ネットワーク」について

メインメニュー（34ページの「オンスクリーンメニューについて」をご覧ください）から[ネットワーク]を選択し、サブメニューから項目を選択してください。



プロジェクター名

ネットワーク上で、表示される本機の名前を変更することができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [プロジェクター名] を選び、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、〈ENTER〉 ボタンを押して入力する
 - 1文字消去する場合は、[BS](バックスペース) を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押します。
- 3) ▲▼◀▶ ボタンで [セット] を選び、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 変更をキャンセルする場合は、[キャンセル] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押します。
- 4) ▲▼ ボタンで [はい] か [いいえ] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

お知らせ

- プロジェクター名の工場出荷時の設定は、Name □□□□ (□□□□は4けたの数字) です。

ネットワーク設定

有線LANの詳細なネットワーク設定ができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [ネットワーク設定] を選び、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで 各項目を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

DHCP (DHCP クライアント機能)	オン: プロジェクターを接続するネットワークにDHCPサーバーが存在する場合、自動的にIPアドレスを取得します。 オフ: プロジェクターが接続するネットワークにDHCPサーバーが存在しない場合、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] の設定を行ってください。
IP アドレス (IPアドレスの表示および設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、IPアドレスを入力します。
サブネットマスク (サブネットマスクの表示および設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、サブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ (デフォルトゲートウェイアドレスの表示および設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
DNS1 (優先DNSサーバーアドレスの表示と設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、優先DNSサーバーアドレスを入力します。
DNS2 (代替DNSサーバーアドレスの表示と設定)	DHCPサーバーを利用しない場合に、代替DNSサーバーアドレスを入力します。

- 3) ▲▼◀▶ ボタンで [セット] を選び、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 有線 LAN の工場出荷設定
工場出荷時、あらかじめ下記の設定がされています。

DHCP	オフ
IP アドレス	192.168.10.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
DNS 1/DNS 2	なし

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSの詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

「ネットワーク」について (つづき)

ネットワークコントロール

ネットワーク接続しているコンピューターからプロジェクターを制御したい場合に設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ネットワークコントロール] を選び、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで [オン] か [オフ] を選択する

ネットワークステータス

使用中のプロジェクターのLAN設定環境を表示します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ネットワークステータス] を選択する
- 2) ▶ または 〈ENTER〉 ボタンを押して、サブメニューに移り、ネットワークの情報を確認する

AMX D.D.

この機能をオンに設定すると、AMX デバイスディスカバリーによる検知を有効にすることができます。詳細は下記のWEB サイトを参照してください。
<http://www.amx.com/>

- 1) ▲▼ ボタンで [AMX D.D.] を選び、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで [オン] か [オフ] を選択する

RoomView

この機能をオンに設定すると、Crestron RoomView® を使用して、ネットワークを経由でプロジェクターを監視または制御することができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [RoomView] を選び、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで [オン] か [オフ] を選択する

本機は Crestron 社の下記アプリケーションソフトに対応しています。

- ・ RoomView Express
- ・ Fusion RV
- ・ RoomView Server Edition

[Crestron RoomView] はネットワークに接続された複数のシステムの様々な機器を、コンピューターで一括して管理・制御するCrestron Electronics, Inc. 製のシステムです。

- [Crestron RoomView] の詳細については、Crestron Electronics, Inc のWEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
URL <http://www.crestron.com/>
また、「Crestron RoomView Express」のダウンロードは、Crestron Electronics, Inc のWEB サイトを参照してください。(英語表示のみとなります。)
URL <http://www.crestron.com/getroomview>

ネットワーク初期設定

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [ネットワーク初期設定] を選び、〈ENTER〉 ボタンを押す
- 2) 確認ボックスが表示されたら、[はい] を選び、〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) 次の確認ボックスが表示されたら、[はい] を選び、〈ENTER〉ボタンを押す

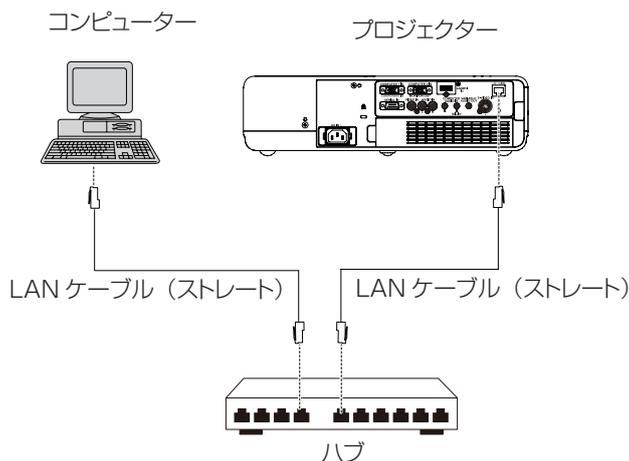
ネットワーク接続

本機はネットワーク機能を備えており、WEB ブラウザを使用してコンピューターから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時に E メールメッセージを送信

お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、WEB ブラウザーが必要です。あらかじめ WEB ブラウザーが利用できることを確認してください。
対応 OS : Windows XP/Windows Vista/Windows 7、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7
対応ブラウザ : Internet Explorer 7.0/8.0/9.0、Safari 4.0/5.0 (Mac OS)
- E メール機能をご使用になる場合は、E メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E メールが利用できることを確認してください。
- LAN ケーブルはシールドケーブルでカテゴリー 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

「ネットワーク」について (つづき)

コンピューターの操作

有線LANでの接続ができます。ただし、ネットワークの設定はネットワーク管理者に確認してから行ってください。

1) コンピューターの電源をオンにする

2) ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

プロジェクターの設定が工場出荷の状態 (59 ページ) であれば、コンピューター側は下記ネットワーク設定でお使いいただけます。

DHCP	オフ
IP アドレス	192.168.10.101
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
DNS 1	なし
DNS 2	なし

WEB ブラウザで操作する

1) コンピューターの WEB ブラウザを起動する。

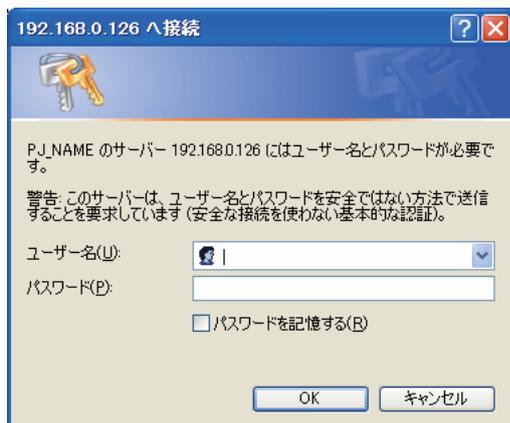
2) WEB ブラウザの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力する。

3) 『ユーザー名』と『パスワード』を入力する

- 出荷時の設定は、ユーザー名 : user1 (ユーザー権限) / admin1 (アドミニストレータ権限)、パスワード : panasonic (小文字) です。

4) [OK] をクリックする

- 『プロジェクター情報』 ページが表示されます。



お知らせ

- WEB ブラウザを同時に複数立ち上げて設定や制御を行うのは避けてください。
- 最初にパスワードの変更を行ってください。
- アドミニストレータ権限は、全機能を使用できます。ユーザー権限は、『プロジェクター情報』、『ネットワーク情報』、『基本制御』、『詳細制御』、『パスワード変更』のみ使用できます。
- WEB ブラウザを使用してプロジェクターの操作をしたい場合は、ネットワークメニューの [ネットワークコントロール] を [オン] にします。
- 本機の設定ページには、WEB ブラウザの Javascript 機能を利用している項目があります。WEB ブラウザがこの機能を使用していない設定になっている場合には、正常にコントロールを行えない場合があります。

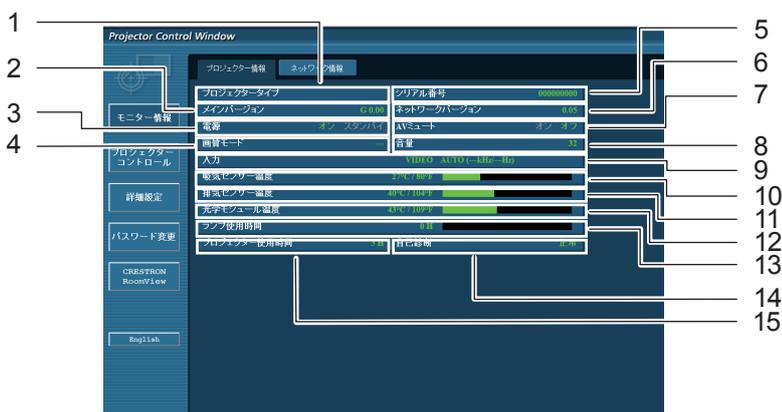
■ 各項目の説明



- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 ページ切り換えタブ
クリックすると、ページが切り換わります。 2 モニター情報ボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。 3 プロジェクターコントロールボタン
この項目をクリックすると、プロジェクターコントロールページが表示されます。 4 詳細設定ボタン
この項目をクリックすると、詳細設定ページが表示されます。 | <ol style="list-style-type: none"> 5 パスワード変更ボタン
パスワード変更ページを表示するにはこのボタンをクリックしてください。 6 CRESTRON RoomView ボタン
このボタンをクリックすると、Crestron RoomView®で本機を監視・制御できます。 7 言語変更ボタン
英語, 日本語間の言語変更はこのボタンをクリックしてください。 |
|---|--|

■ プロジェクター情報ページ

[モニター情報] → [プロジェクター情報] をクリックします。
以下の項目における本機の状態を表示します。



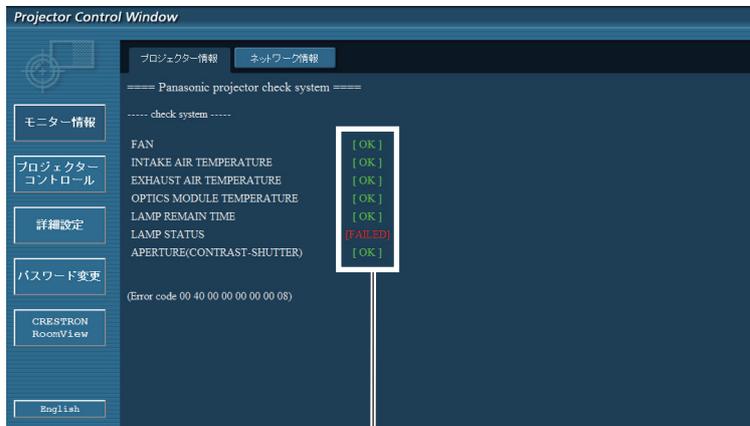
- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクターの機種名を表示します。 2 プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。 3 電源の状態を表示します。 4 映像モードの状態を表示します。 5 プロジェクターのシリアル番号を表示します。 6 ネットワークのファームウェアのバージョンを表示します。 7 AV ミュートの状態を表示します。 8 音量の状態を表示します。 9 入力の状態を表示します。 | <ol style="list-style-type: none"> 10 プロジェクターの吸気温度状態を表示します。 11 プロジェクターの排気温度状態を表示します。 12 プロジェクターの光学モジュール温度状態を表示します。 13 ランプ使用時間を表示します。 14 自己診断情報を表示します。(P.64ページ) 15 プロジェクターの使用時間を表示します。 |
|---|---|

「ネットワーク」について (つづき)

■ エラー情報ページ

「プロジェクター情報」画面の自己診断情報表示欄に「エラー（詳細表示）」が表示された時、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。



OK: 正常動作
 FAILED: 異常発生
 WARNING: 警告

異常発生 [FAILED] の項目説明

項目	説明
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
INTAKE AIR TEMPERATURE	吸気温度が高くなっています。暖房機器の近くなど温度の高い環境で使用している、吸気口がふさがれている、あるいはエアフィルターが目詰まりしている可能性があります。
EXHAUST AIR TEMPERATURE	排気温度が高くなっています。排気口がふさがれている、あるいは [ファン制御] の設定を間違えている可能性があります。(P.55ページ)
OPTICS MODULE TEMPERATURE	光学レンズモジュールの温度が高すぎます。
LAMP REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の時間を超えており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP STATUS	ランプ点灯に失敗しています。 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
APERTURE(CONTRAST-SHUTTER)	コントラストシャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。

■ ネットワーク情報ページ

現在のネットワークの設定情報が表示されます。



*有線LANの設定内容を表示します。

■ 基本制御ページ

別のページから移動するには、[プロジェクター コントロール] → [基本制御] とクリックします。



- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 電源オン/スタンバイの操作 | 4 画質モードの切換 |
| 2 入力の切換 | 5 AVミュートの操作 |
| 3 音量の調整 | |

■ 詳細制御ページ

[プロジェクター コントロール] → [詳細制御] をクリックして、詳細制御のページを表示します。



- 1 オートセットアップ機能を実行
- 2 スクリーンモードの制御
- 3 キーストーン調整の操作
- 4 リア投映/天つりの操作
- 5 イメージ調整の操作

「ネットワーク」について (つづき)

■ LAN 設定ページ

[コンピューターの管理者 (Administrator)] の権限で接続した場合に、プロジェクターに関するネットワーク設定を変更することができます。

● LAN 設定

- 1) メインメニューの [詳細設定] をクリックする
- 2) LAN 設定を変更するとき、[変更] をクリックする

●元の画面に戻るには、[戻る] をクリックしてください。

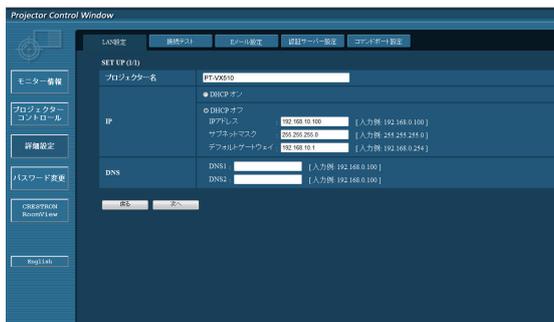
- 3) 詳細を設定し [次へ] をクリックする

● [次へ] をクリックすると、次のページが表示され、詳細設定が反映されます。

ここでの設定はプロジェクターの [ネットワーク] メニューでの「ネットワーク設定」と同じです。

- 4) [送信] をクリックする

●これで設定の登録が完了します。

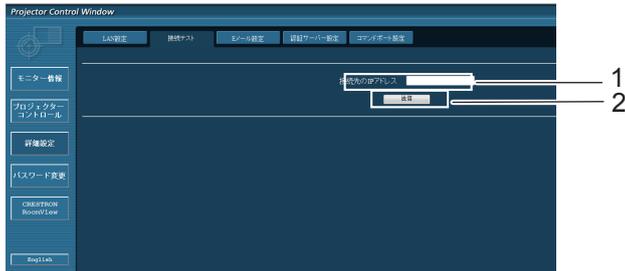


お知らせ

- LAN で接続中に LAN 設定を変更すると、接続が途切れる場合があります。

■ 接続テストページ

ネットワークがメールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどと接続しているかどうかを確認できます。接続テストページを表示するには、[詳細設定] をクリックし、それから [接続テスト] をクリックします。



- 1 テストするサーバーのIP アドレスの入力。
- 2 テストの実行ボタン。

接続された場合の表示例

```
PING 198.245.80.20 (198.245.80.20): 56 data bytes
64 bytes from 198.245.80.20: seq=0 ttl=64 time=0.837 ms
64 bytes from 198.245.80.20: seq=1 ttl=64 time=0.488 ms
64 bytes from 198.245.80.20: seq=2 ttl=64 time=0.479 ms
64 bytes from 198.245.80.20: seq=3 ttl=64 time=0.485 ms

--- 198.245.80.20 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.479/0.571/0.837 ms
```

接続できなかった場合の表示例

```
PING 198.245.80.15 (198.245.80.15): 56 data bytes
Request timed out
Request timed out
Request timed out
Request timed out

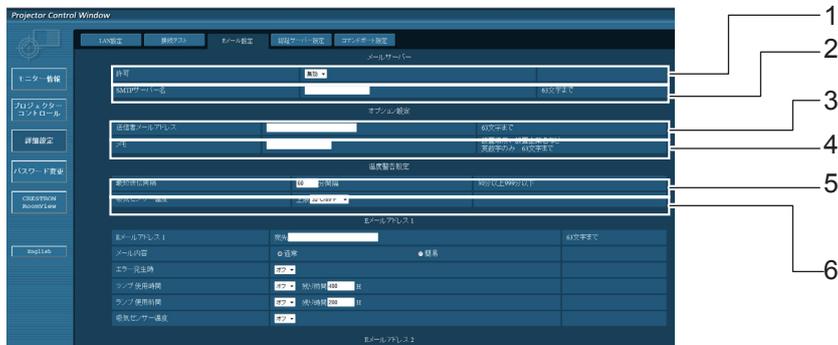
--- 198.245.80.15 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

「ネットワーク」について (つづき)

■ E メール設定ページ

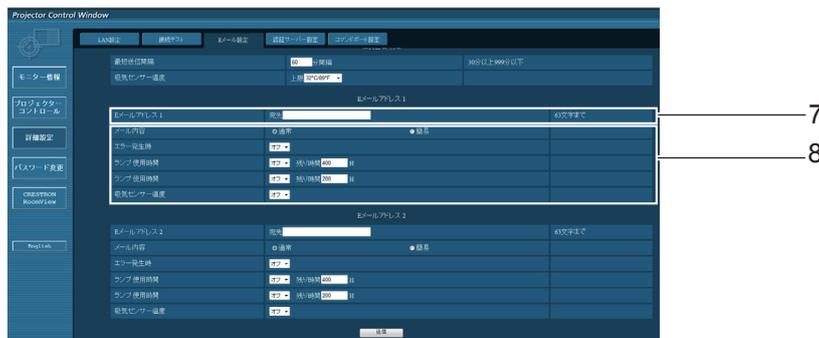
エラー発生時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいたE メールアドレス（最大2か所）にメールが送信されます。

[詳細設定] をクリックし、それから [E メール設定] をクリックします。



- 1 Eメール機能を使用する場合は有効を選択してください。
- 2 Eメールサーバー (SMTP) のIPアドレスかサーバー名を入力してください。サーバー名を入力する場合はDNSサーバーの設定が必要です。
- 3 プロジェクターのEメールアドレスを入力してください。(半角で63文字まで)
- 4 Eメールの発信元がわかりやすいようにプロジェクトターの設置場所などを入力することができます。(半角で63文字まで)

- 5 温度警告メールの最短時間間隔を変更できません。初期値は60分です。この場合、温度警告メールを送信後60分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。
- 6 温度警告メール用の設定温度を変更できます。温度警告メールを送る時の吸気センサーの温度を設定してください。



- 7 送信する宛先のEメールアドレス1を入力してください。
- 8 Eメールを送信する条件を選択します。

メール内容:	[通常] か [簡易] かを選択してください。
エラー発生時:	自己診断でエラーが発生した場合。
ランプ使用時間:	ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定された時間になった場合。
吸気センサー温度:	吸気温度が上欄に設定された値になった場合。

■ E メール設定ページ (つづき)



9 送信する宛先のE メールアドレス2を入力してください。

10 E メールを送信する条件を選択します。

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| メール内容: | [通常] か [簡易] を選択してください。 |
| エラー発生時: | 自己診断でエラーが発生した場合 |
| ランプ使用時間: | ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定された時間になった場合 |
| 吸気センサー温度: | 吸気温度が上欄に設定された値になった場合 |

■ 認証サーバー設定ページ

メール送信にPOP認証またはSMTP認証が必要な場合は、このページで設定します。
[詳細設定] → [認証サーバー設定] をクリックします。



- 1 インターネットプロバイダー側が指定する認証方法を選択してください。
- 2 SMTP 認証を選択した場合には、これを設定してください。
- 3 POPサーバー名の入力欄
使用可能文字:
英数字 (A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9)
マイナス記号(-)
ピリオド(.)。
- 4 POPまたはSMTP サーバーのユーザー 名入力欄
- 5 POPまたはSMTPサーバーのパスワード入力欄
- 6 SMTPサーバーのポート番号を入力してください (通常は25です)。
- 7 POPサーバーのポート番号を入力してください (通常は110です)。
- 8 設定の更新ボタン

「ネットワーク」について (つづき)

■ 送信するメール内容

- Eメール設定を確立した時、下記の内容のメールが送信されます。

```
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type       : PT-VX510
Serial No           : 000000000
----- E-mail setup data -----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME        at [ 60] minutes interval
INTAKE AIR TEMPERATURE Over [ 32degC / 89degF ]

ERROR                [ OFF ]
LAMP RUNTIME         [ OFF ]   at REMAIN [ 400] H
LAMP RUNTIME         [ OFF ]   at REMAIN [ 200] H
INTAKE AIR TEMPERATURE [ OFF ]

----- check system -----
FAN                  [ OK ]
INTAKE AIR TEMPERATURE [ OK ]
EXHAUST AIR TEMPERATURE [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
LAMP REMAIN TIME     [ OK ]
LAMP STATUS          [ OK ]
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER) [ OK ]

(Error code 00 00 00 00 00 00 00 00)

Intake air temperature  :[ 31 degC / 87 degF ]
Exhaust air temperature  :[ 37 degC / 98 degF ]
Optics module temperature :[ 39 degC / 102 degF ]

PROJECTOR RUNTIME      1 H

LAMP ECO               500 H
LAMP NORMAL            300 H
LAMP REMAIN            2400 H

----- Current status -----
MAIN VERSION          1.00
NETWORK VERSION       1.00
LAMP STATUS           LAMP=ON
INPUT                 RGB
SIGNAL NAME           XGA6
SIGNAL FREQUENCY     0.00kHz / 0.00Hz

----- Wired Network configuration -----
DHCP Client           OFF
IP address            192.168.10.100
MAC address           04:20:9A:00:00:00

----- Memo -----
```

- エラーが発生した時、下記の内容のメールが送信されます。

```

=== Panasonic projector report(ERROR) ===
Projector Type      : PT-VX510
Serial No          : 000000000
----- check system -----
FAN                [ OK ]
INTAKE AIR TEMPERATURE [ OK ]
EXHAUST AIR TEMPERATURE [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
LAMP REMAIN TIME    [ OK ]
LAMP STATUS         [ FAILED ]
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER) [ OK ]

(Error code 00 40 00 00 00 00 08)

Intake air temperature  : [ 31 degC / 87 degF ]
Exhaust air temperature : [ 37 degC / 98 degF ]
Optics module temperature : [ 39 degC / 102 degF ]

PROJECTOR RUNTIME      1 H

LAMP ECO              500 H
LAMP NORMAL           300 H
LAMP REMAIN           2400 H

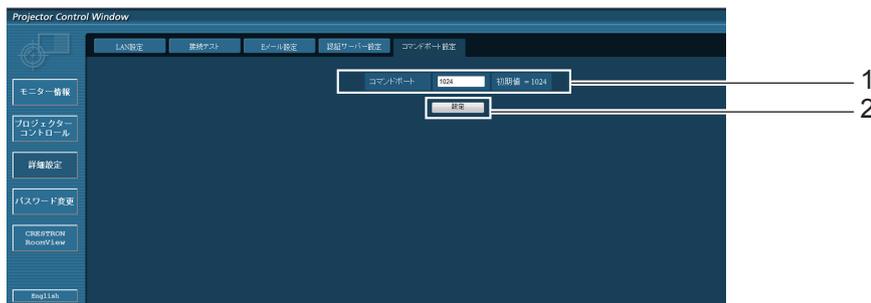
----- Current status -----
MAIN VERSION          1.00
NETWORK VERSION       1.00
LAMP STATUS           LAMP=OFF
INPUT                 NETWORK

----- Wired Network configuration -----
DHCP Client           OFF
IP address            192.168.10.100
MAC address           04:20:9A:00:00:00

----- Memo -----
    
```

■ コマンドポート設定ページ

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定してください。
 [詳細設定] → [コマンドポート設定] をクリックします。



- 1 コマンドコントロールで使用されるポート番号を入力してください
- 2 設定更新ボタン

「ネットワーク」について (つづき)

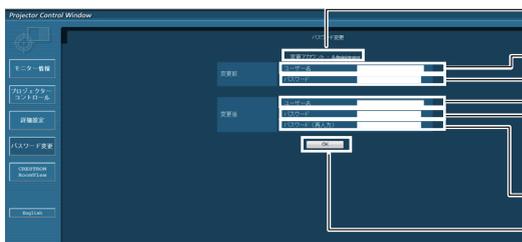
■ パスワード変更ページ

[パスワード変更] をクリックします。



- 1 Administrator (アドミニストレータ) を選択
- 2 User (ユーザー) を選択
- 3 パスワードの設定を変更する画面を表示

■ Administrator (アドミニストレータ) について



- 1 変更を行うアカウントの表示
- 2 変更前のユーザー名入力欄
- 3 変更前のパスワード入力欄
- 4 変更後のユーザー名入力欄
- 5 変更後のパスワード入力欄
- 6 変更後のパスワード (確認) 入力欄
- 7 パスワード変更実行ボタン

■ User (ユーザー) について



- 1 変更を行うアカウントの表示
- 2 変更後のユーザー名入力欄
- 3 変更後のパスワード入力欄
- 4 変更後のパスワード (確認) 入力欄
- 5 パスワード変更実行ボタン

■ パスワード変更 (ユーザー権限)

ユーザー権限時はパスワードの変更のみ有効です。



- 1 旧パスワード入力欄
- 2 新パスワード入力欄
- 3 新パスワード (確認) 入力欄
- 4 パスワード変更実行ボタン

お知らせ

- 管理者アカウントを変更する際には、『変更前のユーザー名』、『変更前のパスワード』が必要です。
- アカウント入力なしでは利用できません。
- 管理者アカウントとユーザーアカウントに同一の値は設定できません。

■ CRESTRON RoomView ページ

RoomViewでプロジェクターの監視/制御を行うことができます。

Webコントロール画面からRoomViewの操作ページを起動するには、アドミニストレーター権限でアクセスする必要があります。(ユーザー権限では、Webコントロール画面に[CRESTRON RoomView]ボタンが表示されません。)

[CRESTRON RoomView]ボタンをクリックすると、RoomViewの操作ページが表示されます。

ご使用のコンピューターにAdobe Flash Playerがインストールされていない場合、もしくはFlashに対応していないブラウザでは表示されません。その場合、操作ページの[Back]をクリックして前のページに戻ってください。

● 操作ページ



- 1 **[Tools] [Info] [Help]**
プロジェクターの設定/情報/ヘルプページに切り換えるタブです。
- 2 **[POWER]**
電源の切/入を切り換えます。
- 3 **[VOL DOWN] [AV MUTE] [VOL UP]**
音量/AVミュートの操作をします。
プロジェクターの電源が切れている場合、これらの操作はできません。
- 4 **[Input Select]**
入力切り換えの操作をします。
プロジェクターの電源が切れている場合、この操作はできません。
- 5 **メニュー画面の操作ボタン**
メニュー画面の操作をします。
- 6 **フリーズ/画質調整**
フリーズ/画質に関する項目の操作をします。
- 7 **[Back]**
前のページへ戻る操作をします。

● [Tools] ページ

操作ページで [Tools] をクリックします。



- 1 **[Control System]**
プロジェクターに接続するコントローラーとの通信に必要な情報を設定します。
- 2 **[User Password]**
RoomViewの操作ページ内でのユーザー権限パスワードを設定します。
- 3 **[Admin Password]**
RoomViewの操作ページ内でのアドミニストレーター権限パスワードを設定します。
- 4 **[Network Status]**
有線LANの設定内容を表示します。
[DHCP]
[Ip Address]
[Subnet Mask]
[Default Gateway]
[DNS Server]
いずれも現在設定している値を表示します。
- 5 **[Exit]**
操作ページに戻ります。

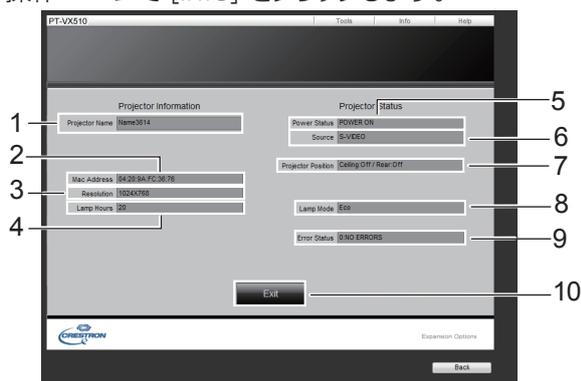
お知らせ

- RoomViewでプロジェクターの監視/制御を行う場合は、[ネットワーク]メニューの[RoomView]を[オン]に設定してください。(P.60 ページ)

「ネットワーク」について (つづき)

● [Info] ページ

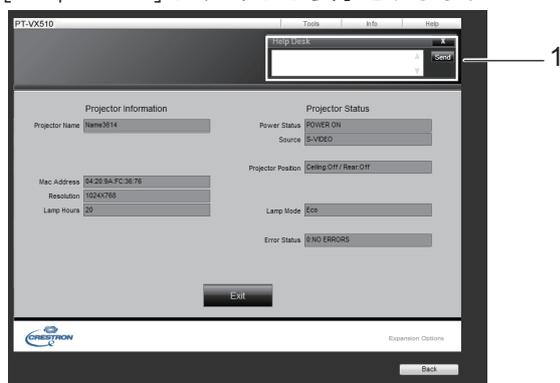
操作ページで [Info] をクリックします。



- 1 **[Projector Name]**
プロジェクター名を表示します。
- 2 **[Mac Address]**
MACアドレスを表示します。
- 3 **[Resolution]**
解像度を表示します。
- 4 **[Lamp Hours]**
ランプの使用時間 (換算値) を表示します。
- 5 **[Power Status]**
電源の状態を表示します。
- 6 **[Source]**
選択している映像入力を表示します。
- 7 **[Projector Position]**
投写モード (天つり/リア投映) を表示します。
- 8 **[Lamp mode]**
ランプモードを表示します。
- 9 **[Error Status]**
エラーの状態を表示します。
- 10 **[Exit]**
操作ページに戻ります。

● [Help] ページ

操作ページで [Help] をクリックします。
[Help Desk] ウィンドウが表示されます。



- 1 **[Help Desk]**
Crestron RoomViewを利用する管理者に対して
メッセージの送受信ができます。

インジケータの表示について

インジケータが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、〈ON(G)/STANDBY(R)〉、〈LAMP〉、〈WARNING〉インジケータが点灯や点滅でお知らせします。インジケータの状態を確認して、次の処置を行ってください。

注意

- 処置を行うときの電源操作は「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(☞ 28 ページ)
- 複数のインジケータが点灯や点滅した場合は、それぞれのインジケータの状態を確認して処置を行ってください。

お知らせ

- 電源の状態は、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータで確認してください。

■ 〈LAMP〉インジケータ

インジケータ	黄色点灯
状態	ランプユニットの交換時期であることを示します。
お調べください	スクリーンにランプ交換アイコンが表示されていますか？
処置方法	ランプユニットの交換を行ってください。 (☞ 79 ページ)

お知らせ

- 上記の処置をしても、〈LAMP〉インジケータが点灯し続ける場合は、販売店にご相談ください。

■ 〈WARNING〉インジケータ

インジケータ	赤色点灯	赤色点滅
状態	本機が異常を検出し、電源を入れることができません。	本機の内部温度が高くなると、〈WARNING〉インジケータが低速で点滅を始めます。 本機の内部温度がさらに高くなると、〈WARNING〉インジケータが高速の点滅に変わります。このとき、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケータも橙色点滅を始め、内部の冷却後に自動的に電源が切れます。
お調べください	電源コードを抜いて、改めて差し込み、本機の電源を入れます。	- 本機の周辺に十分な換気スペースを確保していますか。 本機の排気口をふさぐような取り付け方になっていないことを確認してください。 - 本機を空調や冷暖房のダクトや排気口の近くに設置していませんか？ - フィルターはきれいですか？
処置方法	本機の電源が切れてしまう場合は、電源コードを抜いて、販売店にご相談ください。	- 本機を適切に設置してください。 - 本機をダクトや排気口から遠ざけて設置してください。 - エアフィルターユニットを交換してください。

お知らせ

- 上記の処置をしても、〈WARNING〉インジケータが点灯または点滅し続ける場合は、販売店にご相談ください。本機の電源を入れたままの状態ではお止めください。感電または火災の原因になることがあります。
- 本機が異常を検出し、電源を入れることができない場合は、電源コードを抜いて、改めて差し込み、本機の電源を入れます。本機の電源が切れてしまう場合は、電源コードを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。本機の電源を入れたままの状態ではお止めください。感電または火災の原因になることがあります。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- 本機のお手入れや部品交換を行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
( 24、28 ページ)
- 電源を切るときは「電源を切る」( 28 ページ) の手順を必ずお守りください。

お手入れ

■ 外装ケース

汚れやほこりは、やわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。
これらの溶液を使用すると、外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お願い

- レンズはガラス部品です。堅いものに当てたり強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

部品交換

■ エアフィルターユニット

エアフィルターユニットは、本機内部の光学部品にほこりが付着するのを防ぎます。また、細かいほこりなどでフィルターが詰まると、冷却ファンの効果が低下し、内部に熱がこもる原因になり、本機の寿命が短くなります。目づまりが発生すると、本機内部温度が高温になり内部部品保護のため電源が切れる場合があります。フィルター警告アイコン[]が表示されたら、速やかにエアフィルターユニットを交換してください。交換用のエアフィルターユニット (ET-RFV200) は別売品 (サービス部品扱い) です。ご購入の際は販売店にご相談ください。

エアフィルターユニットは、側面と後面にあります。

■ エアフィルターユニットの交換 (側面)

1) エアフィルターカバーを外す

- エアフィルターカバーの左側に指をかけて、図の矢印方向に開けます。

2) エアフィルターユニットを取り出す

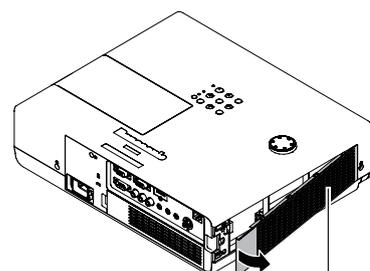
- エアフィルターユニットの左側のつまみを持ち、矢印の方向に引くと、その上部が外に出ます。外に出た部分を持ち、取り出します。
- エアフィルターユニットを取り出したあとに、エアフィルターユニット収納部および本体側吸気口に大きなゴミ、ほこりがある場合は、取り除いてください。

3) 新しいエアフィルターユニットを取り付ける

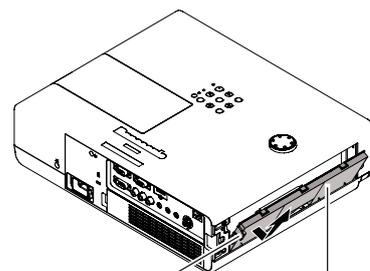
- つまみが外側になるように持ち、手順 2) の逆の手順で取り付けます。
- 最後に奥に押し込む際は、フィルター部を押さないでください。

4) エアフィルターカバーを取り付ける

- エアフィルターカバーが隙間なく閉まっていることを確認します。



エアフィルターカバー (側面)



つまみ
エアフィルターユニット (側面)

■ エアフィルターユニットの交換 (後面)

1) エアフィルターカバーを外す

- エアフィルターカバーの左側に指をかけて、図の矢印方向に開けます。

2) エアフィルターユニットを取り出す

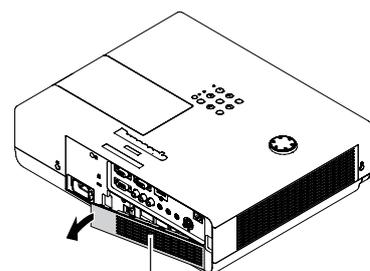
- エアフィルターユニットの左側のつまみを持ち、図の矢印の方向に取り出します。
- エアフィルターユニットを取り出したあとに、エアフィルターユニット収納部および本体側吸気口に大きなゴミ、ほこりがある場合は、取り除いてください。

3) 新しいエアフィルターユニットを取り付ける

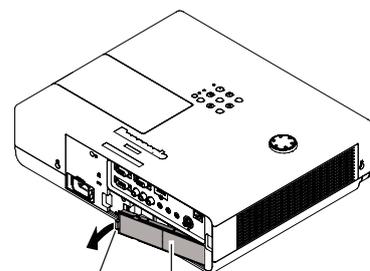
- つまみが外側になるように持ち、手順 2) の逆の手順で取り付けます。
- 最後に奥に押し込む際は、フィルター部を押さないでください。

4) エアフィルターカバーを取り付ける

- エアフィルターカバーが隙間なく閉まっていることを確認します。



エアフィルターカバー (後面)



つまみ
エアフィルターユニット (後面)

■ フィルターカウンターのリセット

エアフィルターユニットを交換したら、必ず、フィルターカウンターをリセットしてください。

(👁️「フィルターカウンターリセット」56 ページ参照)

お願い

- エアフィルターユニットの交換を行う前に、必ず本機の電源をお切りください。
- 取り付けに際しては、必ず本機の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で実施してください。
- 本機の電源を入れるときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けて使用してください。取り付けずに使用すると、ゴミやほこりを吸い込み、故障の原因となります。
- 吸気口の穴から物などを差し込まないでください。故障の原因となります。
- エアフィルターユニットは必ず未使用品と交換してください。
- エアフィルターユニットの交換後、フィルターカウンターをリセットしないと安全のため電源が切れるおそれがあります。

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。インフォメーションメニュー (👁️ 58 ページ) のランプ使用時間から累計使用時間を確認できます。

ランプユニットの交換は、専門の技術者に依頼することをお勧めします。または、販売店にご相談ください。交換用のランプユニット (品番: ET-LAV200) をご購入の際は、販売店にご相談ください。



警告

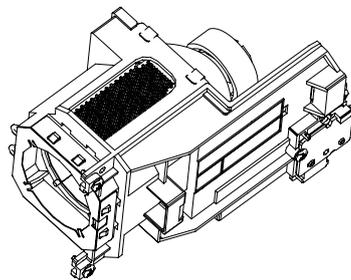
■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから (1 時間以上待つ) 行う



カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

■ ランプユニット交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物にぶつかけたり、落としたりすると破裂する場合があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手の部分を持ってください。
- ランプが点灯しなくなった場合は、ランプが破損しているおそれがあります。天つりしているプロジェクターのランプユニットを交換するときは、ランプカバーの真下には立たずに安全な位置で交換してください。ランプカバーはゆっくり外してください。ランプカバーを外すと、ランプのガラス片が落下する可能性があります。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。



お願い

- 指定のランプユニット以外は使用しないでください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。ランプユニットの寿命が無くなると、ランプ交換アイコンが表示され、〈LAMP〉インジケーターが黄色に点灯します。そのような場合は、速やかにランプを交換してください。

ランプ使用時間	オンスクリーン表示 ランプ交換アイコン 	〈LAMP〉 インジケーター 
2 500 時間以降 *	メッセージが 4 秒間表示されます。4 秒以内に任意のボタンを押すと、メッセージが消えます。	黄色に点灯する (スタンバイモード時も同様)。
2 700 時間以降 *	左記の時間を過ぎてもランプ交換しないまま使用すると、本機保護のため約 10 分後に電源が自動的に切れます。	

* ランプ使用時間は、ランプパワーの設定に応じて変化します。2 700 時間は交換の目安であり、保証期間ではありません。

お知らせ

- [オンスクリーン表示] が [オフ] に設定されている時 (👁️ 51 ページ)、静止中 (👁️ 31 ページ)、AV ミュート中 (👁️ 32 ページ) はランプ交換アイコンは表示されません。

■ ランプユニットの交換

注意:

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットやランプカバーは確実に取り付けてください。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、ランプをいったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクタ部分が破損する場合があります。

1) 「電源を切る」(28 ページ) の手順に従い、本機の電源を切った後、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する

2) ランプカバーの固定ねじをプラスドライバーで緩めて、ランプカバーを取り外す

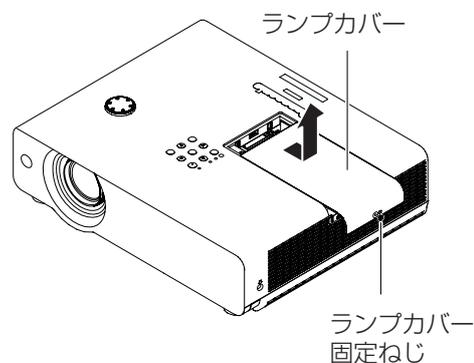
- ランプカバーを取り外す際は、右図に示すように矢印の方向にゆっくりと引いてください。

3) ランプユニットの固定ねじ (3 本) をプラスドライバーで緩めて、ランプユニットの取っ手部分を持ち、ゆっくりと本体から引き出す

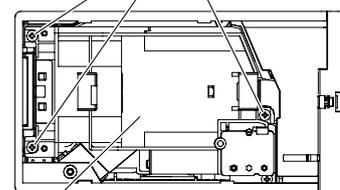
4) 新しいランプユニットを確実に挿入し、ランプユニット固定ねじ (3 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける

5) ランプカバーを取り付け、ランプカバーの固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける

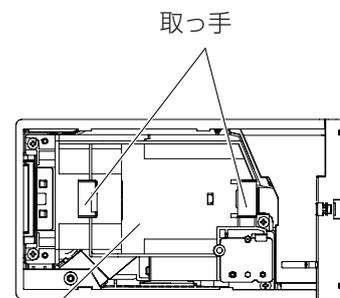
- ランプカバーは、ゆっくりと取り付けてください。



ランプユニット固定ねじ



ランプユニット



ランプユニット

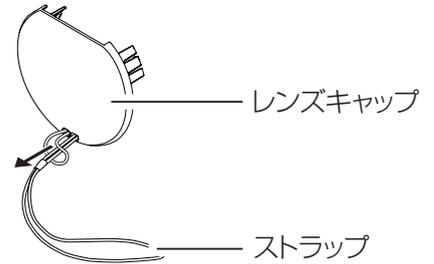
お知らせ

- 新しいランプユニット (品番:ET-LAV200) に交換した場合、本体側でランプユニットの使用時間が自動的にリセットされます。

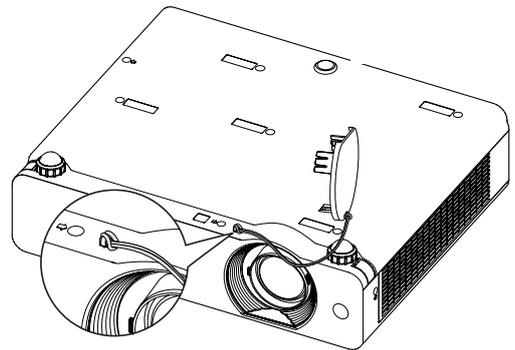
レンズキャップの取り付け

本機を移動したり、しばらくの間使用しないときは、レンズキャップを取り付けます。
レンズキャップ紛失防止のため、以下の手順に従い、付属のストラップでレンズキャップを本機に取り付けてください。

- 1) ストラップの先端 (輪の小さい方) をレンズキャップの穴に通して取り付ける



- 2) ストラップのもう片方 (輪の大きい方) を本機の底部にある穴に通して取り付ける



故障かな!?

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。	—
	● ブレーカーが落ちていませんか。	—
	● 〈LAMP〉、〈ON(G)/STANDBY(R)〉、〈WARNING〉 インジケーターが点灯または点滅していませんか。	25, 73
	● ランプカバーが確実に取り付けられていますか。	77
映像がでない	● 映像（出力）機器との接続は正しく行われていますか。	23
	● 入力切り換えは正しく選択されていますか。	30
	● [明るさ] の調整が最小になっていませんか。	43
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	—
	● [AV ミュート] 機能を使用していませんか。	32
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	29
	● 本機とスクリーンとの間の投写距離は適切ですか。	20
	● レンズが汚れていませんか。	12
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	—
色が薄い / 色あいが悪い	● [色の濃さ]、[色合い] は正しく調整されていますか。	43
	● 本機に接続している外部機器は正しく調整されていますか。	—
	● コンピューターケーブルが切れていませんか。	—
内蔵スピーカーから音がでない	● 入力端子の接続は適切ですか。	23
	● 音量が最小レベルになっていませんか。	32, 49
	● [AV ミュート] 機能を使用していませんか。	32
	● 〈VARIABLE AUDIO OUT〉 端子に外部スピーカーを接続していると、内蔵スピーカーから音はでません。	17
	● [消音] 機能を使用していませんか。	33, 49
リモコンがはたらかない	● 電池が消耗していませんか。	—
	● 電池の極性は正しくセットされていますか。	18
	● リモコンと本体のリモコン受信部との間に障害物はありませんか。	15
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	15
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	15
	● 本機とリモコンのコードが異なっていませんか。	54
本体操作部のボタンがはたらかない	● [設定] の [セキュリティ] にある [キーロック] でロックをかけていると、本体操作部の操作はできません。	54
正常な映像が映らない	● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	88 ~ 91
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。	—
	● ノート型コンピューターの外部映像出力が正しく設定されていますか。	—

故障かな!?(つづき)

症状	ここをお調べください	ページ
HDMI 対応機器からの映像が映らない、乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● HDMI ケーブルが確実に接続されていますか。 ● 本機の電源および接続機器の電源を「切」/「入」してください。 ● 対応外の信号がつながっていませんか。 	23 — 88, 91
HDMI 対応機器の音声がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続機器の音声をリニア PCM に設定してください。 ● HDMI ケーブル接続で音声がでない場合は、[HDMI 設定]の[サウンド]を[コンピューター 2]に設定して、アナログ音声信号を〈COMPUTER AUDIO IN 2〉端子に接続してください。 	— 52
映像がゆがむ、またははみ出る	<ul style="list-style-type: none"> ● [PC 調整] または [スクリーン]を確認して、適宜調整してください。 	40, 46
ボタンを押すと  が表示された	<ul style="list-style-type: none"> ● その操作は無効です。接続、入力信号、設置状況を確認してください。 	—
画面左上に  サービス が表示された	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の内部に異常が検出されました。電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理をご依頼ください。本機の電源を入れたまま放置しないでください。感電または火災の原因になることがあります。 	—

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。

PJLink プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能はPJLink クラス1に対応しています。そのためPJLinkプロトコルを使用して、コンピューターからプロジェクターの設定やプロジェクターの状態に関する問い合わせの操作ができます。

■ 対応コマンド

PJLinkプロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR ?	電源状態問い合わせ	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = 電源「入」 2 = クーリング中 3 = ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター
INPT ?	入力切り換え問い合わせ	11 = RGB 1 12 = RGB 2 13 = SCART 21 = VIDEO 22 = S-VIDEO 23 = COMPONENT 31 = HDMI
AVMT	AVミュート制御	パラメーター
AVMT ?	AVミュート状態問い合わせ	30 = AVミュートモード オフ 31 = AVミュートモード オン
ERST ?	エラー状態問い合わせ	パラメーター 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 4 バイト目: 0 固定 5 バイト目: フィルターエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 0 ~ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP ?	ランプ状態問い合わせ	パラメーター 1つ目の数字 (1 ~ 5桁) : ランプ使用時間 2つ目の数字: 0 = ランプ 消灯, 1 = ランプ 点灯
INST ?	入力切り換え一覧問い合わせ	パラメーターは下記の値を応答します。 『11, 12, 13, 21, 22, 23, 31』
NAME ?	プロジェクター名問い合わせ	[ネットワーク] の [プロジェクター名] で設定した名称を応答します。
INF1 ?	メーカー名問い合わせ	『Panasonic』と応答します。
INF2 ?	機種名問い合わせ	『VW440』または『VX510』として機種名を応答します。
INFO ?	その他情報問い合わせ	バージョン番号などを応答します。
CLSS ?	クラス情報問い合わせ	『1』と応答します

■ PJLink セキュリティー認証

PJLinkを使用するパスワードは、WEB制御で設定したパスワードと同じです。(👁️ 72ページ)

認証なしで使用する場合は、WEB制御のパスワードをなしに設定してください。PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。

PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

LAN 経由の制御コマンドについて

■ WEB 制御アドミニストレータ権限パスワード設定時 (プロテクトモード)

● 接続方法

- 1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してプロジェクターへ接続を要求してください。

IPアドレスはプロジェクター本体メニュー画面、ポート番号はWEB制御ページから取得できます。

IPアドレス: メインメニュー → [ネットワーク] → [ネットワークステータス] から取得

ポート番号: WEB制御の [詳細設定] → [コマンドポート設定] から取得

- 2) プロジェクターからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
『NTCONTROL』 (ASCII文字列)	「 」 0x20	「1」 0x31	「 」 0x20	『zzzzzzzz』 (ASCIIコード16進数)	(CR) 0x0d
9バイト	1バイト	1バイト	1バイト	8バイト	1バイト

モード:1 =プロテクトモード

- 3) MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

『xxxxxx:yyyyy:zzzzzzzz』

xxxxxx: WEB制御のアドミニストレータ権限ユーザー名 (デフォルトのユーザー名は『admin1』)

yyyyy: 上記アドミニストレータ権限ユーザーのパスワード (デフォルトのパスワードは『panasonic』)

zzzzzzzz: 手順2) で取得した8バイトの乱数

● コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー			データ部	終端記号
ハッシュ値 (上記「接続方法」参照)	‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	制御コマンド (ASCII文字列)	(CR) 0x0d
32バイト	1バイト	1バイト	不定長	1バイト

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	制御コマンド (ASCII文字列)	(CR) 0x0d
1バイト	1バイト	不定長	1バイト

エラー応答

エラーメッセージ		終端記号
“ERR1”	未定義の制御コマンド	(CR) 0x0d
“ERR2”	パラメーター範囲外	
“ERR3”	ビジー状態または受け付け不可期間	
“ERR4”	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
“ERR5”	誤ったデータの長さ	
“ERRA”	パスワード不一致	
4バイト		1バイト

■ WEB 制御アドミニストレータ権限パスワード非設定時 (非プロテクトモード)

● 接続方法

- 1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してプロジェクターへ接続を要求してください。

IPアドレスはプロジェクター本体メニュー画面、ポート番号はWEB制御ページから取得できます。

IPアドレス: メインメニュー → [ネットワーク] → [ネットワークステータス] から取得

ポート番号: WEB制御の [詳細設定] → [コマンドポート設定] のページ

- 2) プロジェクターからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	終端記号
『NTCONTROL』 (ASCII文字列)	『 』 0x20	『0』 0x30	(CR) 0x0d
9バイト	1バイト	1バイト	1バイト

モード:0 = 非プロテクトモード

● コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30 1バイト	'0' 0x30 1バイト	制御コマンド (ASCII文字列) 不定長	(CR) 0x0d 1バイト

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0' 0x30 1バイト	'0' 0x30 1バイト	制御コマンド (ASCII文字列) 不定長	(CR) 0x0d 1バイト

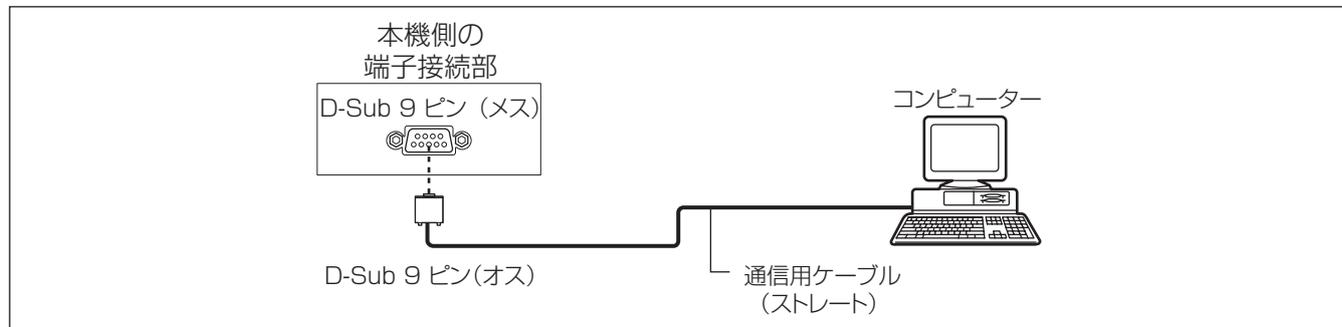
エラー応答

エラーメッセージ		終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド	(CR) 0x0d
"ERR2"	パラメーター範囲外	
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5"	誤ったデータの長さ	
"ERRA"	パスワード不一致	
4バイト		1バイト

シリアル端子について

本機背面の端子接続部の〈SERIAL IN〉端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して、本機をコンピューターで制御できます。

■ 接続



■ ピン配列と信号名

D-Sub 9 ピン (メス) 外観図	ピン番号	信号名	内容
		①	—
②		TXD	送信データ
③		RXD	受信データ
④		—	NC
⑤		GND	グラウンド
⑥		—	NC
⑦		CTS	内部で接続されています
⑧		RTS	
⑨		—	NC

■ 通信条件

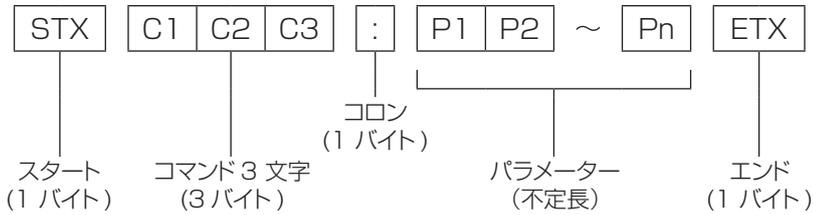
信号レベル	RS-232C 準拠	キャラクター長	8 ビット
同期方式	調歩同期	ストップビット	1 ビット
ボーレート	19 200 bps	X パラメーター	なし
パリティ	なし	S パラメーター	なし

お知らせ

- AMX D.D. の機能が [ネットワーク] メニューで [オン] に設定されている場合、ボーレートは自動的に 9 600 bps に変更されます。

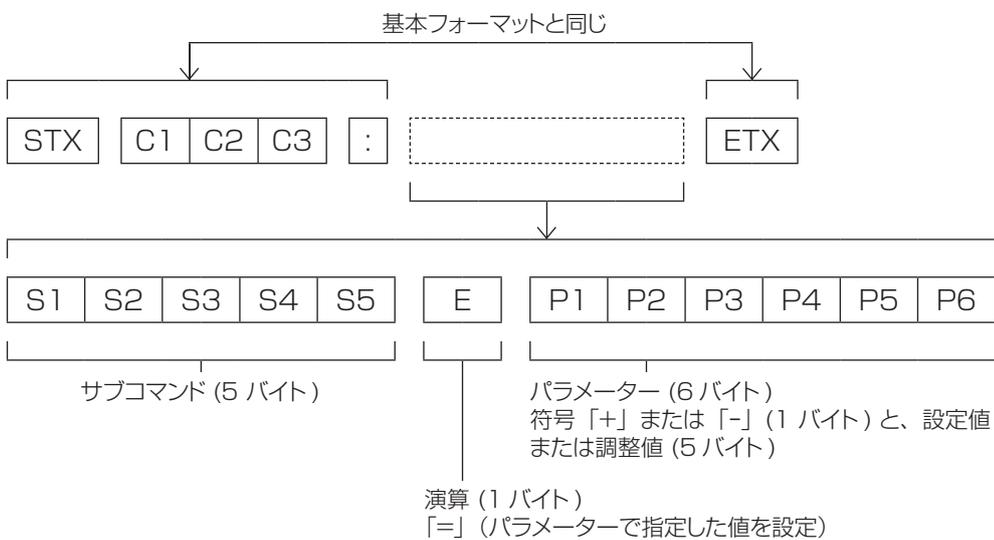
■ 基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で始まり、続いて コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信されます。パラメーターは制御内容に応じて追加してください。



*: パラメーターなしでコマンドを送信する場合は、コロン (:) は不要です。

■ 基本フォーマット (サブコマンドあり)



*: パラメーター不要のコマンドを送信する場合は、演算 (E) とパラメーターは不要です。

■ ケーブル仕様

〈コンピュータと接続する場合〉

本機	1	NC	NC	1	コンピュータ側 (DTE 仕様)
	2			2	
	3			3	
	4	NC	NC	4	
	5			5	
	6	NC	NC	6	
	7			7	
	8			8	
	9	NC	NC	9	

■ 制御コマンド

コンピュータで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

[操作コマンド]

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	
POF	電源「切」	
IIS	入力信号切り換え	(パラメーター) VID = ビデオ SVD = S-video RG1 = コンピューター 1 (RGB) RG2 = コンピューター 2 (RGB) HD1 = HDMI SCT = コンピューター 1 (Scart)
OFZ	静止機能	コマンドを送信するごとに [ON]/[OFF] が切り換わります。
AUU	音量アップ	
AUD	音量ダウン	
DZU	デジタルズームアップ	
DZD	デジタルズームダウン	
OSH	AV ミュート機能	映像と音声を一時的に消します。 コマンドを送信するごとに [ON]/[OFF] が切り換わります。 短時間での ON/OFF の切り換えは行わないでください。
QPW	電源状態問い合わせ	000 = スタンバイ 001 = 電源「入」
Q\$S	ランプ点灯状態問い合わせ	(コールバック) 0 = スタンバイ 1 = ランプ点灯制御中 2 = ランプ点灯 3 = ランプ消灯制御中

その他の端子について

■ 〈S-VIDEO IN〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	GND (輝度信号)
	②	GND (色信号)
	③	輝度信号
	④	色信号

■ 〈COMPUTER 1 IN/COMPONENT IN〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	R/P _R
	②	G/G・SYNC/Y
	③	B/P _B
	⑨	+5 V
	⑫	DDC データ
	⑬	HD/SYNC
	⑭	VD
	⑮	DDC クロック

④：なし
⑤ - ⑧、⑩、⑪：GND 端子

■ 〈COMPUTER 2 IN/MONITOR OUT〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名
	①	R
	②	G
	③	B
	⑬	HD/SYNC
	⑭	VD

④、⑨、⑪、⑫、⑮：なし
⑤ - ⑧、⑩、⑬：GND 端子

■ 〈HDMI IN〉 端子のピン配列と信号名

外観図	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
	①	T.M.D.S データ 2 +	⑪	T.M.D.S クロック シールド
	②	T.M.D.S データ 2 シールド	⑫	T.M.D.S クロック -
	③	T.M.D.S データ 2 -	⑬	CEC
	④	T.M.D.S データ 1 +	⑭	—
	⑤	T.M.D.S データ 1 シールド	⑮	SCL
	⑥	T.M.D.S データ 1 -	⑯	SDA
	⑦	T.M.D.S データ 0 +	⑰	DDC/CEC GND
	⑧	T.M.D.S データ 0 シールド	⑱	+5V
	⑨	T.M.D.S データ 0 -		ホットプラグ検出
	⑩	T.M.D.S クロック+		

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

フォーマット： V = VIDEO, S = S-VIDEO, C = COMPUTER, Y = YP_BP_R, H = HDMI

モード	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	画質 *2		プラグアンド プレイ対応 *3	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-VW440	PT-VX510		
NTSC/NTSC 4.43/ PAL-M/PAL 60	720 x 480	15.7	59.9	--	A	A		V/S
PAL/PAL-N/ SECAM	720 x 576	15.6	50.0	--	A	A		V/S
480p	640 x 480	31.47	59.88	25.2	A	A		C/Y
480i	640 x 480i	15.734	60.00	12.2727	A	A		
576p	768 x 576	31.25	50.00	29.5	A	A		
576i	768 x 576i	15.625	50.00	14.75	A	A		
720p	1 280 x 720	37.50	50.00	74.25	AA	A		
		45.00	60.00	74.25	AA	A		
1035i	1 920 x 1 035i	33.75	60.00	74.25	A	A		
1080i	1 920 x 1 080i	28.125	50.00	74.25	A	A		
		33.75	60.00	74.25	A	A		
VGA	640 x 480	31.47	59.88	25.149	A	A	○	
		37.86	74.38	31.50	A	A		
		37.86	72.81	31.50	A	A	○	
		37.50	75.00	31.50	A	A	○	
		43.269	85.00	36.00	A	A		
	640 x 400	31.47	70.09	25.175	A	A		
	720 x 400	31.47	70.09	28.322	A	A		
SVGA	800 x 600	35.156	56.25	36.00	A	A	○	
		37.88	60.32	40.00	A	A	○	
		46.875	75.00	49.50	A	A	○	
		53.674	85.06	56.25	A	A		
		48.08	72.19	50.00	A	A	○	
		37.90	61.03	40.02	A	A		
		34.50	55.38	36.432	A	A		
		38.00	60.51	40.128	A	A		
		38.60	60.31	38.60	A	A		
		32.70	51.09	32.70	A	A		
		38.00	60.51	40.128	A	A		
MAC	1 280 x 960	75.00	75.08	126.00	A	A		
	1 280 x 1 024	80.00	75.08	135.20	A	A		
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	30.24	A	A		
MAC LC13		34.97	66.60	31.33	A	A		
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	57.283	A	A		
MAC 19	1 024 x 768	60.24	75.08	80.01	A	A		
MAC 21	1 152 x 870	68.68	75.06	100.00	A	A		
SXGA+	1 400 x 1 050	63.970	60.190	107.990	A	A		
		65.350	60.120	122.850	A	A		
		65.120	59.900	122.430	A	A		

モード	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	画質 *2		プラグアンド プレイ対応 *3	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-VW440	PT-VX510		
XGA	1 024 x 768	48.36	60.00	65.00	A	AA	○	C
		68.677	84.977	94.504	A	AA		
		60.023	75.03	78.75	A	AA	○	
		56.476	70.07	75.00	A	AA	○	
		60.31	74.92	79.252	A	AA		
		48.50	60.02	65.179	A	AA		
		44.00	54.58	59.129	A	AA		
		63.48	79.35	83.41	A	AA		
		62.04	77.07	84.375	A	AA		
		61.00	75.70	81.00	A	AA		
		46.90	58.20	63.03	A	AA		
		47.00	58.30	61.664	A	AA		
		58.03	72.00	74.745	A	AA		
		1 024 x 768i	36.00	87.17	47.30	A	AA	
35.522	86.96		44.90	A	AA			
SXGA	1 152 x 864	64.20	70.40	94.560	A	A		
	1 152 x 900	61.20	65.20	92.00	A	A		
		71.40	75.60	105.10	A	A		
	1 280 x 960	61.85	66.00	94.50	A	A		
		60.00	60.00	108.00	A	A		
	1 280 x 1 024	62.50	58.60	108.00	A	A		
		63.90	60.00	107.35	A	A		
		63.34	59.98	108.18	A	A		
		63.74	60.01	109.497	A	A		
		71.69	67.19	117.004	A	A		
		81.13	76.107	135.008	A	A		
		63.98	60.02	108.00	A	A		
		79.976	75.025	135.00	A	A		
		63.37	60.01	111.520	A	A		
76.97		72.00	130.08	A	A			
1 280 x 1 024i	63.79	60.18	108.19	A	A			
	91.146	85.024	157.5	A	A			
	50.00	86.00	80.00	A	A			
UXGA	1 600 x 1 200	50.00	94.00	80.00	A	A		
		46.43	86.70	78.745	A	A		
		75.00	60.00	162.00	A	A		
		81.25	65.00	175.50	A	A		
		87.5	70.00	189.00	A	A		
		93.75	75.00	202.50	A	A		

付録 (つづき)

モード	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	画質 *2		プラグアンド プレイ対応 *3	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-VW440	PT-VX510		
WXGA	1 280 x 768	47.776	59.870	79.500	AA	A		C
		60.289	74.893	102.250	AA	A		
		68.633	84.837	117.500	AA	A		
		55.993	69.991	94.964	AA	A		
		57.675	72.004	97.817	AA	A		
	1 280 x 800	49.600	60.050	79.360	AA	A		
		41.200	50.000	68.557	AA	A		
		49.702	59.810	83.500	AA	A	○	
		63.980	60.020	108.000	AA	A		
		58.289	69.975	98.858	AA	A		
		60.044	71.995	102.795	AA	A		
		62.790	74.928	106.492	AA	A		
	71.553	84.879	122.498	AA	A			
	1 366 x 768	48.36	60.00	86.67	A	A		
1 360 x 768	47.70	60.00	86.67	A	A			
	56.16	72.00	100.19	A	A			
1 376 x 768	48.36	60.00	86.67	A	A			
WSXGA+	1 680 x 1 050	65.290	59.954	146.250	A	A		
WXGA+	1 440 x 900	55.935	59.887	106.500	A	A		
		74.918	60.000	161.850	A	A		
WUXGA	1 920 x 1 200	74.556	59.885	193.250	A	A		
		74.038	59.950	154.000	A	A		
D-VGA	640 x 480	31.47	59.94	25.175	A	A	○	
D-480p		31.47	59.88	25.2	A	A	○	
D-576p	768 x 576	31.25	50.00	29.5	A	A	○	
D-720p	1 280 x 720	37.50	50.00	74.25	AA	A	○	
		45.00	60.00	74.25	AA	A	○	
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32	40	A	A	○	
D-XGA	1 024 x 768	48.363	60.00	65	A	AA	○	
D-SXGA+	1 400 x 1 050	63.97	60.19	107.99	A	A		
		65.350	60.120	122.850	A	A		
		65.120	59.900	122.430	A	A		

モード	解像度 *1 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	画質 *2		プラグアンド プレイ対応 *3	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		PT-VW440	PT-VX510		
D-WXGA	1 360 x 768	47.700	60.00	86.670	A	A		H
		56.160	72.000	100.190	A	A		
	1 366 x 768	46.500	50.000	67.400	A	A		
		48.360	60.00	86.670	A	A		
	1 376 x 768	48.360	60.00	86.670	A	A		
	1 280 x 768	47.776	59.870	79.500	AA	A		
		60.289	74.893	102.250	AA	A		
		68.633	84.837	117.500	AA	A		
		55.993	69.991	94.964	AA	A		
		57.675	72.004	97.817	AA	A		
	1 280 x 800	49.572	59.870	83.282	AA	A		
		41.200	50.000	68.557	AA	A		
		49.702	59.810	83.500	AA	A	○	
		63.980	60.020	108.000	AA	A		
		58.289	69.975	98.858	AA	A		
		60.044	71.995	102.795	AA	A		
62.790		74.928	106.492	AA	A			
	71.553	84.879	122.498	AA	A			
D-SXGA	1 280 x 1 024	63.98	60.02	108	A	A		
		60.276	58.069	93.067	A	A		
		31.65	29.8	53.48	A	A		
D-1035i	1 920 x 1 035i	33.75	60.00	74.25	A	A		
D-1080i	1 920 x 1 080i	28.125	50.00	74.25	A	A	○	
		33.75	60.00	74.25	A	A	○	
D-1080p	1 920 x 1 080	67.5	60.00	148.5	A	A		
		56.25	50.00	148.5	A	A		
D-WXGA+	1 440 x 900	55.935	59.887	106.500	A	A		
D-WSXGA+	1 680 x 1 050	65.290	59.954	146.250	A	A		
D-WUXGA	1 920 x 1 200	74.038	59.950	154.000	A	A		

*1 : 解像度の末尾にある「i」は、インターレース信号を示します。

*2 : 画質を表す記号は下記の通りです。

AA: 最高画質で投写できます。

A: 映像処理回路で変換して投写します。

*3 : プラグアンドプレイ対応に○がある信号は、プロジェクターの EDID (拡張ディスプレイ識別データ) に記述している信号です。プラグアンドプレイ対応に○がない信号でもフォーマット欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応に○がない信号は、コンピューターが対応していても解像度の選択ができない場合があります。

<COMPUTER 2 IN> 端子は、プラグアンドプレイに対応していません。

お知らせ

- PT-VW440 の表示ドット数は 1 280 × 800、PT-VX510 の表示ドット数は 1 024 × 768 です。解像度が異なる信号は、表示ドット数に変換されて表示されます。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

仕様

品番		PT-VW440	PT-VX510
使用電源		AC100 V 50 Hz/60 Hz	
消費電力		365 W	
		[設定]の[スタンバイモード]を [エコ]に設定時: 0.25 W [ネットワーク]に設定時: 11 W 以下	
		[サウンド]の[スタンバイマイク]を[オン]に設定時: 最大 26 W	
液晶パネル	サイズ	0.59 型 (アスペクト比 16:10)	0.63 型 (アスペクト比 4:3)
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式	
	駆動方式	アクティブマトリクス方式	
	画素数	1 024 000 画素 (1 280 × 800 ドット) × 3 枚	786 432 画素 (1 024 × 768 ドット) × 3 枚
レンズ		マニュアルズーム (1.6 倍)・フォーカス F 1.6 ~ 2.12、f 15.28 mm ~ 24.62 mm	
光源ランプ		280 W UHM ランプ	
光出力 *1		4 800 lm	5 500 lm
コントラスト比 *2		3 500 : 1 (全白/全黒)	4 000 : 1 (全白/全黒)
対応走査周波数 *3	RGB 信号時	水平 15 kHz ~ 100 kHz、垂直 50 Hz ~ 100 Hz	
		ドットクロック周波数: 140 MHz 以下	
	YPbPr 信号の場合	[525i(480i)] 水平 15.75 kHz、垂直 60 Hz [525p(480p)] 水平 31.50 kHz、垂直 60 Hz [750(720)/60p] 水平 45.00 kHz、垂直 60 Hz [1125(1080)/60i] 水平 33.75 kHz、垂直 60 Hz [625i(576i)] 水平 15.63 kHz、垂直 50 Hz [625p(576p)] 水平 31.25 kHz、垂直 50 Hz [750(720)/50p] 水平 37.50 kHz、垂直 50 Hz [1125(1080)/50i] 水平 28.13 kHz、垂直 50 Hz ●HD/SYNC、VD 端子は、3 値 SYNC には対応していません。	
	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.75 kHz/15.63 kHz 垂直 50 Hz/60 Hz	
	HDMI 信号の場合	525p(480p)、625p(576p)、750(720)/60p、750(720)/50p、 1125(1080)/60p、1125(1080)/50p、1125(1080)/60i、 1125(1080)/50i ●表示可能解像度: VGA ~ WUXGA (ノンインターレース)、VESA CVT-RB 準拠 ●ドットクロック周波数: 162 MHz 以下	
カラー方式		7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)	
投写画面サイズ		30 ~ 300 型	
画面アスペクト比		16:10	4:3
投写方式		フロント/リア/天つり/床置き (メニュー設定方式)	
スピーカー		4.0 cm 円型 1 個	
音声実用最大出力		10 W	

*1: 光出力の測定条件は、「ランプパワー」が[ノーマル]、「画質モード」が[ダイナミック]、「レンズシフト」が最も下方に位置しているときです。工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

*2: コントラスト比の測定条件は、「ランプパワー」が[ノーマル]、「画質モード」が[ダイナミック]、「アイリス」が[オン]、「レンズシフト」が最も下方に位置しているときです。

*3: 本機で対応している映像信号については、「対応信号リスト」を参照してください。(P.90 ~ 93 ページ)

品番		PT-VW440	PT-VX510
接続端子	COMPUTER 1 IN/ COMPONENT IN 端子	1 系統 Mini D-sub 15 p (メス) [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 [YPbPr 信号] Y:1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr:0.7 V [p-p] 75 Ω	
	COMPUTER 2 IN/ MONITOR OUT 端子	1 系統 Mini D-sub 15 p (メス) [RGB 信号] 0.7 V [p-p] 75 Ω (G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω) HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応	
	VIDEO 入力端子	1 系統 ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω	
	S-VIDEO 入力端子	1 系統 Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応	
	HDMI 入力端子	1 系統 HDMI 19 ピン (HDCP、Deep Color 対応)	
	AUDIO 入力端子	2 系統 M3 ステレオミニジャック 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 kΩ以上 1 系統 ピンジャック × 2 (L-R) 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 kΩ以上	
	VARIABLE AUDIO 出力端子	1 系統 M3 ステレオミニジャック (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V [rms] ~ 2.0 V [rms] (可変)、出力インピーダンス 2.2 kΩ以下	
	SERIAL IN 端子	1 系統 D-sub 9 p (メス) RS-232C 準拠 外部制御用	
LAN 端子	1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用、PLink 対応		
電源コードの長さ		2.0 m	
外装ケース		樹脂成型品	
外形寸法		横幅: 379 mm 高さ: 100 mm (107 mm アジャスター脚最小時) 奥行: 305 mm (突起部含まず)	
質量		約 4.8 kg *4	
騒音値 *5		[ランプパワー] を [ノーマル] に設定時 38 dB [ランプパワー] を [エコ] に設定時 31 dB	
使用環境条件		使用環境温度 *6: 0 °C ~ 40 °C (海拔 1 200 m 未満、[ファン制御]: オフ時) 0 °C ~ 30 °C (海拔 1 200 m ~ 2 000 m、[ファン制御]: オン 1 時) 0 °C ~ 30 °C (海拔 2 000 m ~ 2 700 m、[ファン制御]: オン 2 時) 使用環境湿度: 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
リモコン	使用電源	DC 3 V (単 4 乾電池 2 個)	
	操作距離	約 7 m (受信部正面)	
	質量	67 g (乾電池含む)	
	外形寸法	横幅: 52 mm、高さ: 110 mm、奥行: 18 mm	

*4: 平均値。製品ごとの質量は異なることがあります。

*5: 工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクトの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

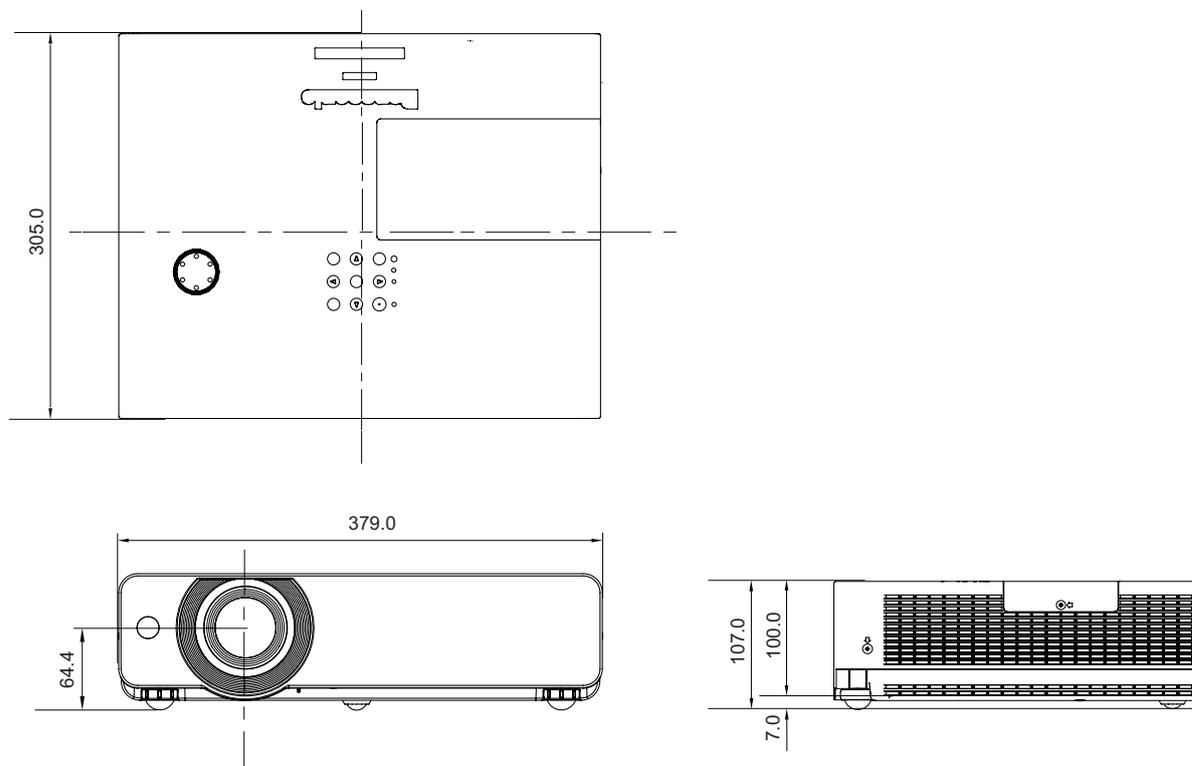
*6: ランプパワーがノーマルのとき、使用環境温度が 35 °C 以上になると、内部保護のためランプパワーがエコに切り換わることがあります。

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

仕様 (つづき)

外形寸法図

(単位 : mm)

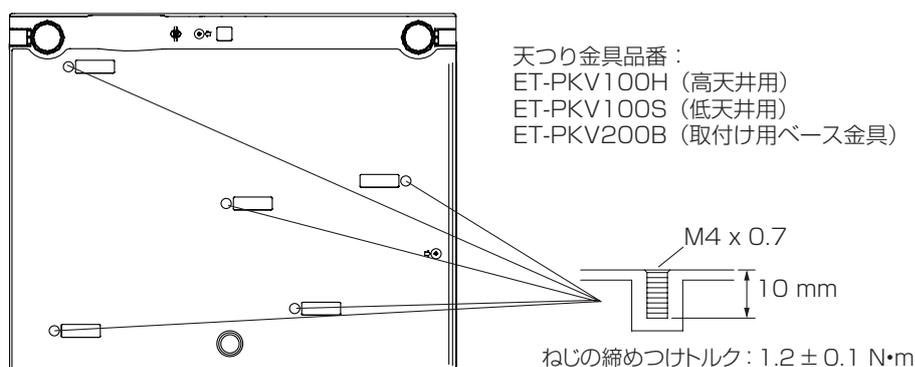


*: 各製品で寸法は異なる場合があります。

天つり金具取り付け時の注意事項

- 工事は専門技術者にご依頼ください。
- 当社以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーを使用してください。電動ドライバー、インパクトドライバーは使用しないでください。
- 詳しくは天つり金具の施工説明書をよくお読みください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更することがあります。

本体底面



故障・修理・お取扱い・メンテナンス などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、プロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。
* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* ただし、光源ランプは 6 ヶ月またはランプ使用時間 600 時間の早い方となります。

補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社では、プロジェクターの補修用性能部品の、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
品番	PT-VW440 PT-VX510
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック プロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872-601**

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～12:00 13:00～17:00

URL : <http://panasonic.biz/projector/>

※お問い合わせ内容によりましては、回答までにお時間をいただく場合もございます。
※お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

さくいん

アルファベット			
C			
CD-ROM	14		
H			
HDMI 設定	52		
L			
<LAMP> インジケータ	75		
O			
ON(G)/STANDBY(R) インジケータ	25		
W			
<WARNING> インジケータ	75		
かな			
あ			
アイリス	43		
明るさ	43		
アジャスター脚の調整	22		
暗証番号	27		
安全上のご注意	6		
い			
色合い	43		
色温度	44		
色の濃さ	43		
インジケータが点灯したら	75		
え			
映像遅延制御	55		
映像の映り具合を調整する	29		
エミュレート	56		
お			
オートセットアップ	50		
お手入れ	76		
オンスクリーンメニューについて	34		
オンスクリーン表示	51		
音量	49		
か			
各部の名称とはたらき	15		
画質	45		
画質調整	43		
画質モード	42		
カスタム	46		
カスタム調整	47		
カラーボード	42		
ガンマ補正	45		
く			
クローズドキャプション	54		
け			
警告履歴	57		
言語	50		
こ			
黒(緑)板	42		
故障かな!?	81		
ご使用になる前に	10		
コントラスト	43		
さ			
「サウンド」について	49		
サブメニュー	35		
し			
システム	37		
自動 PC 調整	39		
自動入力切換	50		
シネマ	42		
手動 PC 調整	40		
仕様	94		
消音	49		
初期設定	57		
シリアル端子	86		
す			
ズーム	46		
スクリーンアスペクト	48		
「スクリーン」について	46		
スタンバイモード	53		
せ			
静止機能	31		
セキュリティ	11		
セキュリティ	54		
接続	23		
接続端子部	17		
設置する	19		
「設定」について	50		
設定方法	18		
そ			
その他の端子	89		
た			
対応信号リスト	90		
台形補正	31, 47		
ダイナミック	42		
ダイレクトオン	53		
ダイレクトパワーオフ機能	28		
端子	52		
て			
デイライトビュー	44		
デジタルズーム	47		
電源コードの接続	24		
電源を入れる	26		
電源を切る	28		
電池を入れる、取り出す	18		
と			
投写関係	20		
投写距離	20, 21		
投写する	29		
投写する映像を選択する	29		
投写方式	19		
に			
入力信号を切り換える	30		
「入力」について	37		
ね			
ネットワーク接続	61		
の			
ノーマル	46		
ノイズリダクション	45		
は			
廃棄について	11		
バックグラウンド	51		
パワーマネージメント	52		
ひ			
ピットリワイド	46		
標準	42		
ふ			
ファン	55		
ファン制御	55		
フィルターカウンター	56		
付属品の確認	13		
部品交換	76		
フル	46		
プレゼンテーションタイマー	53		
プログレッシブ	45		
へ			
別売品	14		
ほ			
保証とアフターサービス	97		
本機の運搬について	10		
本機の設置について	10		
本機の取り扱いについて	12		
本体	16		
本体操作部とインジケータ	17		
ま			
マイク	49		
め			
メインメニュー	35		
メニュー位置	50		
ら			
ランプパワー	54		
ランプユニット	78		
ランプユニットの交換	79		
り			
リアル	42, 46		
リア投映	48		
リモコンコード	15, 54		
リモコンで操作する	30		
れ			
レンズキャップの取り付け	80		
ろ			
ロゴ	51		
わ			
ワイド (16:9)	46		

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で正しい廃棄方法をお問い合わせください。



■ 中国域内での環境に関する情報



このシンボルマークは中国国内のみ有効です。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎ 0120-872-601